

千葉市新基本計画

第3次実施計画

平成30~32年度(2018~2020年度)



平成30年3月

千葉市

は じ め に

このたび、市政運営の中長期的な指針である「千葉市新基本計画」（計画期間：平成24～33年度〔2012～2021年度〕）に基づき、平成30年度から3年間の本市の主な取組みを具体的に示した「第3次実施計画」を策定しました。



この計画は、新基本計画に掲げる3つの「まちの個性」（「未来をつくる人材が育つまち」、「みんなの力で支えあうまち」、「訪れてみたい・住んでみたいまち」）の実現に向けて、「第1次実施計画」（平成24～26年度）及び「第2次実施計画」（平成27～29年度）で推進してきたまちづくりの取組みを結実させる、新基本計画の「仕上げ」にあたる計画です。

計画の策定にあたっては、今後の人ロード・シルバーブームの進展を踏まえるとともに、「脱・財政危機」宣言の解除後初めての実施計画として、財政健全化とのバランスを取りながら、本市の「成熟」と「持続的発展」につながる「未来への投資」をこれまで以上に積極的に位置付けました。

具体的には、待機児童対策や地域包括ケアシステムの構築・強化などの喫緊の課題に的確に対応するとともに、千葉駅周辺の活性化や産業用地整備を含む企業立地の促進などにより、地域経済の発展と雇用創出に取り組むほか、内陸部の活性化や幕張新都心の賑わいの向上、夜間の経済・文化活動の健全な振興など、都市の魅力向上を図ります。

また、中長期的な視点から、小学校英語教育の充実やキャリア教育の強化など、未来の地域社会を担う人材の育成や、居住・都市機能の適切な誘導等を含む、集約型都市構造の実現を目指す取組みなど、未来を見据えたまちづくりの取組みを推進します。

さらに、特別史跡加曽利貝塚の魅力向上や千葉開府900年に向けた取組みなど、都市アイデンティティの確立を目指す取組みを加速するとともに、2年後に開催が迫る東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場都市として、機運醸成やボランティア体制の構築などの取組みはもとより、パラスポーツの推進や、多様性の理解に基づく共生社会の実現など、未来へ引き継がれる「レガシー」の創出・醸成に取り組んでまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、市議会をはじめ市民の皆様から、多くのご意見・ご提案をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

平成30年3月

千葉市長 熊谷俊人

目次

総論

1	第3次実施計画について	1
1.1	策定の趣旨	1
1.2	計画の名称	2
1.3	計画期間	2
2	計画の枠組み	3
2.1	人口の見通し	3
2.2	財政の見通し	4
3	計画の基本的な考え方	6
3.1	策定の視点	6
3.2	計画事業の選定	8
3.3	計画の特徴	9
4	計画の推進にあたって	10

各論

1	豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	13
2	支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ	31
3	豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	52
4	ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ	79
5	ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	119

参考資料

1.	策定の過程	149
2.	市民意見	149
3.	個別部門計画	151
4.	市民参加・連携に関する事業	156
5.	計画期間中に計画的保全を行う公共施設	159
6.	用語解説	160
7.	索引	171

(注) 文中に「※」のある用語は、「参考資料」の「6. 用語解説」(P.160～)に解説があります。

計画の総論

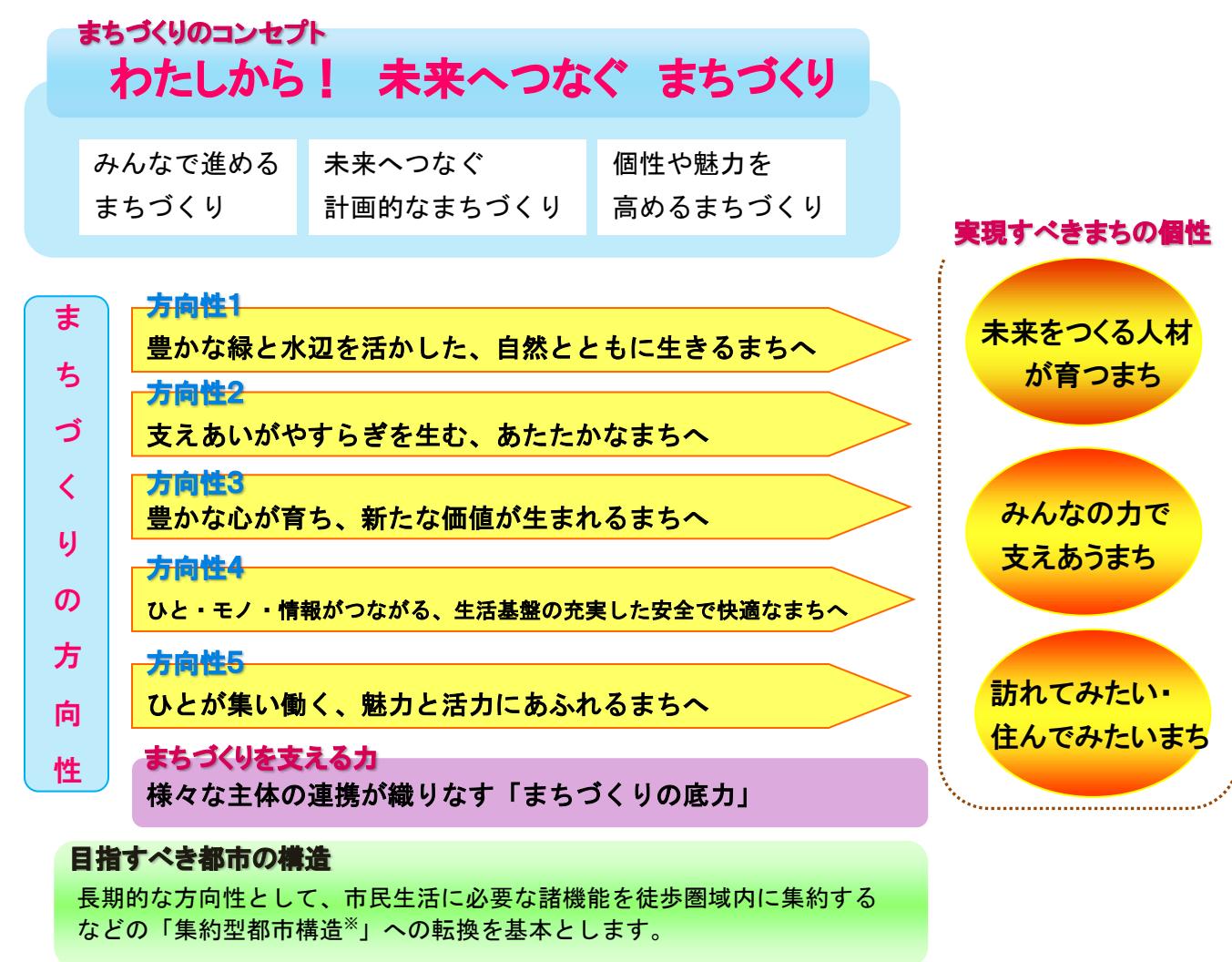
1. 第3次実施計画について
2. 計画の枠組み
3. 計画の基本的な考え方
4. 計画の推進にあたって

1. 策定の趣旨

本市では、「千葉市基本構想」（平成11年〔1999年〕12月議決）で定める基本目標（人とまち いきいきと幸せに輝く都市）などの実現を目指し、市政運営の中長期的な指針となる「千葉市新基本計画（計画期間：平成24年度～33年度〔2012～2021年度〕）」を、市議会の議決を経て、平成23年（2011年）6月に策定しました。これまで新基本計画に示す、3つの「まちの個性」（「未来をつくる人材が育つまち」、「みんなの力で支えあうまち」、「訪れてみたい・住んでみたいまち」）の実現に向け、より具体的な事業内容を示した実施計画を第1次（計画期間：平成24～26年度〔2012～2014年度〕）、第2次（平成27～29年度〔2015～2017年度〕）にわたり策定し、取組みを推進してきたところです。

このたびの第3次実施計画（計画期間：平成30～32年度〔2018～2020年度〕）は、今後見込まれる人口減少や少子超高齢社会の進展等を踏まえた新基本計画のまちづくりの取組みを結実させていく計画として、また、新基本計画期間が満了する33年度（2021年度）から先の未来も見据え、策定したものです。

図表1 本市のまちづくりの基本方針



2. 計画の名称

千葉市新基本計画第3次実施計画

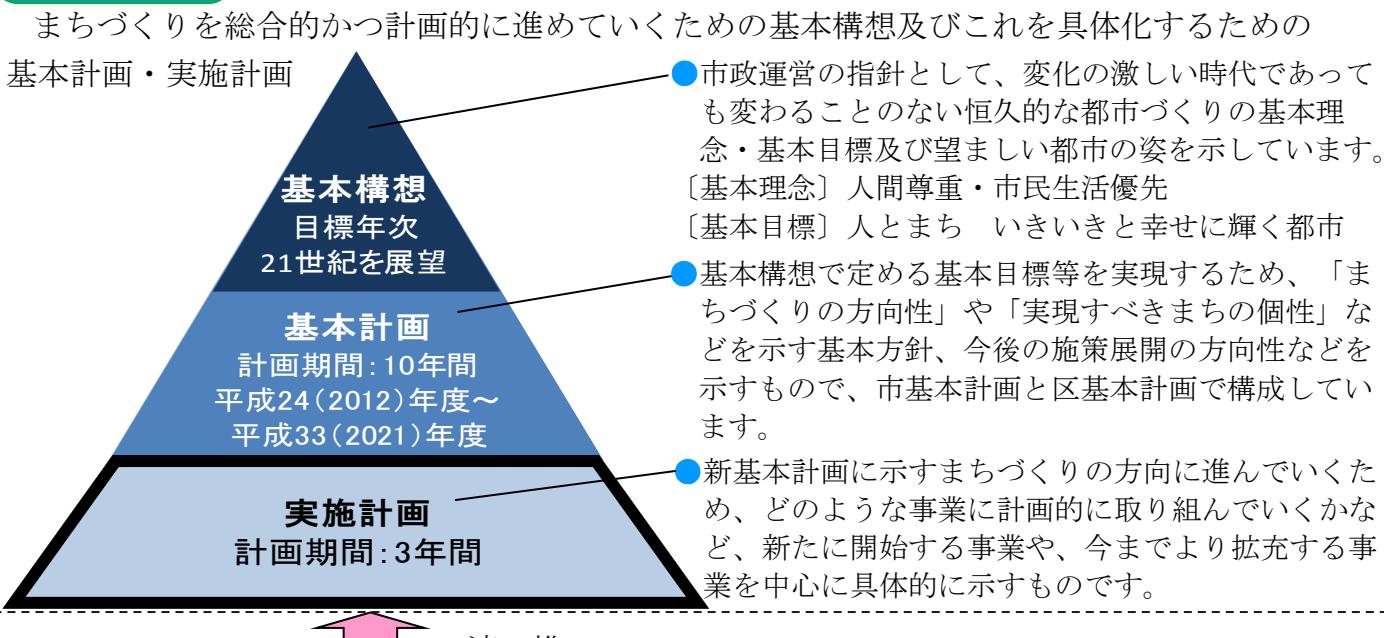
3. 計画期間

平成30年度(2018年度)を初年度とし、32年度(2020年度)を最終年度とする3年間とします。



図表2 本市の計画行政

総合計画



個別部門計画

市政の特定課題等に対応するため各部局が策定する方針・計画

(主な個別部門計画: 一覧は151ページから掲載)

- | | | |
|-------------------|-----------------------|----------------|
| ・国土強靭化地域計画 | ・支え合いのまち千葉 推進計画 | ・農業基本計画 |
| ・地域防災計画 | ・健やか未来都市ちばプラン | ・都市計画マスタープラン |
| ・都市アイデンティティ戦略プラン | ・高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画 | ・住生活基本計画 |
| ・東京2020大会に向けた行動計画 | ・こどもプラン | ・緑と水辺のまちづくりプラン |
| ・財政健全化プラン | ・環境基本計画 | ・学校教育推進計画 |
| ・公共施設等総合管理計画 | ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 | ・生涯学習推進計画 |
| ・文化芸術振興計画 | ・経済成長アクションプラン | |
| ・スポーツ推進計画 | | |

1. 人口の見通し

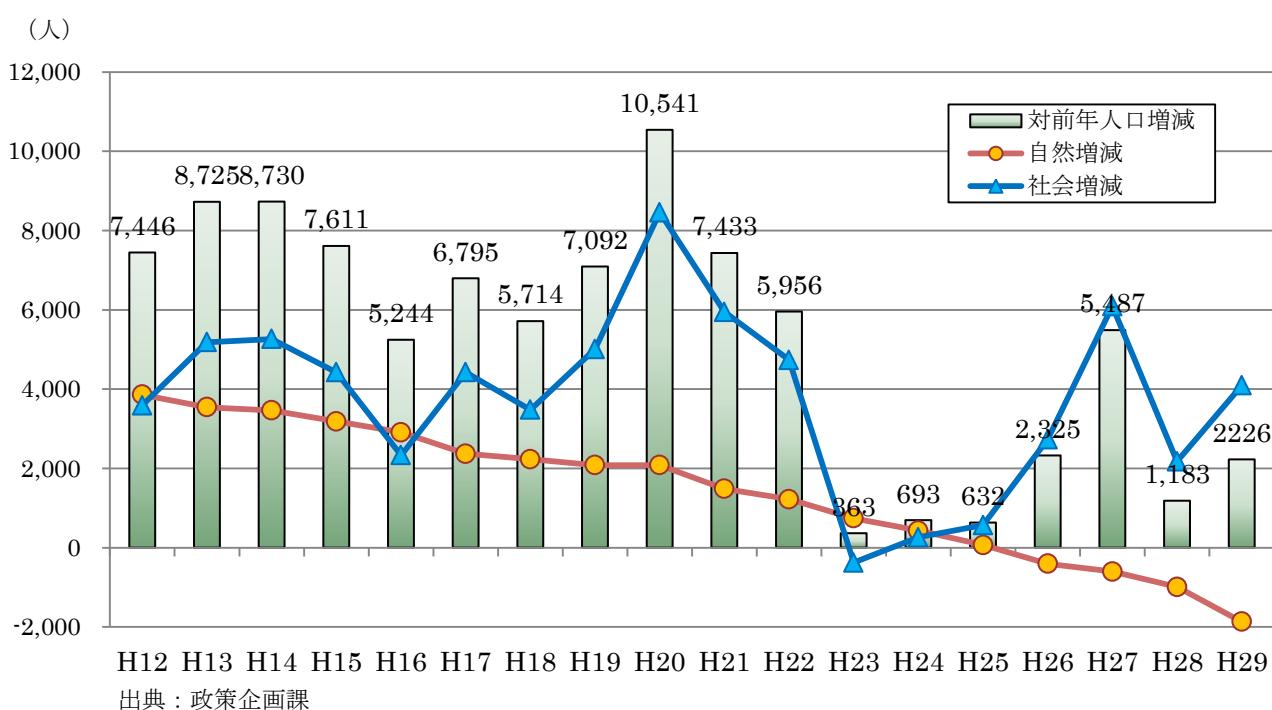
(1) 人口の推移

本市の総人口は、平成 12 年（2000 年）から 22 年（2010 年）までの 10 年の間、毎年、5~8 千人程度増加してきましたが、東日本大震災を契機に平成 23 年（2011 年）から 25 年（2013 年）の間の増加ペースが大幅に抑えられました。平成 26 年（2014 年）以降、いったんは増加のペースが回復したもの、28 年（2016 年）には再び増加幅が縮小しています。

出生数と死亡数の差である自然動態をみると、出生数は 7 千人程度で微減傾向にあり、一方、死亡数は高齢者人口の増により一貫して増加傾向にあることから、平成 26 年（2014 年）には初めてマイナスに転じ、その後もマイナスの幅が広がっています。

転入数と転出数の差である社会動態をみると、転入超過が継続していましたが、東日本大震災の影響を受け、平成 23 年（2011 年）にマイナスとなりました。その後は転入超過を維持しています。

図表 3 本市人口の伸び（対前年比）の推移（平成 12 年～29 年）



出典：政策企画課

(2) 人口の見通し

本市の総人口は、平成 32 年（2020 年）をピークに減少に転じる見通しであり、それまでの期間は、増加する見通しです。

行政区別の人口は、中央区及び緑区は増加するものの、他の区は横ばいもしくは減少する見通しです。

また、年齢 4 区別別の人口は、本計画期間中に 65 歳以上人口が約 1.4 万人増加する見通しですが、その内訳として 65 歳～74 歳人口は、約 4.5 千人減少、75 歳以上人口は、約 1.8 万人増加し、高齢化が進む見通しです。生産年齢である 15～64 歳人口は約 2.3 千人、15 歳未満人口は約 6.8 千人減少する見通しです。

世帯数は、平均世帯人員の減少により、緩やかに増加する見通しです。

図表4 市の将来人口推計

(単位：人)

区分	市全体	中央区	花見川区	稻毛区	若葉区	緑区	美浜区
平成 29 年	975, 140	208, 303	178, 245	161, 398	151, 306	128, 522	148, 366
計画期間	平成 30 年	977, 300	210, 800	177, 300	160, 700	150, 900	128, 900
	平成 31 年	978, 800	212, 600	176, 600	160, 700	150, 600	129, 600
	平成 32 年	979, 800	214, 300	175, 700	160, 700	149, 900	130, 500
							148, 700

図表5 年齢4区別人口と高齢化率

(単位：人)

区分	15歳未満		15～64歳		65～74歳		75歳以上	
		構成比		構成比		構成比		構成比
平成 29 年	120, 918	12. 4%	600, 686	61. 6%	134, 569	13. 8%	118, 967	12. 2%
計画期間	平成 30 年	118, 700	12. 1%	599, 900	61. 4%	133, 000	13. 6%	125, 700
	平成 31 年	116, 500	11. 9%	599, 300	61. 2%	130, 100	13. 3%	132, 900
	平成 32 年	114, 100	11. 6%	598, 400	61. 1%	130, 100	13. 3%	137, 200
								14. 0%

2. 財政の見通し

(1) 財政健全化の取組み

本市では、平成 21 年度（2009 年度）に「脱・財政危機」宣言を発出した後、財政健全化プラン（計画期間 第 1 期：平成 22～25 年度〔2010～2013 年度〕、第 2 期：平成 26～29 年度〔2014～2017 年度〕）に基づき、財政危機の克服に向け、自主財源の確保や歳出抑制の取組みなどにより、効率的な財政運営を進めてきました。

その結果、実質公債費比率※や将来負担比率※などが改善し、また、主要債務総額※や全会計市債残高※の削減額についても、第 2 期財政健全化プランの目標を達成する見込みであることなどから、危機的状況を脱したと判断し、平成 29 年（2017 年）9 月に「脱・財政危機」宣言を解除しました。

引き続き財政健全化の取組みは必要な状況にあることから、平成 30 年度（2018 年度）を初年度とする「第 3 期財政健全化プラン」（計画期間：平成 30～33 年度〔2018～2021 年度〕）に基づく取組みは推進していくとともに、本市の持続的発展につながる未来への投資については、財政健全化とのバランスを取りながら着実に推進することにより、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指します。

(2) 計画事業費

このような財政状況の下で、普通会計※ベースでの財政収支見通しに基づく計画事業費は、1,190 億円と見込んでいます。

また、普通会計以外の会計を加えた第 3 次実施計画全体の計画事業費は 1,584 億円と見込んでいます。

図表6 会計区分別計画事業費 (単位: 億円)

区分	計画事業費
普通会計*	1, 190
普通会計外*	394
総額	1, 584

3 計画の基本的な考え方

1. 策定の視点

計画の策定にあたって、留意・重視すべき6つの視点（①「まちづくりを支える力」を高める、②行財政改革への取組み、③個性や魅力を高め、未来へつなぐ、④安全・安心のまちづくり、⑤まち・ひと・しごと創生の推進、⑥東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み）を「策定の視点」として設定しました。

（1）「まちづくりを支える力」を高める

- 複雑化・多様化する行政課題や市民ニーズに的確に対応し、市民主体のまちづくりを推進するため、地域の課題解決に向け、市民や団体、企業、大学などと行政の連携を強化するとともに、将来の地域社会を支えるこどもや若者の社会参画を推進するなど、今、そして未来を見据え、地域社会の「担い手」や組織、体制づくりを促進します。
- 課題が発生・拡大する前に予防策を講じるなどする課題抑制型の行政の実現を目指し、ICTによるデータ分析等を活用して、まちづくりの主体となる様々な団体と課題や目的の可視化・共有化を行い、市民が主役となってまちづくりに参画・連携する取組みをさらに進めます。
- 区役所の地域づくりなどの役割をさらに高め、地域における市民主体のまちづくりに資する取組みを進めます。



（2）行財政改革への取組み～「未来への投資」とともに～

- 限られた財源、人的資源のもとで効果的な施策展開を進めるため、社会環境の変化を踏まえた行政の役割や機能を念頭に、必要性の高い市民ニーズや地域課題に適切に対応するとともに、将来的な財政負担及び財政健全化とのバランスを意識しつつ、未来を見据えて今行わなければならないソフト・ハード両面にわたる「未来への投資」に取り組みます。
- 市民の利便性の向上を図るため、引き続きICTの活用も図りながら、「市民に時間を返す」取組み*を進めるとともに、市有資産の効率的、かつ「ストック」「資源」としての有効な利用を図るため、公共施設の見直しや民間活力・ノウハウを活かした事業の検討など、取組みを進めます。
- 行政改革推進指針や財政健全化プランなどを踏まえ、新基本計画に関する政策評価（中間評価）の結果を勘案しつつ、施策の成果・効果を重視した事業の見直しに不断に取り組みます。

（3）個性や魅力を高め、未来へつなぐ

- 人口減少や少子超高齢社会の進展、人口等の「東京」への一極集中をはじめとした社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ、「住み続けたい」「住んでみたい」「訪れてみたい」と感じてもらえるような、魅力ある都市であり続けるため、本市の都市アイデンティティを形成する地域資源などを活用し、「千葉市らしさ」の確立に向けた取組みを進めます。
- 子育て支援や教育など、未来の人材を育成する取組みや、企業誘致、産業の創出・集積の促進など、都市の経済・活力を支える雇用を生み出す取組み、そして、「人生100年時代」も見据えつつ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステム*の構築・強化な

どを推進するとともに、安定的な廃棄物処理体制を構築するなど、循環型社会の実現に向けた取組みを進めます。

- 3都心等の拠点における都市機能のさらなる集積や更新を促進するほか、国家戦略特区※等の活用により先端技術を取り込んだ先進的な都市戦略を進めます。

(4) 安全・安心のまちづくり

- 首都直下地震の発生が高い確率で予想される中、東日本大震災の経験や熊本地震の教訓を踏まえた災害に強いまちづくりを推進するため、迅速な復旧復興を可能とする危機管理体制の充実強化を図るとともに、建築物やライフラインの耐災害性の向上など、防災・減災対策の充実を図ります。
- 自主防災組織や避難所運営委員会の活動支援など、自助・共助を活かした地域住民の連帯意識に基づく防災・減災の体制づくりを通じて、地域防災力の向上を図ります。
- 日常的な生活を支える交通安全対策や防犯対策に加え、市民の生命・財産を守るため、集中豪雨など自然災害への対策や液状化対策、消防・救急体制の強化を図ります。



(5) まち・ひと・しごと創生の推進

- 本市まち・ひと・しごと創生の基軸である“ちば”共創都市圏※の確立に向け、本市と周辺都市が有する様々な資源を有効に活用していく地域間連携の取組みのほか、政策間連携や官民連携の取組みを幅広い分野で推進し、「東京」でも「地方」でも得られない、魅力的なライフスタイルや新たな価値観などを、周辺都市等と「共」に「創」りあげていきます。



(6) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会）の競技会場都市として、大会の成功を実現するとともに、スポーツ文化の普及・発展、多様性に対応した共生社会の実現など、未来へと引き継がれる「レガシー※」を創出・醸成する取組みを進めます。

2. 計画事業の選定

計画事業の選定にあたっては、第2次実施計画の進捗状況や課題、新基本計画に関する政策評価（中間評価）の結果を踏まえ、市民視点・納税者視点での成果を重視するとともに、新基本計画に定める3つの「まちの個性」（「未来をつくる人材が育つまち」、「みんなの力で支えあうまち」、「訪れてみたい・住んでみたいまち」）の実現に向けたまちづくりの方向性や施策に貢献する事業を位置付けています。

また、平成29年（2017年）9月に「脱・財政危機」宣言を解除したものの引き続き財政健全化の取組みは必要な状況にあることから、将来的な財政負担及び財政健全化とのバランスや、緊急性や必要性、未来への投資効果等を含めた総合的な観点から、「選択と集中」による事業の厳選を行いました。

個別の具体的事業については、計画の各論で紹介します。

図表7 計画事業数

各年度における事業は、毎年度の予算編成の中で位置づけていきます。

政策（まちづくりの方向性）	計画事業数
方向性1 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	41
方向性2 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ	50
方向性3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	67
方向性4 ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ	135
方向性5 ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	50
合計	343

（注）計画事業数は、経常的な事業や本市以外が主体となる事業で計画事業費を計上していない事業も含みます。

3. 計画の特徴

計画の特徴として、第一に、少子高齢化が一層進んでいく中、喫緊の課題に的確に対応した取組みだけでなく、中長期的な地域社会のあり方を見据えた取組みについても積極的に位置づけました。

例えば、子育て分野においては、喫緊の課題である、共働き世帯の増加に伴う待機児童への対応や放課後の居場所の確保を図るため保育施設の整備を着実に進めるほか、病児・病後児保育など多様な保育需要にも対応するとともに、子どもルームの整備や放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業の拡充など放課後対策の取組みを強化します。

また、中長期的な視点に基づき、小学校における英語教育の充実やキャリア教育※の強化など、将来の地域社会を担う人材の育成を図ります。

さらに、高齢分野においては、喫緊の課題である、認知症や要介護認定者の増加への対応として、認知症対策の取組みや特別養護老人ホームなど施設の整備を進めるとともに、団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)を見据え、在宅医療・介護連携の取組みや、生活支援コーディネーター※の拡充など地域包括ケアシステム※の構築・強化を図るほか、平均寿命の延伸に伴う「人生100年時代」の到来を見据え、高齢になっても健康に活躍できる社会の実現に向けた取組みを推進します。

第二に、人口減少局面にあっても、都市の活力の維持・向上を図り、持続可能なまちづくりを進めていくために、短期・長期、ソフト・ハードの両面から、本市の未来へつなぐまちづくりを進めるための幅広い取組みを位置付けました。

例えば、経済・雇用の基盤強化を図るため、企業立地の促進や産業用地の整備を進めるとともに、交流人口の増加を図るため、MICE※を推進するほか、千葉駅周辺の活性化を図るため、東口・西口市街地再開発や中央・通町公園の連結強化などを進めます。

また、市民サービスの維持・向上と効率的な都市経営の両立を図るため、老朽化した公共施設や道路施設などの都市基盤施設について、計画的保全による効率的な維持更新を図るとともに、今後の都市交通体系のあり方を検討するほか、長期的な集約型都市構造※への転換を図るため、居住・都市機能の誘導や福祉分野・公共交通分野とも連携した一体的な施策についても検討を進めます。

4 計画の推進にあたって

計画の推進にあたっては、計画事業の着実な遂行を図るとともに、以下の点に留意し、推進します。

(1) 市民や団体、企業など様々な主体の参加と連携

計画の推進のためには、市民や団体、企業、大学などの様々な主体と、新基本計画に定める「まちづくりのコンセプト」や、「まちづくりの基本方針」について認識の共有が図られるよう努めるとともに、3つの「実現すべきまちの個性」の実現を目指し、それぞれの主体が「まちづくりを支える力」として、まちづくりに参加し、連携する必要があります。

このため、全庁をあげて、「まちづくりを支える力」を高めていくとともに、計画の周知に務め、様々な主体とまちづくりに係る認識の共有を図ります。

(2) 行財政改革の取組みとの連携

財政健全化の推進や、効率的・効果的な行政運営への要請にこたえるよう、市民視点や納税者視点に立った、行財政改革の取組みとの連携をより一層進めます。

(3) P D C A サイクルに基づく計画の進行管理

計画（P l a n）に基づく実施（D o）及び確認・評価（C h e c k）、さらには改善行動（A c t）へと続くマネジメントを、適切に行います。

具体的には、3年後に目指す目標事業量を明示するとともに、各年度の予算・決算時に計画の事業量ベースの進行管理を行い、公表します。また、本計画期間終了後、政策評価制度に基づき、3年間の事業の振り返りを行い、その後の施策・事業の展開に活かしていきます。

(4) 計画の弾力的な運用

計画事業の実施にあたっては、施策や事業を取り巻く社会情勢の変化や市民ニーズ・地域課題に的確に対応するなど、計画の弾力的な運用に努めます。

計画の各論 (施策の展開)

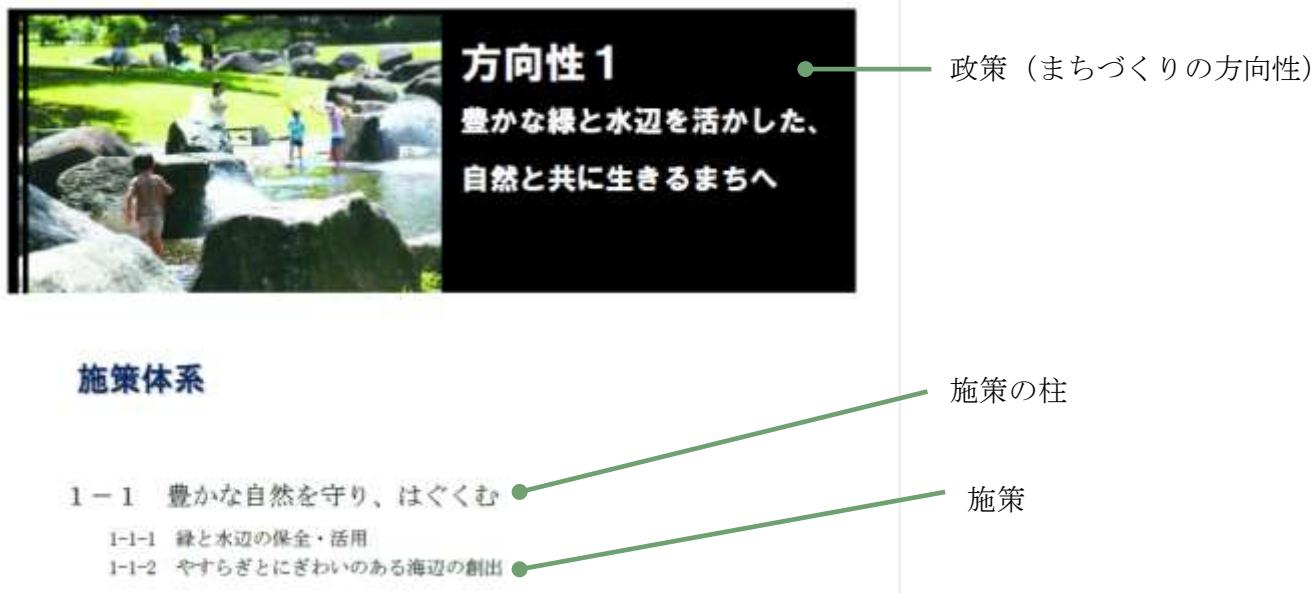
目次

1. 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ.....	13
2. 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ.....	31
3. 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ.....	52
4. ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ.....	79
5. ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ.....	119

●各論の見方

1 全体の構成

各論は、5つの「政策（まちづくりの方向性）」、19の「施策の柱」及び58の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業一覧」を記載しています。



2 計画事業

計画事業とは、新基本計画に示すまちづくりの方向に進んでいくため、計画期間（平成30～32年度）に新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業をいいます。

● □△の推進  【新規・再掲】		○○課	
□△のため、○△□△を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
□△の調査	—	実施	完了

計画期間（30～32年度）
に取り組む項目

計画期間に取り組む
新規・拡充の内容

- 事業名の前の「●」は、計画事業費を計上する事業。「■」は、計画事業費を計上しない事業。
- は、市民や団体等の参加または連携により取り組む事業。
- 【新規】は、第3次実施計画で新たに取り組む事業。
- 【再掲】は、複数の施策に該当する事業。
⇒主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記しています。
- 担当課の名称は、平成30年（2018年）4月1日時点。



方向性 1

豊かな緑と水辺を活かした、 自然とともに生きるまちへ

施策体系

1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ

- 1-1-1 緑と水辺の保全・活用
- 1-1-2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る

- 1-2-1 公園緑地の充実
- 1-2-2 都市緑化の推進
- 1-2-3 花のあふれるまちづくりの推進

1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

- 1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進
- 1-3-2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進
- 1-3-3 良好的な生活環境の確保
- 1-3-4 環境保全・創造活動の推進

1-1 豊かな自然を守り、はぐくむ

1-1-1 緑と水辺の保全・活用

施策の展開

- 本市は首都圏の主要な都市でありながら、豊かな緑と水辺が残されており、市域の中で都会と田舎が近い距離で共生する環境が形成されています。本市の自然環境は、市民生活にうるおいと安らぎを与えており、市民や各種団体など、様々な主体と連携しながら、緑と水辺の保全を進めます。
- 本市の原風景であり多様な生態系を有する谷津田※の自然を保全するため、所有者・市民団体・市の三者が連携・協力し、田んぼや森づくりなどの保全・再活動を進めます。



計画事業

自然観察会（大草谷津田いきものの里）

● 次期「緑の基本計画」の策定

緑政課

緑地の保全や緑化の推進の指針となる次期「緑の基本計画」策定のため、緑の現況調査（緑被率※調査）を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
緑被率の現況調査	—	実施	完了

● 谷津田の保全と活用の推進



環境保全課

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
谷津田保全協定の締結	56.0ha	9ha 拡大	65.0ha
保全団体等への活動支援	4団体	2団体増	6団体
谷津田保全方針の見直し	—	実施	実施

● 特別緑地※保全地区の推進

公園管理課

都市の良好な自然環境を有する緑地を保全するため、用地取得を行うとともに、民有緑地保全基本方針を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	51,217 m ³	7,997 m ³	59,214 m ³
緑地保全基本方針の策定	—	策定	策定
指定候補地の検討	—	候補地の抽出	候補地の抽出

■ 市民緑地の推進**公園管理課**

市街地の緑を守り、身近な自然とのふれあいの場を確保するため、市民協働で緑地の保全・維持管理を行う「市民緑地」の設置を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市民緑地の設置	19か所	実施	実施

● 生物多様性*の理解促進**【新規】****環境保全課**

生物多様性に対する市民の理解を深めるため、市民参加型の生き物調査を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市民参加型生き物調査	—	実施	完了

● 都川水の里公園の整備【再掲】**公園建設課**

緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	11.2ha	0.29ha	11.49ha

施策の展開

- 本市が有するいなげの浜・検見川の浜・幕張の浜の3つの人工海浜と、稲毛海浜公園・県立幕張海浜公園の2つの海浜公園を活かし、海辺とまちが調和するアーバンビーチをコンセプトとした魅力ある空間を創出するため、20~30年先の将来を見据えた海辺の活性化の取組みの方向性を示す「海辺のグランドデザイン」を平成28年（2016年）に策定し、取組みを進めています。
- これまで、民間活力の導入による「ザ・サーフ オーシャンテラス」のオープン、東京湾や富士山等が展望できる駐車場の整備、磯の松原散策路の整備など、海辺活性化に関する取組みを進めてきました。
- 今後は、稲毛海浜公園の持つポテンシャルを最大限に活かし、より魅力的で賑わいのある場となるよう、民間活力の導入による稲毛海浜公園施設リニューアル整備・運営を一体的に行います。
- 県立幕張海浜公園における集客施設等の導入について、関係機関・団体等と連携し、検討を進めます。
- 海辺の活性化に係る地域主体の取組みを促進するため、市民やまちづくり団体などからなる「海辺の活性化検討会」が企画・実践する取組みに支援します。
- 千葉中央港地区のまちづくりを推進するため、地区内の観光・集客施設や関係事業者と連携して、緑地等を活用した魅力的なイベントを実施するとともに、旅客船運航情報の提供等によりサービスの充実を図ります。
- また、港湾施設において受入れ可能な旅客船の誘致を進めます。



稲毛海浜公園のシーサイドレストラン・カフェ



千葉みなと旅客船さん橋

計画事業

● 海辺の活性化



海辺活性化推進課

海辺の活性化を推進するため、関係機関・団体等と連携して県立幕張海浜公園における集客施設等の導入を進めます。また、稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成を進めるとともに、地域主体の取組みを支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
県立幕張海浜公園における集客施設等の導入検討	官民連携事業化調査実施	関係団体等との協議・調整	関係団体等との協議・調整
稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成	関係団体との協議・調整	基本方針策定 景観施設等整備	基本方針策定 景観施設等整備完了
地域主体による海辺の活性化の取組み促進	地域主体による取組み検討	地域主体の取組み支援 プロモーション実施	地域主体の取組み支援 プロモーション実施

● 稲毛海浜公園のリニューアル			緑政課
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
民間事業者による施設リニューアル	事業者の選定	施設整備、既存施設の改修	事業者による管理・運営
長寿命化計画の策定	—	策定	策定

● 千葉中央港地区まちづくりの推進			海辺活性化推進課
賑わいや憩いのある港づくりのため、緑地を整備するとともに、イベントの開催や旅客船運航情報の充実を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
公園緑地の整備・管理	一部供用開始	整備	整備完了
海上交通の促進	千葉港を拠点とする旅客船の運航開始	旅客船の誘致	旅客船の誘致
イベント開催及び情報発信による賑わいづくり	イベント開催	イベント開催 旅客船運航情報の提供	イベント開催 旅客船運航情報の提供

1-2 緑と花のあふれる都市空間を創る

1-2-1 公園緑地の充実

施策の展開

- 大規模公園については、これまで昭和の森や動物公園などで、民間活力の導入による効果的な利活用を図ってきたところです。今後も引き続き、積極的に民間活力を導入し、各公園の特徴を活かした機能・魅力の向上を図ります。
- 動物公園については、市民に身近な集客観光施設として、特徴ある動物展示や子どもの遊び場を提供します。また、泉自然公園については、豊かな自然を活かした魅力向上のため、民間事業者による自然共生型アウトドアパークの整備・運営を行います。
- また、市民の日常生活に密着した公園を整備するとともに、将来にわたり地域に愛される公園を目指し、市民や団体が主体となって計画から整備まで行う手づくり公園の設置を進めます。
- 自転車愛好者の間で人気のある花見川サイクリングコースは、ウォーキングや散策でも多く利用されることから、歩行者と自転車利用者がお互いに安心・安全に利用できるよう、通行ルールを定めるとともに、舗装の改善をはじめ、休憩ベンチやトイレの充実を図ります。



蘇我スポーツ公園整備イメージ



肉食動物の導入（チーター）

計画事業

1. 安全で快適な公園利用の推進

● 身近な公園のリフレッシュ推進		公園管理課	
公園の安全性や快適性の確保のため、老朽化した施設の更新や出入口等のバリアフリー化を推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
長寿命化計画の策定	—	策定	策定
公園施設の更新	遊具更新 一部実施	187 基	187 基
	塗装 一部実施	遊具 86 基、ほか 5 施設	遊具 86 基、ほか 5 施設
	遊具以外施設更新 一部実施	18 施設	18 施設
出入口等のバリアフリー化	ハザード除去 一部実施	127 基	127 基
	調査	19 公園	19 公園

● 有料公園施設の改修

公園管理課

安全で快適な公園利用を維持するため、老朽化した設備等を改修します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
青葉の森スポーツプラザの設備設置・更新	野球場 内野フェンスマット設置	野球場 スコアボード・外野フェンスマット 陸上競技場 音響設備の更新	野球場 スコアボード・外野フェンスマット 陸上競技場 音響設備の更新
フクダ電子スクエアの人工芝改修	—	実施設計	実施設計

● 花島公園の充実

花見川公園緑地事務所

花島公園の持つ資源を有効に活用し、魅力ある公園づくりを進めるため、長寿命化計画を策定するとともに、イベントや施設の充実を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
長寿命化計画の策定	—	策定	策定
イベント・施設の充実	—	健康づくり講習会 1回/年 木橋の更新 ろ過装置調査	健康づくり講習会 1回/年 木橋の更新 ろ過装置調査

● 泉自然公園の魅力向上



若葉公園緑地事務所

泉自然公園の豊かな自然を活かした魅力向上のため、老朽化した施設の更新や樹林地の間伐を行うとともに、市民との協働による野草保全活動を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
老朽化した公園施設の更新	—	井戸ポンプ・給水管更新 園路階段・舗装園路改修 いづみ橋の修繕 バリアフリー対応トイレ設置	井戸ポンプ・給水管更新 園路階段・舗装園路改修 いづみ橋の修繕 バリアフリー対応トイレ設置
樹林地及び野草保全活動	—	伐採・捕植 0.5ha 植生調査等 実施	伐採・捕植 0.5ha 植生調査等 実施
民間事業者による自然共生型アートドアパークの導入	—	運営開始	運営

● 昭和の森の魅力向上

緑公園緑地事務所

昭和の森における安全性の確保、満足度向上のため、施設の改修や樹林地の再生による公園の魅力向上を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
樹林地の再生	樹林地再生計画策定	750 m ²	750 m ²
トイレの洋式化	洋式化率 29%	トイレ 6 棟の便器洋式化	洋式化 50%(便器数比)

● 動物公園の施設改修

動物公園

安全で快適な公園利用を確保するため、老朽化した施設を改修します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
受変電設備、機械設備及び汚水処理場の改修	受変電設備設計完了 第4期区画改修工事実施	改修	改修
給排水設備の改修 建築物の保全	給排水設備改修一部完了 保全設計 完了	実施	実施
長寿命化計画の策定	—	策定	策定

2. 魅力あふれる公園づくりの推進

● 蘇我スポーツ公園の整備

公園建設課

スポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
第2・第3多目的グラウンド等の施設整備	34.0ha 供用	5.8ha 供用 日除け施設6基	39.8ha 供用
用地取得	27.3ha	4.5ha	31.8ha

● 千葉公園の再整備【新規】

緑政課

千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化のため、公園全体の再整備に向けた取組みを進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再整備マスターplanの策定	—	マスターplan策定	マスターplan策定
千葉公園の再整備	—	設計・工事等	設計・工事等

● 都川水の里公園の整備

公園建設課

緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	11.2ha	0.29ha	11.49ha

● 身近な公園の整備



公園建設課

魅力ある公園づくりを推進するため、市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、市民が主体となって計画から整備・管理まで行う「手づくり公園」の設置を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
身近な公園の施設整備	—	3か所	3か所
手づくり公園の設置促進	地域住民との意見交換	手づくり公園協働整備 1か所 公園づくりワーキングショップ開催	手づくり公園協働整備 1か所 公園づくりワーキングショップ開催

● 亥鼻公園のサクラの再生		中央・稻毛公園緑地事務所	
亥鼻公園の魅力向上のため、サクラの景観保全を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
サクラの伐採・新規植え付け	—	30本	30本

● 動物公園リスタート構想の推進		動物公園	
市民に身近な集客観光施設として動物公園の魅力を向上するため、チーター、ハイエナ、シマウマ、ヤマアラシ等の特徴ある動物展示や子どもの遊び場等を整備するとともに、教育支援プログラムの充実等を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
動物公園の展示のリニューアル	一部実施	平原ゾーン完成 正門展示場オープン 個体管理システム稼働 医療機器導入	平原ゾーン完成 正門展示場オープン 個体管理システム稼働 医療機器導入
「子どもの遊び場」整備	一部実施	実施	供用開始
快適な園内環境の整備	一部実施	身障者用トイレ 5か所 多機能トイレ 1か所 授乳室、正門改修	身障者用トイレ 5か所 多機能トイレ 1か所 授乳室、正門改修
リスタート構想に基づく教育普及活動	学習用教材の作成 骨格標本の購入	実施	実施

■ 市民協働による公園管理		公園管理課	
魅力ある公園づくりを推進するため、市民との協働による維持管理や利活用を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ボランティア活動の実施	実施	継続	実施
ボランティア人材育成講習会	12回/年	継続	12回/年
ボランティアによる花壇管理	16か所	継続	16か所

■ ボール遊びができる公園づくり【新規】		公園管理課	
子どもたちがのびのびとボール遊びができる環境を整えるため、モデル的な公園を設置します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
モデル的な公園の設置	—	調査・研究、モデル実施	モデル実施

● 花見川サイクリングコースの充実		緑政課	
歩行者と自転車利用者が安全に利用できるよう、「花見川サイクリングコース」のルールづくりを進めるとともに、舗装修繕やトイレの更新等を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
施設の改善及び利用者サービスの向上	舗装の修繕	ホームページの開設、舗装補修 トイレ改修 5か所	ホームページの開設、舗装補修 トイレ改修 5か所
通行ルールづくり	—	ルール策定、周知	ルール策定、周知
上流部の環境改善	関係団体との調整	舗装 約 2.7km	舗装 約 2.7km

施策の展開

- 本市の市街地においては建物が密集している等により、新たな公園整備や民有地の緑化が難しい状況にあります。
- そこで、緑が少ない中心市街地での緑化を推進するため、民間建築物の屋上や壁面の緑化を支援し、市街地の緑を増やします。
- 地域ぐるみで緑豊かなまちづくりを進めるための制度である緑地協定の締結により、住宅地の緑化を推進します。
- 「緑のカーテン」普及のため、公共施設に苗と種子を配布するとともに、市内の小学校において、生徒による緑のモデルカーテンづくりを実施します。



屋上壁面緑化の事例

計画事業

■ 都市緑化の推進



緑政課

緑豊かな環境を創出するため、中心市街地や住宅地の緑化を推進するとともに、市民参加による緑化の普及啓発を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
屋上壁面緑化への助成	3件	3件増	6件
緑のモデルカーテンづくり	—	6件	6件
緑地協定の締結	175件	3件増	178件

1-2-3 花のあふれるまちづくりの推進

施策の展開

- 市民や民間団体との協働により、花のあふれるまちづくりを推進してきた結果、市内各所で花が見られるようになり、花を通した市民交流も着実に進んでいます。
- そのため、引き続き「花」に関わる活動を展開する市民、民間団体、企業等による事業への参加・支援・協力を行います。
- 本市固有の地域資源の一つである市の花「オオガハス※」の魅力を市民へ幅広く伝え、千葉市らしさを感じることができるように、記念講演会や大賀ハスまつりを充実します。
- ハスの鑑賞を楽しめるよう、千葉公園やみなと公園にハスの株分けや植替えを行います。



千葉公園のオオガハス

計画事業

● オオガハスの魅力発信

緑政課

「オオガハス」の魅力を市民に幅広く伝えるため、イベントや情報発信の充実を図るとともに、ハスを鑑賞できる環境を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
イベントの充実	大賀ハスまつりの開催	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充
情報発信の強化	—	アクションプラン策定 学校分根 常設展示	アクションプラン策定 学校分根 常設展示
鑑賞環境の整備	—	系統保存プロンターの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)	系統保存プロンターの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)

■ 花のあふれるまちづくり

緑政課

花のあふれるまちづくりを推進するため、花に関わる活動を行う市民に花の苗を配布するとともに、花や緑に関するイベントを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
花いっぱい市民活動の推進	花苗助成 471 団体	9 団体増	480 団体
緑と花の地域リーダーの育成	修了生 185 人	30 人増	215 人
緑と花のコンテスト	参加 52 団体	6 団体増	58 团体

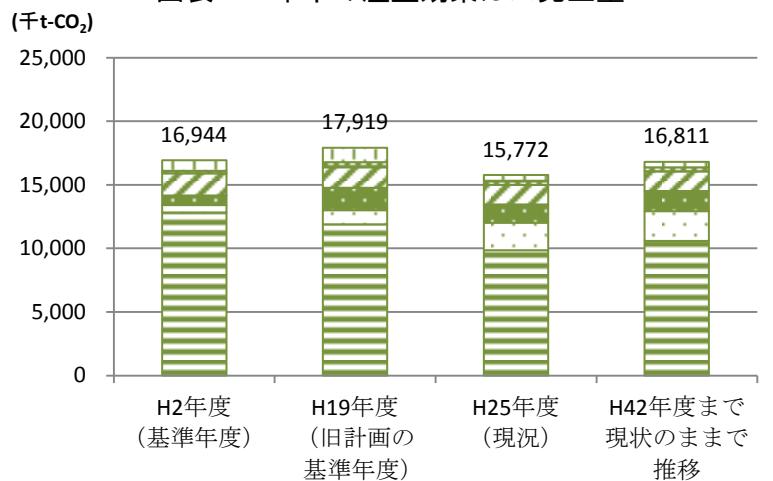
1-3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

施策の展開

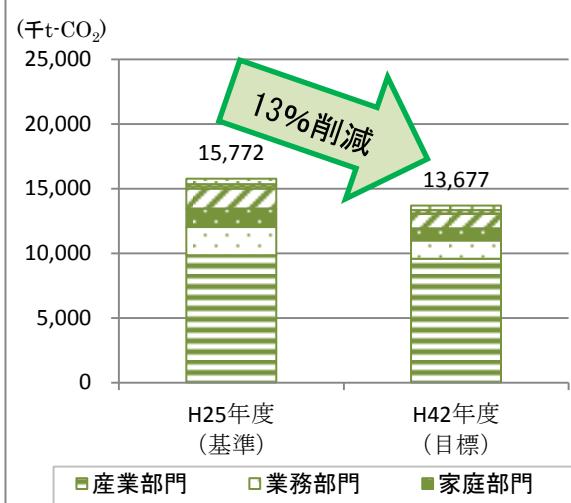
- 地球温暖化の原因の大部分は、私たちの日常生活や事業活動におけるエネルギー消費に伴い排出される二酸化炭素であり、特に家庭や事業者からの排出量の増加が著しいことから省エネルギーや資源循環に向けた取組みの強化が求められています。
- 省エネルギー化と再生可能エネルギー等の普及促進のため、引き続き、住宅用太陽光発電設備等の設置に助成するとともに、新たに、ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) ^{ゼロ・エネルギー・ハウス} の導入費用や、電気自動車 (EV) の購入費用の一部を助成します。
- 環境基本計画に掲げた環境像である「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」を実現していくため、「COOL CHOICE」に賛同し、市民や事業者とともに温暖化対策を積極的に進めます。

図表8 本市の温室効果ガス発生量



出典：千葉市地球温暖化対策実行計画 改定版（概要版）

図表9 本市の温室効果ガス排出目標



出典：千葉市地球温暖化対策実行計画 改定版（概要版）

計画事業

● 省エネルギー住宅及び電気自動車の導入推進【新規】

環境保全課

環境にやさしいまちづくりを推進するため、太陽光発電設備や高い断熱性能を有するゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の導入費用や、電気自動車 (EV) の購入費用の一部を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ZEH導入費用助成	—	130 件	130 件
EV購入費用助成	—	90 件	90 件

■ COOL CHOICEの推進

環境保全課

地球温暖化対策に積極的に取り組むため、環境にやさしい「製品」「サービス」「行動」などの選択を促す全国的なキャンペーン「COOL CHOICE」（賢い選択）を推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
イベント等における普及啓発	実施	実施	実施



下水道における資源・エネルギー循環の形成【再掲】 (下水道再生可能エネルギー導入)

下水道計画課

下水道資源を有効利用するため、リン回収事業手法の検討を行うほか、下水道における地球温暖化防止推進計画を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
リン回収事業手法の検討	—	検討	検討
下水熱広域ポテンシャルマップ作成	—	作成	作成
下水道における地球温暖化防止推進計画の策定	—	策定	策定

施策の展開

- 本市では循環型社会の構築に向け、古紙・布類の分別収集や再資源化、3R※教育・学習の推進など、市民及び事業者と協働しながら徹底したごみの減量・再資源化の取組みを進めており、平成26年度には焼却ごみ3分の1削減を達成するなど、取組みの成果が表れています。
- 本市は人口50万人以上の自治体において再生利用率が6年連続で全国第1位であり、リサイクル先進都市となっています。
- 今後は、市民・事業者・市の三者が発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の2R推進を優先しつつ、3Rに取り組むことにより、低炭素社会を考慮した循環型社会の構築を目指します。



新清掃工場完成イメージ

計画事業

● 廃棄物処理施設の整備推進

廃棄物施設整備課

将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、新清掃工場の整備や塵芥汚水処理場の建替を推進するとともに、最終処分場の整備について検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新清掃工場の整備	北谷津用地	環境影響評価等	事業者契約
最終処分場の整備	新港用地	—	施設基本計画作成
塵芥汚水処理場の建替	—	技術検討、用地検討	用地検討
	用地買収	基本設計、実施設計 建設工事	建設工事着手

■ 生ごみの発生抑制の推進

廃棄物対策課

生ごみ減量のため、家庭用生ごみ減量処理機等の購入費用の一部助成や、飲食店での食べきりキャンペーンなどを実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
食品ロス削減啓発 キャンペーンの実施	2回/年	継続	2回/年
生ごみ資源化アドバイザーの派遣	10件/年	5件増	15件/年
生ごみ減量処理機補助	115基/年	85基増	200基/年
生ごみ肥料化容器補助	128基/年	222基増	350基/年

● 3R*教育・学習の推進 

廃棄物対策課

循環型社会の構築に向け、若年層に対し、ごみ減量の意識づけを促すため、未就学児や小学生等を対象とした3R啓発活動を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
へらそくくんルームの実施 (未就学児対象)	12か所/年	継続	12か所/年
ごみ分別スクールの実施 (小学校4年生対象)	112校/年	継続	112校/年
エコレシピ料理講習会の実施 (高校生対象)	3校/年	2校/年	2校/年
学校給食残渣再資源化モデルの実施	—	実施	実施

● 事業系ごみの減量・再資源化の促進

産業廃棄物指導課

事業所ごみの減量・再資源化を促進するため、事業所に対して古紙の再資源化や食品リサイクルの必要性を周知するとともに、訪問調査・指導などを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
商業施設等のテナントへの訪問説明	100件	300件増	400件
一般廃棄物収集を委託していない事業所への排出状況調査・指導	200件	300件増	500件
事業用生ごみ処理機設置費助成	—	6件	6件

● 剪定枝等の再資源化の推進

収集業務課

3用地2清掃工場運用体制における安定的なごみ処理を継続するため、家庭から排出される剪定枝等を分別収集し、燃料チップなどに再資源化します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
剪定枝等の再資源化	3,200t/年	3,800t増	7,000t/年

● 下水道における資源・エネルギー循環の形成
(下水道再生可能エネルギー導入)

下水道計画課

下水道資源を有効利用するため、リン回収事業手法の検討を行うほか、下水道における地球温暖化防止推進計画を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
リン回収事業手法の検討	—	検討	検討
下水熱広域ポテンシャルマップ作成	—	作成	作成
下水道における地球温暖化防止推進計画の策定	—	策定	策定

施策の展開

- 私たちの暮らしにとって、大気や水が清浄で安全なものであることは欠かせません。また、目に見えない化学物質への対策も重要です。様々な人間活動が環境に負荷を与えることにより、大気汚染や水質汚濁を引き起こすことがないよう、健康で安心して暮らせるまちを市民・事業者・市が一体となって目指します。
- 本市の大気の状況は、常時監視を開始して以来、初めて微小粒子状物質（PM2.5）が全測定局で「環境目標値」を達成したほか、多くの測定項目で「環境目標値」を達成しました。一方、河川や水質の状況については、「環境目標値」を達成した項目が減り、未達成の項目や達成状況が流動的な項目が増えたため、今後もさらなる施策の推進が必要です。
- のことから、大気や工場等からの排出ガス・排水状況の監視を継続するとともに、引き続き浄化センターにおける高度処理施設の整備を進めます。
- 羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音問題について、市民が良好な環境のもとで日常生活を過ごせるよう、騒音の実態を調査するとともに、騒音の軽減に向け、国への申入れ等を継続して行います。

計画事業

● 大気・水質監視テレメータシステムの再整備		環境規制課
市民の健康と生活環境を守るため、大気や工場・事業場の排出ガス・排水の汚染状況を監視するテレメータシステムを再整備します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
テレメータシステムの再整備	基本設計	再整備

1. 良好な大気環境づくりの推進

■ 大気環境測定の推進		環境規制課
市民の健康と生活環境を守るため、大気中の微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
PM2.5の成分分析	1か所（年4回）	継続

■ 航空機騒音問題への対応		環境規制課
航空機騒音の実態を把握し、生活環境を保全するため、迅速な騒音測定を行い、市民向けの情報提供を速やかに行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
航空機騒音の測定	4地点/年	継続
市民への情報提供	1回/月	1回/週

2. 良好な水環境づくりの推進

● 海辺の水質保全（下水道高度処理施設の整備）		下水道施設建設課
東京湾の水質を改善するため、浄化センターに高度処理施設を整備します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
中央浄化センター 高度処理施設整備	水処理施設土木工事 1/3系列	水処理施設土木・建築工事 1/3系列 水処理施設機械・電気設備工事1/3系列
南部浄化センター A系列高度処理化	A系列高度処理施設 1/2系列	高度処理化実施設計
32年度末目標		高度処理化実施設計

■ 上水道配水管布設等の推進		環境規制課
地下水汚染が確認された地域に安全な飲料水を提供するため、上水道配水管の布設や浄水器の設置に助成します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
上水道配水管布設助成	46件	7件増
浄水器設置費助成	13件/年	7件増
32年度末目標		20件/年

施策の展開

- 本市では、平成23年（2011年）に環境基本計画を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的・計画的に推進してきたところですが、環境問題を取り巻く状況や社会情勢変化へ適切に対応するため、次期環境基本計画の策定を進めます。
- 環境教育の裾野の拡大、多様な学習機会の継続的・段階的な提供、さらには環境教育を支援するための人材や情報の提供などを体系的、計画的に推進します。

計画事業

● 次期環境基本計画の策定

環境総務課

環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、次期環境基本計画の策定を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
次期環境基本計画の策定	—	素案作成	素案作成

環境保全課

■ 環境学習・環境教育の推進



環境問題に対する理解を深めるため、学校での環境教育を充実するとともに、市民団体との協働による環境学習講座を開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
環境学習モデル校の指定	小学校 6校/年	継続	6校/年
	中学校 6校/年	継続	6校/年
環境教育教材の作成	18,700部/年	継続	18,700部/年
環境学習講座の開催	公民館等 8講座/年	継続	公民館等 8講座/年



方向性2

支えあいがやすらぎを生む、 あたたかなまちへ

施策体系

2-1 健康で活力に満ちた社会を創る

- 2-1-1 健康づくりの推進
- 2-1-2 医療体制の充実
- 2-1-3 食の安全と環境衛生の推進

2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る

- 2-2-1 子育て支援の充実
- 2-2-2 こどもの健全育成の推進

2-3 ともに支えあう地域福祉社会を創る

- 2-3-1 地域福祉の充実

2-4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る

- 2-4-1 介護予防と生きがいづくりの促進
- 2-4-2 地域生活支援の充実（高齢者）
- 2-4-3 介護保険サービスの充実

2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る

- 2-5-1 療育体制と相談支援の充実
- 2-5-2 地域生活支援の充実（障害のある人）
- 2-5-3 就労支援と社会参加の促進

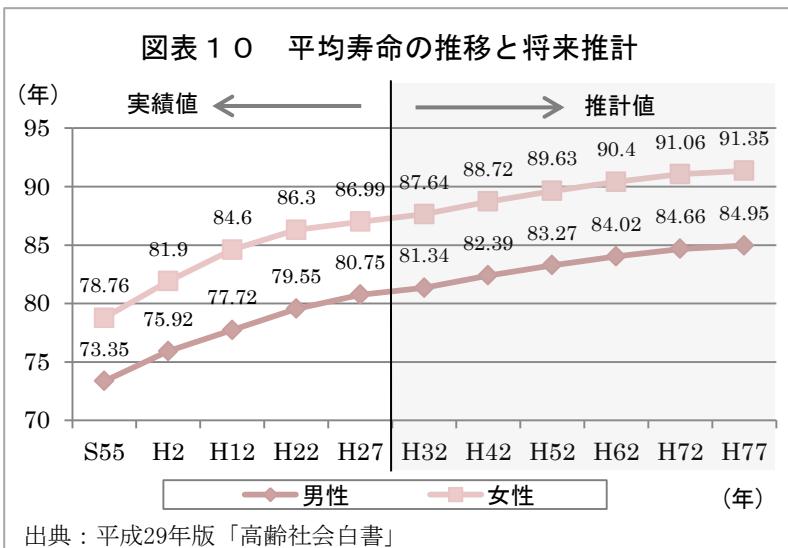
2-1 健康で活力に満ちた社会を創る

2-1-1 健康づくりの推進

施策の展開

- 本市では、市民が支えあいながら、心豊かに暮らせる活力に満ちた社会を目指し、疾病の発生予防や重症化予防に重点を置いた健康づくり、親と子が健やかに暮らせる社会づくりを進めています。
- 厚生労働省によれば、平成27年（2015年）現在65歳の女性は約2人に1人が90歳まで、約16人に1人が100歳まで生きるという状況であり、100歳まで生きることが珍しくない時代が到来しています。こうした「人生100年時代」を迎え、市民が健康に生活できる期間を延ばせるよう、ライフステージに応じた健康づくりの取組みを推進します。
- 市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支えるため、地域における運動・ウォーキングイベントなどを開催します。
- 東京2020大会の開催を見据え、受動喫煙対策に取り組むとともに禁煙治療費用の助成を行います。

計画事業



● 100年を生きる健やか未来都市の実現【新規】

健康企画課

健康寿命を延伸し、誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を実現するため、今後、重点的に取り組む項目について、広報・啓発活動を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
「人生100年時代」及び健康づくりに関する広報・啓発活動	健やか未来都市ちばプラン中間評価・見直し	実施	実施

● 禁煙の支援及び受動喫煙防止の推進

健康企画課、健康支援課

受動喫煙による健康被害を防止するため、禁煙治療費の一部を助成します。また、受動喫煙の機会を減らし、健康で快適な社会をつくるため、分煙に関する普及・啓発活動を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
禁煙治療費用の助成	—	実施	実施
分煙に関する普及啓発活動	—	実施	実施

■ 運動イベントによる健康づくりの促進



健康支援課

市民の生活習慣改善のきっかけや、自身の健康状態に気づく機会を提供するため、地域における運動イベントを実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
運動イベント	各区 1回/年	継続	各区 1回/年

■ 花見川糖尿病ゼロプロジェクト 

花見川区健康課

区民の糖尿病等の生活習慣病の予防及び健康への関心を高めるため、地域住民と医療関係機関との協力のもと、健康づくりのための情報収集や普及・啓発を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
啓発リーフレットの作成	実施	3種類増	3種類増
啓発標語の募集	実施	継続	実施

■ 稲毛区健康づくりウォーキング 

稻毛区健康課

区民の主体的な生活習慣病の予防を図るため、健康ウォーキングに区の魅力再発見の要素を加味したイベントを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
健康づくりウォーキング	1回/年	継続	1回/年
健康づくりスローガンのPR	実施	継続	実施
運動自主グループ育成支援	13グループ	6グループ増	19グループ

■ 若葉区ラジオ体操で健康づくりとまちづくり 

若葉区健康課

ラジオ体操を通じた健康づくりや世代間交流を図るため、実技講習会や情報交換会の開催や、ラジオ体操グループへの支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
実技講習会・情報交換会	1回/年	継続	1回/年
ラジオ体操グループ登録の推進	48グループ	8グループ増	56グループ

■ 緑区健康フェアの開催 

緑区健康課

健康づくりの意識向上を図るため、地元企業や関係機関と連携し、運動体験や健康測定等ができる健康イベントを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
健康フェアの開催	1回/年	継続	1回/年
運動グループ登録の推進	12団体	8団体増	20団体

● シニアリーダー*活動の推進  【再掲】

地域包括ケア推進課

地域で元気に生活できる高齢者を増やすため、介護予防に役立つ体操教室などを開催しているシニアリーダーの活動を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
シニアリーダー連絡会への活動助成	—	実施	実施

施策の展開

- 本市全体の医療需要について、平成28年度（2016年度）に千葉県が策定した地域医療構想によると、本市圏域では、75歳以上人口の増加に伴い、平成37年度（2025年度）には入院患者数が平成25年度（2016年度）の1.3倍、在宅医療等の需要が約2倍になると見込まれています。
- このような状況の中、市立病院では引き続き地域医療の役割を担うとともに、青葉病院での精神医療や救急医療、海浜病院での小児・周産期医療など、特色ある医療の充実・強化を図っていきます。
- さらに、将来的には公、民の適切な役割分担のもと、地域において必要な医療提供体制の確保を図るため、青葉病院・海浜病院の健全な病院経営を確立するとともに、市立病院として今後果たすべき役割について検討を進めます。
- 地域医療に従事する人材を確保していくため、市内で働く医療従事者を支援する活動や市民と医療機関との交流を促進する活動を行う市民団体を支援するとともに、地域医療における薬剤師の業務拡大について検討を進めます。

計画事業

● 市立病院の医療機器更新

青葉病院事務局、海浜病院事務局

市民に必要とされる医療を継続的に提供するため、青葉病院及び海浜病院の医療機器を更新します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
医療機器の更新（青葉病院）	S P E C T - C T [*] 装置等	頭腹部血管撮影装置 3D腹腔鏡下外科手術システム等	頭腹部血管撮影装置 3D腹腔鏡下外科手術システム等
医療機器の更新（海浜病院）	M R I 装置等	X線テレビ装置 生体情報モニタ等	X線テレビ装置 生体情報モニタ等

■ 地域医療人材支援団体の設置促進  【新規】

健康企画課

地域医療を守るため、地域医療人材を支援する団体の設置を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域医療人材支援団体の設置支援	—	実施	実施

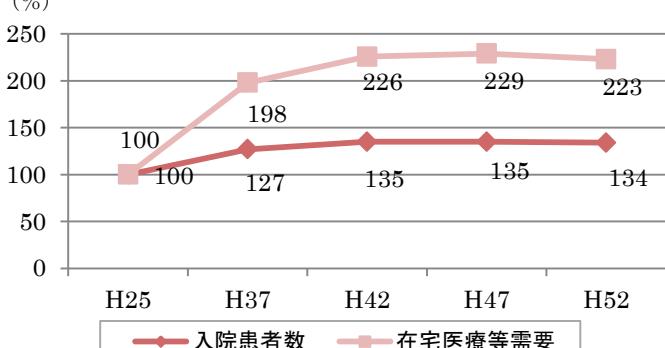
■ 薬剤師の業務拡大【新規】

健康企画課

地域医療の担い手や、地域住民の健康増進等の観点から、薬剤師の役割が進展していることを踏まえ、関係機関と連携し、薬剤師の業務拡大の検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
薬剤師の業務拡大	—	実施	実施

図表11 入院患者数及び在宅医療等需要の対H25増減率 (%)



出典：千葉県保健医療計画（平成23年度～平成29年度）

施策の展開

- 近年、食品の製造・加工技術、保存・流通システムの進歩に伴う食のグローバル化や、食生活の多様化、健康意識の高まりなどを背景に、食の安全に対する関心が高まっています。
- 食の安全を確保するため、H A C C P[※]など食品衛生に関する最新の知識等の普及・啓発を進めるとともに、関係機関と連携し、飲食店や食品製造施設のほか、市内での開催が増加している大規模イベントにおける食品取扱施設などへの監視指導や、流通食品の検査を行います。
- また、市内で生産された、新鮮で安心・安全な農産物を市民に供給し、消費者と生産者がより身近で、さらに消費者に信頼される関係を構築できるよう、「千葉市つくたべプロジェクト」として地産地消の取組みを進めます。
- 食中毒などの予防のため、社会福祉施設や飲食店を対象とした衛生講習会等を行うほか、万一食中毒が発生した場合は危害拡大の防止を図りつつ、迅速かつ正確な検査等を行い、原因究明・再発防止を図ります。
- 本市地方卸売市場について、消費者及び生産者の双方から品質管理に対する要求が高まっていることから、コールドチェーン[※]化など、安全な食の流通を支える品質管理機能の強化について検討を進めます。
- 市民の健康を守るため、住宅や理美容施設などにおける化学物質の測定や、害虫等の相談などに対し適切に対応を図ります。

計画事業

● 地産地消の推進【再掲】	農政課
市内産農産物の認知度向上や利用拡大を図るため、買える場所・食べられる場所の情報の見える化を図るとともに、農家レストランの開設支援などを行います。	
取組項目	29年度末現況
市内農産物の見える化 (販促物作成支援)	—
千葉市つくたべプロジェクト の推進	協議会の設立準備
農家レストラン開設助成	—
計画内容	32年度末目標
	実施
	実施
	協議会設立・運営支援
	協議会設立・運営支援
	実施
	実施

● 市場機能の強化【再掲】	地方卸売市場
市場における健全で安定したサービス提供のため、経営戦略を策定するとともに、場内事業者の経営基盤強化に向け、支援を行います。また、老朽化している施設の改修を進めます。	
取組項目	29年度末現況
場内事業者の経営基盤強化	—
設備改修	水産物部冷蔵庫棟 冷凍施設改修 青果棟 定温庫冷蔵設備改修 ガス設備改修
計画内容	32年度末目標
	経営支援講座 1件 コンサルタント支援 1件 経営戦略策定
	経営支援講座 1件 コンサルタント支援 1件 経営戦略策定
	完了

2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る

2-2-1 子育て支援の充実

施策の展開

- 妊娠期からこどもが自立するまでの期間にわたり、安心してこどもを産み、育てられる環境を整備し、きめ細かな子育て支援策を推進するため、各区保健福祉センターに、母子健康包括支援センターを設置し、産前産後の支援体制を拡充するとともに、病児・病後児保育の拡充など、多様なサービスを提供します。
- 本市では、平成26年（2014年）及び27年（2015年）4月に待機児童ゼロを達成しましたが、潜在的保育需要の顕在化などにより、再び待機児童が発生している状況です。
- 引き続き、幼稚園の認定こども園移行支援や小規模保育事業の整備を進めるほか、保育需要が特に高い地域における民間保育園の整備等を実施するとともに、処遇の改善等による教育・保育人材の確保、研修等を通じた質の向上など、ハード・ソフト両面から待機児童の解消を進めます。
- 男女ともに仕事と家庭生活のバランスがとれた環境づくりを進めるため、男性の育児に関する講座やイベントを開催するほか、男性の育児休業の取得促進を行います。
- 将来、こどもを産み、育てたいと希望する市民への、不育症※・不妊症に関する支援策の充実に取り組みます。



保育園の様子

計画事業

1. 仕事と家庭の両立支援

● 子ども・子育て支援新制度給付対象施設の整備

幼保支援課

潜在的な保育需要に対応し、将来にわたり待機児童ゼロを達成するため、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、計画的に保育所等を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
認定こども園移行	26園	25園増	51園
地域型保育事業	73か所	47か所増	120か所
民間保育園	117園	30園増	147園

● 多様な保育需要への対応

幼保支援課、幼保運営課

保護者の就労形態の多様化等に伴う保育ニーズに対応するため、保育メニューの拡充を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
一時預かりの拡充	40か所	9か所増	49か所
病児・病後児保育の拡充	8か所	2か所増	10か所
休日保育の拡充	7か所	2か所増	9か所
子育て支援コンシェルジュの拡充	6人	2人増	8人

● 医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備			幼保運営課
医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を充実させ、受け入れ体制を強化します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
看護師の拡充	2人	2人増	4人

● 公立保育所の建替え			幼保支援課
良好な保育環境を確保するとともに、より多様な保育ニーズに対応するため、老朽化が著しい木造公立保育所の建替えを行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
改築	1か所	2か所	3か所

● 子どもルームの拡充【再掲】			健全育成課
仕事と子育ての両立支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設及び施設環境の改善を行ふとともに、民間事業者の参入を促進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新設・増設	4か所	8か所	12か所
移転	1か所	3か所	4か所
民間事業者への運営費助成	2か所	6か所増	8か所

2. 教育・保育の質の向上

● 教育・保育人材の確保及び質の向上			幼保運営課
教育・保育人材を確保するとともに、質を向上させるため、保育士の処遇改善のための支援や、保育士を養成する市内の三短大と連携した研修等を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
宿舎借り上げ支援	112人/年	23人増	135人/年
修学資金貸付	50人/年	継続	50人/年
給与助成	1,961人/年	531人増	2,492人/年
保育補助者雇上助成	—	63施設/年	63施設/年
巡回指導員の拡充	10人	3人増	13人
サバティカル研修※の充実	—	8分野×4日間	8分野×4日間

● 幼児教育の推進体制構築			幼保支援課
幼稚園・保育所・認定こども園における幼児教育と小学校教育とのつながりを強化するとともに、幼児教育の質の向上を図るため、アプローチカリキュラム※の作成・普及を推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
カリキュラムコーディネーターによる支援	21回/年	81回増	102回/年
家庭と保護者に対する啓発・支援	—	講演会1回/年 パンフレット配布	講演会1回/年 パンフレット配布

● 男性保育士の活躍推進		幼保支援課、幼保運営課	
公立保育所において、男性保育士等が働きやすい執務環境を整えるとともに、市民の理解を促進するため、男性保育士による育児講座や養成校への出張説明会を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
更衣室整備	5か所	15か所	20か所
トイレ整備	—	10か所	10か所
男性保育士による育児講座	3回/年	15回増	18回/年
男性保育士による養成校への出張説明会	5回/年	継続	5回/年

3. 子育て家庭への支援

■ 男性の子育て支援		幼保支援課	
男性の子育てを支援するため、男性を対象とした育児休業取得促進奨励金の支給や育児に関する講座・イベントを充実します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
育児休業取得促進奨励金の助成	7件	2件増	9件
子育て拠点施設での男性向け講座・イベントの開催	1回/年	12回増	13回/年
男性の育児に関する講座・イベントの開催	実施	継続	実施

4. 不育症※・不妊症対策の強化

● 不育症・不妊症対策の強化		健康支援課	
不育症・不妊症に関する精神面及び経済面での負担軽減を図るため、相談体制を強化するとともに、治療費等の助成制度を拡充します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
相談支援体制の充実	平日面談・電話相談の実施	専門電話開設 夜間面談・電話相談の実施	専門電話開設 夜間面談・電話相談の実施
若い世代への妊娠・出産に関する正しい知識の周知・啓発	—	リーフレット作成	リーフレット作成
不育症・不妊症治療費等助成の拡充	助成実施	拡充	拡充

2-2-2 こどもの健全育成の推進

施策の展開

- 子どもルームについては、社会経済状況の変化に伴う女性の就業志向の高まりや働き方の多様化により需要が高まっていることから、子どもルーム待機児童解消のための「緊急3か年対策」を策定し、取組みを進めているところであり、今後も受入枠の拡大を図るとともに、民間事業者の参入を進めます。
- 本市において、経済的に困難な状況にあり、支援制度を利用している世帯等の児童数は約13,000人となっており、これ以外にも厳しい環境にある子どもたちが多くいることが推測されます。このような背景を踏まえつつ、貧困の連鎖防止に取り組むため、子ども一人ひとりの家庭環境に寄り添い、支援先につなげる役割を担う「子どもナビゲーター※」を拡充します。
- 社会的養護が必要な子どもへの対応については、一般家庭に近い環境と安定した人間関係の下できめ細かな支援が可能となるよう、NPO等との協働による里親の担い手確保や施設の小規模化を進めます。
- 児童相談所においては、保護期間の長期化や定員超過が発生していることから、居室を増設するとともに、相談件数の増加に対応するため、体制の強化に向けて検討を進めます。



子どもルームの様子

計画事業

1. 健全に育つ環境づくりの推進

● 子どもルームの拡充	健全育成課
仕事と子育ての両立支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設及び施設環境の改善を行ふとともに、民間事業者の参入を促進します。	
取組項目	29年度末現況
新設・増設	4か所
移転	1か所
民間事業者への運営費助成	2か所
計画内容	32年度末目標
8か所	12か所
3か所	4か所
6か所増	8か所

2. 支援を必要とする子どもと家庭への支援

● 子どもの貧困対策総合コーディネート	こども家庭支援課
困難な状況におかれた子どもの家庭環境に寄り添い、必要な支援を行うため、子どもナビゲーターを配置します。	
取組項目	29年度末現況
子どもナビゲーターの拡充	1か所
計画内容	32年度末目標
2か所増	3か所

● 弁護士による養育費相談	こども家庭支援課
ひとり親家庭やDV被害者の経済的な自立を支援し、子どもの健やかな成長につなげるため、弁護士による養育費相談を行います。	
取組項目	29年度末現況
弁護士による養育費相談	18人/年
計画内容	32年度末目標
36人増	54人/年

● **家庭養育等の推進** 

こども家庭支援課、児童相談所

社会的養護を必要とする児童がより家庭的な生活を送るため、NPOと協働し里親等委託を進めるとともに、乳児院の小規模化を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
里親制度推進 (特別養子縁組の支援含む)	広報啓発、 シンポジウム開催等	NPOと協働による 里親リクルート、研修、 訪問支援	NPOと協働による 里親リクルート、研修、 訪問支援
乳児院小規模化	20人×1グループ	5人×4グループ	完了

● **児童相談所の充実強化【新規】**

児童相談所

一時保護を必要とする児童の増加に対応するため、一時保護所の居室増設を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
一時保護所の居室増設	—	工事	完了

● **生活困窮家庭等の子どもへの学習支援の拡充【再掲】**

保護課

家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活困窮家庭等の子どもへの学習支援を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学習支援の土日開催	—	各区開催	各区開催

2-3 ともに支えあう地域福祉社会を創る

2-3-1 地域福祉の充実

施策の展開

- こどもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域社会をつくるため、地域全体で支えあい、助けあう仕組みづくりを進めます。
- 「自助・共助・公助」の考え方のもと、地域の生活課題を住民とともに解決するため、「支え合いのまち千葉 推進計画（第4期地域福祉計画）」に基づく地域包括ケアシステム※構築推進及び、生活困窮者自立支援法の取組みを前進させるとともに、地域住民や地域の団体・組織等による支えあい（共助）と公助が連動して地域を「丸ごと」支える包括的支援体制づくりを目指します。
- また、地域活動の拠点を増やし、地域交流を促すため、高齢者福祉施設が有する地域交流スペースの利用を促進します。

計画事業

■ 第5期地域福祉計画の策定		地域福祉課	
住民とともに支えあい、課題を解決できる地域社会をつくるため、今後の地域福祉の取組みを定めた計画を策定します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
第5期地域福祉計画の策定	第4期計画策定	策定	策定
■ 高齢者福祉施設の地域福祉拠点としての利用促進  【新規】		高齢福祉課	
地域活動の拠点を増やすとともに、社会福祉法人と地域住民の交流を促すため、高齢者福祉施設が有する地域交流スペースの利用を促進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市民向け利用促進	—	市広報媒体による周知	市広報媒体による周知
活用実績の収集・発信	—	実施	実施
● 生活困窮家庭等の子どもへの学習支援の拡充		保護課	
家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活困窮家庭等の子どもへの学習支援を拡充します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学習支援の土日開催	—	各区開催	各区開催
● 生活支援体制整備の推進【再掲】		地域包括ケア推進課	
地域において、高齢者を支えあう体制づくりを行うため、支えあい活動などの育成・調整役である生活支援コーディネーター※を、あんしんケアセンターの圏域ごとに設置します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
生活支援コーディネーターの拡充	各区2人配置（12人）	各圏域1人（28人）	各区1人（6人） 全圏域配置完了（28人）

2-4-1 介護予防と生きがいづくりの促進

施策の展開

- 高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、就労やボランティアなどの情報の提供やマッチングを行うための生涯現役応援センターの拡充などの環境整備を進めます。
- 地域における健康づくり・介護予防を促進し、介護が必要な高齢者を減らすため、体操教室の開催などを行うシニアリーダー※に対して支援を行います。



計画事業

シニアリーダーによる体操教室

● シニアリーダー活動の推進 

地域包括ケア推進課

地域で元気に生活できる高齢者を増やすため、介護予防に役立つ体操教室などを開催しているシニアリーダーの活動を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
シニアリーダー連絡会への活動助成	—	実施	実施

● 生涯現役応援センターの拡充

高齢福祉課

高齢者の就労や地域活動など多様な社会参加ニーズに対応するため、各種情報を集約し、情報提供・相談・紹介などを行う生涯現役応援センターを拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
センターの設置・運営	1か所	1か所	2か所

■ ボランティアリーダーの育成  【新規】

高齢福祉課

高齢者が地域で元気に活躍できる社会を実現するため、地域ボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ボランティア育成講座の開講	—	開講	開講

■ 高齢者を対象としたペットによる生きがいづくり 【新規】

高齢福祉課

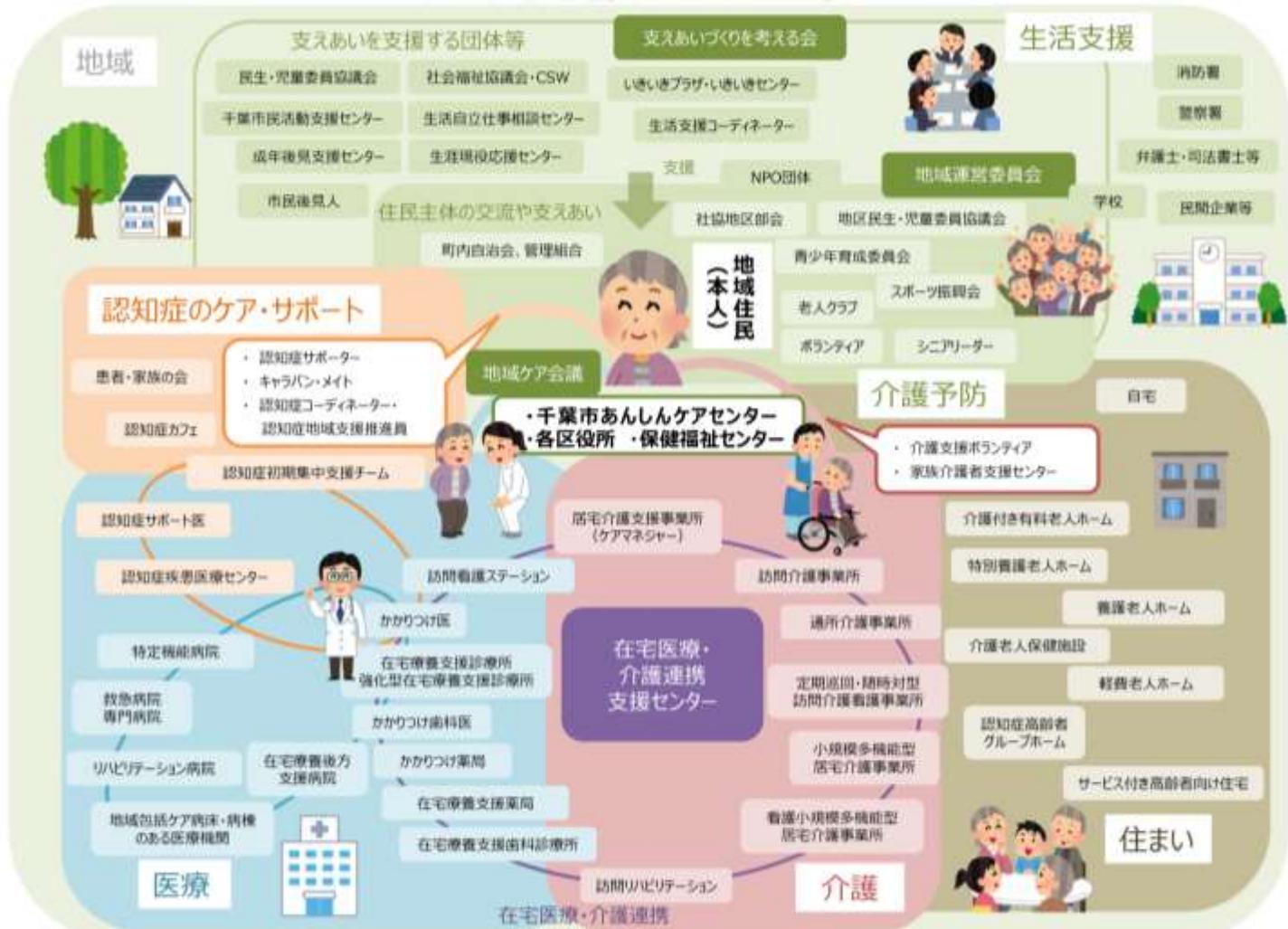
高齢者が生きがいを持ち、安心してペットと生活できる環境をつくるため、一時飼育ボランティアへの高齢者の参加促進や、高齢者が将来ペットを飼育できなくなつた場合に備えた支援を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
子猫の一時飼育ボランティアへの高齢者参加の推進	—	実施	実施
犬の里親ボランティア募集	—	実施	実施

施策の展開

- 地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した生活を続けられるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供する仕組みである「地域包括ケアシステム※」の構築・強化を図ります。
- 地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担う、あんしんケアセンターについては、高齢者の相談体制を充実するため、高齢者人口の増加や分布に応じ、専門職員を増員するなど体制強化を図ります。
- 在宅生活を支援するため、在宅医療・介護連携支援センターの設置や、在宅医療・介護対応薬剤師の認定などにより、医療・介護を一体的に提供できる体制づくりを進めるとともに、地域密着型介護サービス事業所の整備に助成します。
- 認知症の人やその家族の在宅生活を支援するため、認知症初期集中支援チームの増設などにより、早期発見・支援の仕組みづくりを行うとともに、安心して過ごせる居場所づくりとして「認知症カフェ」の設置に助成します。
- また、地域で高齢者を支えあう体制づくりを図るため、支えあい活動の育成・調整役を担う生活支援コーディネーター※を設置するとともに、交通不便地域における高齢者の日常生活の「足」の確保に取り組む団体をモデル的に支援します。

図表12 本市地域包括ケアシステムの姿



計画事業

● あんしんケアセンターの機能強化		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者や家族への支援体制の充実を図るため、地域包括ケアシステム※の中心的役割を担う、あんしんケアセンターの体制を強化します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
専門職員の拡充	137人	13人増	150人
支援体制の整備	支援職員 3区設置	3区増	全6区 完了
● 在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携支援センター	
医療・介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくるため、在宅医療・介護連携支援センターを設置するなど、在宅医療・介護サービスを一体的に受けられる体制づくりを進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
在宅医療・介護連携支援センターの設置	—	設置	設置
多職種連携の強化	多職種連携会議の開催	訪問看護ステーション支援	訪問看護ステーション支援
市民向け普及啓発	シンポジウムの開催	シンポジウム・ワークショップの開催	シンポジウム・ワークショップの開催
● 認知症の人や家族への支援		地域包括ケア推進課	
認知症の人や家族に対する支援の充実を図るため、看護師・作業療法士などで構成する認知症初期集中支援チームの増設や、認知症カフェ設置に対する助成などを行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
認知症初期集中支援チームの拡充	3チーム	3チーム増	6チーム
認知症カフェ設置助成	モデル実施	本格実施	本格実施
● 地域密着型サービス事業所の整備		介護保険事業課	
高齢者の在宅生活を支援するため、小規模多機能型居宅介護事業所や定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備に助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
小規模多機能型居宅介護事業所の整備	29か所 (整備中を含む)	3か所増	32か所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備	12か所	3か所増	15か所

● 生活支援体制整備の推進		地域包括ケア推進課
地域において、高齢者を支えあう体制づくりを行うため、支えあい活動などの育成・調整役である生活支援コーディネーター*を、あんしんケアセンターの圏域ごとに設置します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
生活支援コーディネーターの拡充	各区2人配置（12人）	各圏域1人（28人） 各区1人（6人） 全圏域配置完了（28人）

● 高齢者の移動支援  【新規】		高齢福祉課
買い物・通院時などの高齢者の移動手段を確保するため、高齢者の送迎を行う活動等への支援をモデル的に実施します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
高齢者の移動を支援する団体への助成	—	モデル実施、効果検証 モデル実施、効果検証

2-4-3 介護保険サービスの充実

施策の展開

- これまで全国や千葉県平均よりも低く推移してきた本市の高齢化ですが、今後急速に進展することが見込まれます。それに伴い、急増する介護認定調査・審査に適切に対応できる体制を構築するため、認定調査の業務委託を実施します。
- 介護サービス基盤の充実を図るため、入所希望者の多い特別養護老人ホームについて、地域バランスや介護保険料への影響などを勘案し、着実な整備を促進します。また、老朽化した養護老人ホームや軽費老人ホームの施設修繕に助成します。
- 安定した介護サービスを提供するため、介護人材の確保に取り組むほか、介護職員の負担軽減に向け、大学や事業者との連携により介護ロボットの普及・促進を図ります。

計画事業

● 介護認定調査の指定事務受託法人への委託【新規】		介護保険管理課	
要介護認定者の増加を見据え、安定した介護認定調査を行うため、認定調査の業務委託を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
指定事務受託法人への委託	—	2,997件	2,997件
● 特別養護老人ホームの整備		介護保険事業課	
介護が必要な高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの整備に助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
特別養護老人ホームの整備	52か所(3,649人) (整備中を含む)	7か所(560人)増	59か所(4,209人)
● 養護・軽費老人ホームの大規模修繕への助成【新規】		介護保険事業課	
利用者の利便性低下を防ぐため、老朽化した養護・軽費老人ホームの施設修繕に助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
施設修繕への助成	—	1施設/年	1施設/年
● 介護人材の確保・定着の支援		介護保険管理課	
介護人材の確保・定着を促進するため、合同就職説明会を実施するとともに、外国人人材の雇用に対し、支援を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
合同就職説明会の充実	1回/年	1回増	2回/年
EPA [※] 等に基づく外国人人材受入に対する支援	—	実施	実施
● 介護ロボットの普及促進		介護保険管理課	
介護ロボットの普及促進を図るため、ニーズ把握や効果検証を行うとともに、大学との連携により普及促進セミナーを実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
介護ロボットの利活用促進	—	支援方針の決定 普及促進セミナー1回/年	支援方針の決定 普及促進セミナー1回/年
実証フィールドの提供支援	—	実施	実施

2-5-1 療育体制と相談支援の充実

施策の展開

- 療育相談所（療育センター）における新規相談件数や、発達障害者支援センターにおける支援件数は増加を続けており、専門職員の不足が生じています。また、発達障害の相談支援が増加する中で、児童が通う保育所、幼稚園等の職員や市内医療従事者が発達障害への理解を深めることが重要になっています。
- 療育体制と相談支援の充実を図るため、療育相談所及び発達障害者支援センターの医師や専門職員を増員します。
- また、発達障害の早期発見・早期支援を図るため、発達障害者支援センターにおいて、保育所等への巡回相談を引き続き実施するとともに、発達障害に関する理解が深まり、身近な医療機関での対応力が高まるよう、市内医療従事者に対し研修を実施します。

計画事業

● 発達障害者への支援の推進	障害者自立支援課、障害福祉サービス課
発達障害のある人やその家族への支援の充実を図るため、療育相談所や発達障害者支援センターの体制を強化するとともに、かかりつけ医への研修を実施します。	
取組項目	29年度末現況
療育相談所の人員拡充	医師 4 人、相談員 3 人
発達障害者支援センターの人員拡充	相談・支援職員 5 人
かかりつけ医等に対する発達障害対応力向上研修	講師の養成
計画内容	32年度末目標
医師 2 人、相談員 1 人増	医師 6 人、相談員 4 人
2 人増	相談・支援職員 7 人
研修実施	研修実施

施策の展開

- 障害のある人やその家族の高齢化に伴い、高齢の親が介護を続ける状況や、主たる支援者である親亡き後を見据えた支援が喫緊の課題となっており、社会全体で障害のある人を支えていくことが強く求められています。
- 障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指すため、一人ひとりに寄り添う相談体制の整備や、特別な配慮を必要とする障害のある人へのサービス提供体制を整備するとともに、障害福祉サービスの充実を図ります。
- 地域の様々な資源を有機的に結び付け、障害のある人やその家族が安心して地域で生活できるよう支援を行う地域生活支援拠点を整備します。
- また、障害のある人が、福祉施設等から地域での自立した生活に移行することを促進するため、障害者グループホームなどの設置・運営に対する支援を行い、生活の場の確保を進めます。

計画事業

● 地域生活支援拠点の整備	障害福祉サービス課		
障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくるため、地域生活支援拠点の整備を進めます。			
取組項目 拠点の整備	29年度末現況 知的障害者向け 1か所	計画内容 身体障害者向け 1か所増 精神障害者向け 1か所増	32年度末目標 知的障害者向け 1か所 身体障害者向け 1か所 精神障害者向け 1か所

● 強度行動障害者への支援の推進	障害福祉サービス課		
家族への支援を強化するため、強度行動障害のある人を受け入れた通所事業所やグループホームに対し加算を行います。			
取組項目 強度行動障害者加算の拡充	29年度末現況 加算対象 施設入所 短期入所	計画内容 対象拡充 グループホーム 通所事業所（生活介護）	32年度末目標 加算対象 施設入所 短期入所 グループホーム 通所事業所（生活介護）

■ 手話等によるコミュニケーション支援の推進	障害者自立支援課		
コミュニケーションに支援が必要な聴覚障害のある人が安全・安心に生活できる環境をつくるため、夜間・休日等緊急時の手話通訳者派遣に係る受付窓口を設置・運営します。			
取組項目 手話通訳者の派遣に係る受付窓口の設置・運営（緊急時）	29年度末現況 実施	計画内容 継続	32年度末目標 実施

● 依存症患者への支援の推進

精神保健福祉課、こころの健康センター

依存症についての理解を促進し、依存症者や家族を相談や治療につなげるため、シンポジウム等の啓発活動を行うとともに、医療・福祉サービス従事者を対象とした研修を実施します。また、依存症者やその家族を支援する民間団体への支援を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
普及啓発活動	講演会 1回/年	講演会 1回/年 シンポジウム 1回/年 リーフレット作成	講演会 1回/年 シンポジウム 1回/年 リーフレット作成
関係機関向け依存症対応研修	—	実施	実施
依存症関連民間団体への助成	—	20団体/年	20団体/年

● 精神障害による措置入院者等の退院後支援

精神保健福祉課

措置入院後に退院した精神障害者の医療中断や、社会からの孤立を防止するため、医療機関や障害福祉サービス事業所等と連携し支援体制を構築します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
個別ケースの支援	一部実施	全件実施	全件実施
精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の運営	—	実施	実施

● 障害者グループホームの整備

障害福祉サービス課

障害のある人の地域移行を促進するため、障害のある人が日常生活の援助や介護を受けながら共同生活を行うグループホームの整備・運営に助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
グループホーム整備費用助成	新築・改修補助 2件/年	継続	2件/年
	開設準備費 6件/年	3件/年	3件/年
運営費等助成	運営費補助金 実施	継続	実施
	家賃助成 実施	継続	実施

2-5-3 就労支援と社会参加の促進

施策の展開

- 障害の有無に関わらず、誰もが暮らしやすいまちを目指して作られた「障害者差別解消法」が平成28年(2016年)4月に施行されましたが、障害のある人への理解と協力は十分とは言えない状態です。東京2020大会の開催を契機に、市民や企業の障害のある人への理解の深化を目指します。
- 市内小学校における障害のある人自身による講話や障害者アスリート訪問、市主催イベントにおけるパラスポーツ※体験会の実施などにより、障害及び障害のある人への理解を広げます。
- 障害のある人が自らの特性に合わせて社会参加や就労できるよう、千葉労働局とともに、就労先の開拓と職場定着支援の充実を図ります。



パラリンピック出場者による学校訪問

計画事業

● 障害者への理解の促進

障害者自立支援課

東京2020大会の開催に向け、障害のある人への理解促進・共生社会の実現に向けて、市内小学校で障害のある人自身が体験談を語る講話とともに、パラスポーツなどの体験学習を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
小学校での障害のある人による講話・体験学習会の実施	30校/年	10校増	40校/年

● パラスポーツの推進 【再掲】

オリンピック・パラリンピック調整課

パラスポーツを推進するため、障害者アスリートによる学校訪問やパラスポーツ市民大会などを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
障害者アスリートによる学校訪問の実施	71校	118校増	全小・中学校実施
パラスポーツ体験会等の実施	30回/年	11回増	41回/年
パラスポーツ市民大会の実施	—	実施	実施

■ パラスポーツ交流を通した地域活性化 【再掲】

稻毛区地域振興課

共生社会の形成と地域の活性化を推進するため、障害のある人もない人も、子どもから高齢者まで共に楽しみ交流できるパラスポーツイベントを実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
パラスポーツによる交流イベントの実施	パラスポーツ体験会	パラスポーツ体験会 稻毛区ボッチャ※大会	パラスポーツ体験会 稻毛区ボッチャ大会

● オリンピック・パラリンピックに向けた芸術文化振興【再掲】

文化振興課

本市ならではの文化振興を図るため、車椅子アートプロジェクト※の実施や、若者の文化芸術への参加を促進するとともに、東京 2020 大会 に向けた文化プログラムを策定し、推進します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
芸術文化の推進	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興 大規模音楽イベント出場支援	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興 大規模音楽イベント出場支援	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興 大規模音楽イベント出場支援
文化施設の多言語化	—	1 施設	1 施設
文化プログラムの推進	—	策定・実施	策定・実施



方向性3

豊かな心が育ち、 新たな価値が生まれるまちへ

施策体系

3-1 未来を担う人材を育成する

- 3-1-1 学校教育の振興
- 3-1-2 地域の教育力の向上
- 3-1-3 こどもの参画の推進

3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

- 3-2-1 生涯学習の推進
- 3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

3-3 文化を守り、はぐくむ

- 3-3-1 文化・芸術の振興
- 3-3-2 文化的財産の保全と活用

3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

- 3-4-1 国際化の推進
- 3-4-2 大学・企業等との連携の推進

3-5 市民の力をまちづくりの力へ

- 3-5-1 市民参加・協働の推進
- 3-5-2 男女共同参画の推進

3-1 未来を担う人材を育成する

3-1-1 学校教育の振興

施策の展開

- 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するため、平成29年（2017年）3月に学習指導要領の改訂が国から示されました。そこで、本市では、この新学習指導要領の全面実施に向け、外国文化や生活習慣に親しむ体験的な英語活動と、教科化を見据えた英語教育の充実を図るため、外国人講師を拡充するとともに、教員の英語指導力の向上を目的に、英語教育支援員（イングリッシュ・ソーター）を新たに配置します。また、技術の進展に適応し、変化の激しい社会を生き抜く力を育成するため、ICT環境を整備し、プログラミング教育や習熟度に応じた個別適応学習を実施します。
- 児童生徒が自己の進路・将来を主体的に考えることができる力を育成するとともに、都市を支える人材の育成を図るため、職業体験の実施や進路指導体制の充実など、キャリア教育※を推進します。
- 教育環境の充実を図るため、学校トイレの環境整備や音楽室等へのエアコン設置を進めるとともに、安全・安心な教育環境の確保、魅力ある学校づくりに向け、学校施設の計画的な保全改修を行います。また、学校施設の維持管理・更新や施設環境・機能の向上を着実に推進するため、中期的な財政負担を踏まえた取組みの方向性を示す「学校施設の長期寿命化計画」を策定します。このほか、良好な教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校適正配置に取り組みます。
- 教職員が子どもと向き合う環境を整えるため、教職員の業務改善に必要な校務用端末を整備するとともに、多様な専門スタッフの配置を進め、教員とそれを支える多様な人材が連携し、チームとして学校運営に取り組む体制を着実に整えます。
- 特別支援教育の充実に向け、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境を整えるため、指導員・介助員等の配置を拡充するとともに、LD※等通級指導教室の増設や巡回指導を実施します。また、いじめや不登校の未然防止と早期発見・解消、学習や社会生活が困難な子どもへの支援に向けて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー※の配置を拡充するとともに、帰国・外国人児童生徒の日本語習得に向けた支援体制の充実を図ります。
- 東京2020大会の競技会場都市として、豊かな心の育成やパラスポーツ※及び共生社会への理解促進を図るため、パラスポーツの授業や試合観戦を実施するとともに、オリンピック・パラリンピックを教材に取り入れた道徳教育を実施します。



授業の様子



パラスポーツ体験授業の様子

1. 確かな学力を育てる

● 小学校英語教育の充実		教育指導課	
小学校英語教育のさらなる充実を図るため、外国人講師の配置を拡充するとともに、英語教育支援員（イングリッシュ・サポート）を新たに配置します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
外国人講師の拡充	29人	21人増	50人
英語教育支援員（イングリッシュ・サポート）の配置	—	12人	12人
小学校教員の英語免許取得支援	英語免許保有小学校教員 85人	90人増	175人

■ 理数教育の充実		教育指導課	
科学や技術等への関心や学力を向上させるため、理数教育の充実に向けた取組みを推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
理数教育サポーターの推進	70校（70人）	検証	検証
算数科デジタル教科書の配備	17校 (小学校1・2年生用)	効果検証	効果検証

● I C T環境の整備・充実		教育センター	
児童生徒の情報活用能力を育成するため、教育用情報機器を整備します。また、児童生徒一人ひとりと向き合う時間を増やすため、教職員に一人一台の校務用端末を整備します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
CABINET*の更新	整備計画策定	更新	運用開始

● 市立高校の特色ある学校づくりの推進		教育指導課	
グローバルに活躍できる人材を育成するため、市立千葉高校のスーパーサイエンスハイスクールに外国人補助教員を拡充するとともに、市立稻毛高校のグローバルハイスクール化を目指します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スーパーサイエンスハイスクールの推進	実施	継続	実施
市立千葉高校の外国人補助教員の拡充	2人	1人増	3人
グローバルリーダー育成にかかる国からの指定	先進的な国際教育と課題探究学習	推進	推進

2. 豊かな人間性を育てる

● キャリア教育※の推進		教育指導課	
児童生徒が自分自身の将来を見据えて進路選択できる力を育成するため、キャリア教育に関する講演会を実施するとともに副読本を作成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
キャリア教育主任研修会	実施	継続	実施
企業関係者等による講演会	中学校 5校実施	中学校 全校実施	中学校 全校実施
副読本の作成	—	実施	実施

● 学校図書館の充実		教育指導課	
子どもの読書環境の充実を図るため、学校図書館の蔵書数を増やします。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校図書館の蔵書数の拡充	実施	継続	実施

● オリパラ教育の推進		教育指導課、保健体育課	
児童生徒のパラスポーツ※への理解促進と関心の向上を図るため、パラスポーツの授業等を実施します。また、多様性の理解を育むため、オリンピック・パラリンピックを教材とした道徳の授業を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
パラスポーツの授業の実施	12校	154校増	166校 (全小・中学校で実施)
パラスポーツ交流会の開催	—	開催	開催
小学校陸上大会におけるパラアスリートによる講演	—	実施	実施
パラスポーツの試合観戦	16校/年	2回増	18校/年
道徳教育用教材の作成	小学校3・4年生	小学校5・6年生 中学生	小学校3~6年生 中学生

3. 健やかな体を育てる

● いのちを守る教育の推進		保健体育課	
児童生徒が救急救命法の実技を学ぶことを通し、命の大切さや尊厳を学べるようにするため、小・中学校において、AEDトレーナー※を用いた救命講習会を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
救命講習会の実施	104校	62校増	166校 (全小・中学校で実施)
AEDトレーナー購入	11台	6台	17台

● 学校における食育の推進			保健体育課
広く市民に本市の学校給食や食育の現状を知ってもらうため、地場農産物を使った学校給食の試食会を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校給食の試食会の実施	—	6回/年	6回/年

● 部活動の充実			教育指導課、保健体育課
部活動の充実を図るため、専門的な知識や技術等を有する指導者を中学校に派遣します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
部活動指導者の拡充	75人	10人増	85人

4. 子どもの学びを支える環境を整える

● 学校防犯対策の推進			学校施設課
児童生徒の安全を確保するため、小・中学校に防犯カメラシステムを設置します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校防犯カメラシステムの設置	70校	30校増	100校

● 学校施設の環境整備			学校施設課
学校施設の長寿命化を図るため、計画的な保全改修を行うとともに、施設環境・機能を改善するための整備を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
大規模改修	小学校 7校 中学校 1校	小学校 14校 中学校 2校	小学校 15校 中学校 3校
外壁改修	小学校 29校 中学校 8校	小学校 9校 中学校 4校	小学校 38校 中学校 12校
トイレ改修	小学校 11校 中学校 2校 特別支援学校 1校	小学校 18校 中学校 15校 高等学校 1校	小学校 28校 中学校 17校 高等学校 1校 特別支援学校 1校
小学校の音楽室等エアコン整備	—	102校	102校
学校施設の長寿命化計画策定	—	策定	策定

● 学校適正配置に伴う施設改修			学校施設課
児童生徒のより良い教育環境を整備するため、学校適正配置により統合校となる小学校を改修します。また、跡施設については、利用方針に基づき改修します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
統合に伴う大規模改修	11校	実施設計・工事 1校	12校
跡施設利用に伴う解体・整備	8校	解体実施設計・解体工事 グラウンド改修実施設計 1校	8校

● 学校の適正規模・適正配置の推進

教育委員会企画課

児童生徒のより良い教育環境を整備し、教育の質を充実させるため、学校適正配置を推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
検討体制の構築	—	実施方針策定、推進、啓発パンフレットの作成・活用	推進、啓発パンフレットの作成・活用

● 小中連携・一貫教育の推進

教育指導課

小・中学校の円滑な接続や学力向上を図るため、小中一貫教育モデル校を設置します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
小中一貫教育モデル校設置	2校（研究指定校）	2校（モデル校）	2校（モデル校）

5. 信頼される教職員が子どもと向き合う環境を整える

● スクール・サポート・スタッフの配置【新規】

教育職員課

教員の負担軽減を図るため、教員に代わって簡易な事務を行うスクール・サポート・スタッフをモデル的に配置します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スクール・サポート・スタッフの配置	—	3人	3人

6. 多様な教育的支援の充実を図る

● 学校訪問相談員の拡充

養護教育センター

特別な支援が必要な児童生徒に対し幅広い支援を行うため、学校訪問相談員の配置を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校訪問相談員の拡充	4人	1人増	5人

● 特別支援教育指導員の拡充

養護教育センター

特別な支援が必要な児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育指導員の配置を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	35人	5人増	40人

● 特別支援教育介助員の拡充

養護教育センター

特別な支援が必要な児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育介助員の配置を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
特別支援教育介助員の拡充	5人	5人増	10人

● LD*等通級指導教室における体制整備の推進

教育支援課

特別支援教育の充実を図るため、LD等通級指導教室を増設するとともに、巡回指導を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
巡回指導の実施	—	小学校6校 中学校2校	小学校6校 中学校2校
LD等通級指導教室の増設	中学校設置校3校	1校	4校
テレビを活用した授業の実施	—	10校	10校

● スクールカウンセラーの拡充

教育支援課

いじめや不登校など児童の不安や心の悩みの解消を図るため、小学校スクールカウンセラーの配置を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
小学校スクールカウンセラーの拡充	6人	12人増	18人

● スクールソーシャルワーカー*の拡充

教育支援課

児童生徒の置かれた環境に働きかけて、支援を行うため、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スクールソーシャルワーカーの拡充	6人	4人増	10人

● 帰国・外国人児童生徒教育の充実

教育指導課

帰国・外国人児童生徒の日本語習得を支援するため、外国人児童生徒指導協力員の配置を拡充するとともに、日本語指導通級教室を増設します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
外国人児童生徒指導協力員の拡充	11人	2人増	13人
日本語指導通級教室の増設	1か所	1か所増	2か所
日本語指導通級教室指導員の拡充	3人	3人増	6人

施策の展開

- 学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備するため、学校支援地域本部の設置校を拡充するとともに、コミュニティ・スクール*をモデル的に導入するなど、各地域に応じた多様な形態の学校・地域の連携組織の設置を推進します。
- 希望する全ての子どもに対し多様な学びの機会と放課後の居場所を提供するため、「放課後子どもプラン」を策定し、そのプランに基づき、放課後子ども教室と子どもルームの一体型を拡充するとともに、放課後子ども教室における総合コーディネーターによる支援体制を強化し、企業や大学、N P O 法人などの外部講師を活用したプログラムを拡充するなど、放課後施策を総合的に推進します。



放課後子ども教室の様子

計画事業

● 学校と地域の連携・協働体制の整備		学事課	
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校支援地域本部の設置	16校	30校増	46校
コミュニティ・スクールのモデル実施	—	モデル実施	モデル実施

● 放課後子ども教室の推進

生涯学習振興課

放課後における児童への多様な体験機会の提供と安全・安心な居場所を確保するため、放課後子ども教室の活動を支援するとともに、子どもルームとの一体型事業を推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
活動支援実施校の拡充	10校	5校増	15校
一体型事業実施校の拡充	1校	5校増	6校
放課後こどもプランの策定	検討	策定	策定

施策の展開

- 内閣府による若者を対象とした意識調査によると、日本の子どもたちは、諸外国と比較して自己肯定感や向上心が低く、将来への希望を持てない割合が大きいとされており、子どもの自立性・社会性・自治意識を育くんでいくことが必要です。
- 行政や保護者からの視点だけではなく、真に子どもが望み、子どもが自ら成長できるまちづくりを進めるため、子どもの参画として「子どものまちC B T*」などの取組みを引き続き実施していきます。
- また、「子ども・若者市役所*」等の取組みを通じ、子ども・若者が主体的に自分たちの住むまちについて考え、意見を内外に広く発信していく場を設けるとともに、市政にも積極的に反映していくなど、様々な経験を積むことができるまち、子ども・若者の意見が反映されるまちを目指します。



子どものまちC B Tの様子

計画事業

■ 子どもの参画の推進 

子ども企画課

子どもの社会の一員としての自覚と自立を促し、子どもの参画によるまちづくりを実現するため、各種参画の取組みを実施するとともに、本市の取組みを広く発信します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
子ども・若者サミット*の開催	開催	継続	開催
子どものまちC B Tの開催	4区	2区増	全6区
子ども・若者市役所の実施	実施	継続	実施

■ 美浜区高校生連携会議の推進 

美浜区地域振興課

高校生による地域活動を促進するため、区内の高校生による連携会議を開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
高校生連携会議の開催	8回/年	継続	8回/年

3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

3-2-1 生涯学習の推進

施策の展開

- 地域住民の身近な生涯学習施設である公民館には、学びを通した地域づくりや人材のコーディネート、防災拠点としての機能など、地域の総合交流拠点としての役割が求められています。
- そこで、地域課題を解決する人材を育成するため、公民館主催講座を拡充するとともに、社会教育に関する専門職員である社会教育主事の配置を進めるなど、社会教育の充実を図ります。
- 市民の科学に対する興味・関心を高められるよう、最先端の科学技術を活用した展示の導入など、千葉市科学館のリニューアルについて具体的な手法を検討します。
- 人口減少・少子超高齢化の進展やインターネットの普及などの社会変化等に対応するため、今後の公立図書館のあり方や方向性を定めるとともに、地域の実情に応じた特長のある図書館づくりを推進するため、新たな図書館計画を策定します。
- また、図書館のさらなる充実を図るため、地域情報を電子上で閲覧できるサービスを提供します。



未来の科学者育成プログラムの様子



みずほハスの花図書館の様子

計画事業

■ 公民館の機能拡充		生涯学習振興課	
地域の社会教育活動の活性化を図るため、社会教育主事の配置及び公民館主催講座を拡充します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
社会教育主事の資格取得促進	1人	3人増	4人
公民館主催講座の拡充	765講座	150講座増	915講座

■ 千葉市科学館リニューアル		生涯学習振興課	
科学に対する市民の興味・関心を向上させるため、千葉市科学館のリニューアルに向けた検討を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
千葉市科学館展示リニューアルの検討	検討	継続	検討

● 未来の科学者育成プログラムの推進

生涯学習振興課

最先端の科学技術を身近に感じることができる環境を創出するため、未来の科学者育成プログラムを充実します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ロボット工学講座の新規開設	—	4回/年	4回/年

● 新たな図書館計画の策定【新規】

中央図書館管理課

今後の図書館のあり方を定めるとともに、その実現に向けた取組みを総合的に推進するため、新たな図書館計画を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新たな図書館計画の策定	意識調査の実施	意識調査の実施、計画策定	計画策定

● 地域情報のデジタル化の推進【新規】

中央図書館管理課

図書館の利活用を推進するため、図書館で収集・保存された地域情報を電子情報で提供します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域情報のデジタル化	—	地域情報のデジタルアーカイブの公開	地域情報のデジタルアーカイブの公開

● 図書館サービスポイントの設置

中央図書館管理課

図書館利用者の利便性を高めるため、図書の返却や予約資料の貸出しができるサービス拠点を設置します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
図書館サービスポイントの設置	1か所	1か所増	2か所

■ 子ども読書活動推進計画（第4次）の策定

中央図書館管理課

子どもの自主的な読書活動を推進するため、「子ども読書活動推進計画（第4次）」を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
子ども読書活動推進計画（第4次）策定	—	計画策定	計画策定

3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

施策の展開

- 東京 2020 大会のオリンピック 3 競技（レスリング、テコンドー、フェンシング）及びパラリンピック 4 競技（ゴールボール、テコンドー、車いすフェンシング、シッティングバレーボール）が、本市で開催されます。
- そこで、市民の大会機運の醸成及び開催競技への理解促進を図るため、競技体験イベントやパラスポーツ※の普及啓発等を実施するなどの積極的なプロモーション活動を行うとともに、こども達の夢と希望を育み、レガシー※として市民がその価値を共有し、次世代に引き継いでいくため、国際大会の誘致やパラスポーツ市民大会の開催などを推進します。
- 本市には、千葉ロッテマリーンズやジェフユナイテッド市原・千葉の 2 つのプロスポーツチームがあり、ホームゲームには全国から多くの観客が訪れます。今後も、ホームタウンチームやトップスポーツチーム・アスリートと市民との交流や、一体感の醸成につながる取組みを進めます。
- 千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化のため、競輪場や千葉公園体育館を再整備するとともに、公園全体の再整備に向けた取組みを進めます。



(仮称) 千葉公園ドームの外観イメージ
〔提供：日本写真判定(株)〕



(仮称) 千葉公園ドームの内部イメージ
〔提供：日本写真判定(株)〕

計画事業

1. 東京 2020 大会に向けた取組み

● 東京 2020 大会開催に向けた機運の醸成	オリンピック・パラリンピック振興課
東京 2020 大会の機運醸成や大会・競技への理解促進を図るため、競技体験イベントなど効果的なプロモーションを実施します。	
取組項目	29 年度末現況
機運醸成イベントの実施	1 回/年
競技の普及促進イベント等の実施	イベント実施 2 回/年
	計画内容
	32 年度末目標
	継続
	1 回/年
	イベント実施 2 回/年
	パブリックビューイング等の実施
	イベント実施 2 回/年
	パブリックビューイングの実施

● パラスポーツの推進	オリンピック・パラリンピック調整課
パラスポーツを推進するため、障害者アスリートによる学校訪問やパラスポーツ市民大会などを開催します。	
取組項目	29 年度末現況
障害者アスリートによる学校訪問の実施	71 校
パラスポーツ体験会等の実施	30 回/年
パラスポーツ市民大会の実施	—
	計画内容
	32 年度末目標
	118 校増
	全小・中学校実施
	11 回増
	41 回/年
	実施
	実施

■ パラスポーツ*交流を通した地域活性化 		稻毛区地域振興課	
共生社会の形成と地域の活性化を推進するため、障害のある人もない人も、子どもから高齢者まで共に楽しみ交流できるパラスポーツイベントを実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
パラスポーツによる交流イベントの実施	パラスポーツ体験会	パラスポーツ体験会 稻毛区ボッチャ*大会	パラスポーツ体験会 稻毛区ボッチャ大会

2. スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境づくりの推進

● スポーツ大会・イベント誘致の推進		スポーツ振興課	
多くの市民がトップアスリートのプレーに触れる機会を創出するため、国際大会の誘致を行います。また、競技団体等と連携して、市内スポーツ大会に解説ボランティアを配置します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
国際大会の新規開催支援	—	2競技	2競技
解説ボランティアの拡充	試行実施 10競技	5競技増	15競技

■ トップスポーツとの連携の推進 		スポーツ振興課	
トップスポーツチームや選手たちを応援する機運を醸成するため、市内を中心に活動するトップスポーツチームや市内出身のトップスポーツ選手による小中学校訪問を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
連携するトップチームによる小中学校訪問	29校	6校増	35校

● スポーツとしての自転車競技の普及を通した賑わいの創出 【新規】		経済企画課	
自転車スポーツの普及を通じ、新たな賑わいを創出するため、現競輪場を民間活力により再整備し、国際ルールに基づく250競輪*や自転車スポーツ振興に向けた取組みを進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
(仮称)千葉公園ドームの整備	民間事業者の選定 基本協定の締結	民間事業者による(仮称) 千葉公園ドームの整備、 現競輪場の除却	供用開始
250競輪の実施	関係団体等との調整	実施	実施

● ジェフを感じるまちづくり  【再掲】		市街地整備課	
ジェフユナイテッド市原・千葉のホームタウンとして、市民がジェフをより身近に感じができるよう、地域や企業とジェフが連携したまちづくりを推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ジェフいろいろ化推進	実施	バスシェルターラッピング 地元との連携による取り組み	バスシェルターラッピング 地元との連携による取り組み

● ZOZOマリンスタジアムの充実【再掲】			公園管理課
ZOZOマリンスタジアムの来場者の安全性や快適性向上のため、座席等を改修します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
4階スタンド、外野スタンドの座席改修	—	工事	工事
ラバーフェンス交換工事	—	工事	完了

● フクダ電子アリーナの充実【再掲】			公園管理課
フクダ電子アリーナの来場者の快適性向上のため、大型映像装置等を改修します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
大型映像装置改修	—	施設名称LED看板改修 大型映像装置改修	完了

3. スポーツ・レクリエーション施設の充実

● 千葉公園の再整備【新規・再掲】			緑政課
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化のため、公園全体の再整備に向けた取組みを進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再整備マスターplanの策定	—	マスターplan策定	マスターplan策定
千葉公園の再整備	—	設計・工事等	設計・工事等

● 千葉公園体育館の再整備【新規】			スポーツ振興課
競輪場の再整備に併せ、老朽化した現千葉公園体育館と周辺スポーツ施設の集約再整備に向けた取組みを進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スポーツ施設の整備計画、建設	—	設計、工事	工事

■ スポーツ広場の充実			スポーツ振興課
多くの市民が利用可能なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するため、新たなスポーツ広場の整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
周辺施設を含めた検討によるスポーツ広場の整備	基本構想検討	基本計画策定	基本計画策定

3-3 文化を守り、はぐくむ

3-3-1 文化・芸術の振興

施策の展開

- 東京 2020 大会は、スポーツの祭典のみならず文化の祭典でもあることから、伝統芸能やメディア芸術などの多様な日本文化を通じて大会開催に向けた機運を醸成するとともに、日本文化の魅力を世界に発信することが求められています。
- そのため、ポップカルチャー※の振興や大規模音楽イベント出場支援などの各種文化施策を推進し、市民が文化・芸術に身近に触れられる機会の充実を図るとともに、東京 2020 大会に向けた文化プログラムを策定し、車椅子アートプロジェクト※など、本市ならではの文化芸術事業を市民や世界の人々に発信します。
- 民間美術館等と連携するなどして、市民の芸術文化を育む環境づくりを進めるとともに、中心市街地の活性化につながるよう文化面での集客力向上を図るため、文化芸術の拠点として千葉市美術館を拡張します。また、市内文化施設のあり方の検討を進めます。



車椅子アートプロジェクトの様子

計画事業

● 千葉市美術館の拡張

文化振興課

文化面から千葉都心への集客を図るため、中央区役所移転後の跡スペースを活用し、新たな展示スペースや体験・交流ゾーンを整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
展示スペースの再整備	基本設計	工事	供用開始

● オリンピック・パラリンピックに向けた芸術文化振興

文化振興課

本市ならではの文化振興を図るため、車椅子アートプロジェクトの実施や、若者の文化芸術への参加を促進するとともに、東京 2020 大会に向けた文化プログラムを策定し、推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
芸術文化の推進	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興 大規模音楽イベント出場支援	車椅子アートプロジェクト実施 ポップカルチャー振興 大規模音楽イベント出場支援
文化施設の多言語化	—	1施設	1施設
文化プログラムの推進	—	策定・実施	策定・実施

■ 芸術文化交流による緑区の魅力発見 			緑区地域振興課
芸術・文化を通した地域交流・活性化を推進するため、まちカフェライブや絵画コンクールを行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
緑区再発見絵画コンクールの実施	実施	継続	実施
まちカフェライブの実施	実施	継続	実施

■ ランチタイムコンサートの実施 			稻毛区地域振興課
「文教のまち稻毛区」として、豊かな区民生活と地域の活性化を促進するため、気軽に鑑賞できる区役所ロビー・ランチタイムコンサートを実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ランチタイムコンサートの実施	13回/年	継続	13回/年

● 文化センターの改修	文化振興課		
利用者の安全や利便性を確保するため、文化センターの改修を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
文化センター舞台床改修	—	改修	完了

3-3-2 文化的財産の保全と活用

施策の展開

- 本市は、空襲により中心市街地が焼け野原となったことで、まちの歴史的な側面を感じられるまとまった場所がなく、文化的財産が点在していること、また、高度経済成長期に転入してきた市民が多いことなどから、本市の歴史・文化に裏打ちされた「千葉市らしさ」が十分浸透していない状況です。
- そこで、本市固有の地域資源である「加曽利貝塚※」、「オオガハス※」、「千葉氏※」、「海辺」を活用した「都市アイデンティティ（千葉市らしさ）」を確立する取組みを引き続き推進するとともに、平成33年（2021年）に市制施行100周年を迎えることから、本市100年の歩みを振り返ることで、まちの魅力や誇りを未来につなげる取組みを推進します。
- また、特別史跡※加曽利貝塚については、その価値や魅力のさらなる向上を図るために、プロモーション活動や発掘調査・研究を進めるとともに、「加曽利貝塚グランドデザイン」を策定し、史跡の整備と博物館の移転に向けた取組みを進めます。



特別史跡加曽利貝塚

計画事業

● 市制施行100周年記念誌の制作【新規】

広報広聴課

100年の歩みを振り返り、市民をはじめ多くの方々に本市の魅力を知っていただくとともに、愛着や誇りを未来につなげていくため、記念誌を制作します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市制施行100周年記念誌の発行	—	3,000冊	3,000冊

● 「千葉市史史料編近現代」の刊行

郷土博物館

本市の近現代の歩みを示す代表的な史料を市民共有の財産として後世に伝えるため、「千葉市史史料編近現代」を刊行します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
「史料編近現代」第1巻（明治期）の刊行	編集	編集・刊行	刊行
「史料編近現代」第2巻（大正・昭和戦前～戦中期）の刊行	—	編集	編集

● 市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛※稻毛別荘の改修

文化振興課

歴史的建造物の保存、活用を推進するため、耐震改修工事を実施するとともに、新たに講座やイベントを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
耐震改修工事	実施設計	工事	供用開始
イベントなどの開催	—	2回	2回

● 縄文文化調査研究の推進

文化財課

縄文文化と貝塚を究明するため、発掘調査・研究を進めていくとともに、その成果を広く発信していきます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
特別史跡※加曽利貝塚※の 究明に向けた発掘調査	発掘調査計画策定 発掘調査の実施	発掘調査の実施 調査概報の刊行	発掘調査の実施 調査概報の刊行
大学等と連携した調査研究	連携事業の実施	調査研究計画策定 連携事業の実施	調査研究計画策定 連携事業の実施

● 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

文化財課

特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、史跡内の整備とプロモーション活動を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
集客力の向上	縄文体験プログラムの提供 集客イベントの実施	継続	縄文体験プログラムの提供 集客イベントの実施
史跡等の整備	短期的整備基本計画 グランドデザイン検討	推進	推進

3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

3-4-1 國際化の推進

施策の展開

- 本市では、ビジネスや生活の場として海外からも選ばれる都市を目指し、インバウンド*やMICE*、国家戦略特区*制度の活用など、都市の国際性の向上を図る取組みを推進するとともに、国際都市としてのさらなる発展を目指すため、国籍や言語、文化などの違いを認め、互いに分かり合い、支えあい、多様性をまちの力にする多文化共生社会の推進に取り組んでいます。
- そこで、引き続き、姉妹・友好都市と本市の経済・文化・スポーツなど様々な分野において、より発展的な関係を築いていくため、交流を推進します。
- また、東京2020大会の競技会場都市として、海外からの来葉者への受け入れ態勢を強化するとともに、市民主体のボランティア活動をレガシー*として引き継いでいくため、国際交流ボランティアリーダーの発掘・育成を進めます。
- 各地域に暮らす外国人の実情や課題を的確に把握し、相談ニーズの掘り起こしや利用者の利便性の向上を図るため、区役所等において出張外国人生活相談を実施します。



外国人との交流

計画事業

国際交流課

● 姉妹・友好都市との交流推進



姉妹・友好都市と経済・文化・スポーツなどの各分野において、より発展的な関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
姉妹・友好都市交流	2市	派遣1市、受入1市 国際会議出席2回	派遣1市、受入1市 国際会議出席2回
青少年交流	3市	継続	3市

国際交流課

■ 国際交流ボランティアリーダーの育成



取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
通訳ボランティア スキルアップ講座の開催	15回/年	5回増	20回/年
通訳ボランティア フォローアップ講座の開催	2回/年	継続	2回/年
国際交流ボランティア リーダー会議の開催	実施	5回/年	5回/年

国際交流課

■ 国際交流プラザの機能充実【新規】

国際交流課

多文化共生のまちづくりの推進と利用者の利便性向上のため、出張外国人相談を実施するとともに、災害時に外国人の情報収集の場となる国際交流プラザに公衆無線LANを整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
出張外国人生活相談	—	試行実施、検証、実施	実施
公衆無線LANの整備	—	整備	整備

3-4-2 大学・企業等との連携の推進

施策の展開

- 市内には高度な専門性や人的資源を有する、多くの大学・短期大学や企業、研究機関などがあり、教育、研究、経済活動など様々な取組みを行っています。
- このような大学や企業などは、本市にとって、まちづくりを進めていくために欠かすことのできない重要なパートナーです。
- そこで、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、大学や企業等と交流を深めるとともに、多様化・複雑化した行政課題や地域課題に対する取組みや、東京 2020 大会開催に向けた機運醸成イベントの実施や都市ボランティアの育成など、様々な場面で連携して取り組んでいきます。

計画事業

● 東京 2020 大会開催に向けた機運の醸成 【再掲】 オリンピック・パラリンピック振興課

東京 2020 大会の機運醸成や大会・競技への理解促進を図るため、競技体験イベントなど効果的なプロモーションを実施します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
機運醸成イベントの実施	1 回/年	継続	1 回/年
競技の普及促進イベント等の実施	イベント実施 2 回/年	イベント実施 2 回/年 パブリックビューイング等の実施	イベント実施 2 回/年 パブリックビューイングの実施

● 東京 2020 大会開催に向けたボランティア体制の構築 【再掲】 オリンピック・パラリンピック振興課

東京 2020 大会の競技会場都市として、大会を円滑に進めるため、ボランティアの体制構築を行うとともに、都市ボランティアの育成等を実施します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
外国人おもてなし語学ボランティア育成	500 人	500 人増	1,000 人
チーム千葉ボランティアネットワーク※の運営	設置	運営	運営

■ オープンデータ※の推進・ビッグデータ※の活用 【再掲】 業務改革推進課

市民サービスの向上及び新たなサービス創出を図るため、民間企業等と連携したオープンデータ活用事例の創出や行政サービスの向上に資するビッグデータ分析を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
オープンデータ活用事例の創出	16 件	3 件増	19 件
行政サービスの向上に資するビッグデータ分析	6 件	3 件増	9 件

● **介護ロボットの普及促進  【再掲】**

介護保険管理課

介護ロボットの普及促進を図るため、ニーズ把握や効果検証を行うとともに、大学との連携により普及促進セミナーを実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
介護ロボットの利活用促進	—	支援方針の決定 普及促進セミナー 1回/年	支援方針の決定 普及促進セミナー 1回/年
実証フィールドの提供支援	—	実施	実施

● **地域商業者の魅力向上支援 【再掲】**

産業支援課

地域経済の活性化を図るため、大学等と連携した商品開発の費用を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
商学連携による商品開発助成	—	3商品	3商品

● **農業者の生産性の向上 【再掲】**

農業生産振興課

農業者の生産性向上を図るため、近隣市・大学との連携や技術専門人材を活用し、栽培試験や新規優良種苗の供給を行うとともに、農業者への普及指導等を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スマート農業※の実現に 向けた検討	—	実施	実施
専門技術者の配置・栽培試験 の実施	—	1人 栽培試験実施	1人 栽培試験実施

● **いずみグリーンビレッジ3拠点※の充実 【再掲】**

農業経営支援課

農とふれあう機会の拡大や、いずみ地区の活性化を図るため、3拠点の利用環境を整備とともに、大学生との連携によりイベント等を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
3拠点の環境整備	—	いずみまるごとマップ改訂 案内標識設置、ベンチ設置 キッチンカー配置場所 舗装工事	いずみまるごとマップ改訂 案内標識設置、ベンチ設置 キッチンカー配置場所 舗装工事
大学との連携	—	PR活動 イベント実施 1回/年	PR活動 イベント実施 1回/年

3-5 市民の力をまちづくりの力へ

3-5-1 市民参加・協働の推進

施策の展開

- 少子高齢化が進展し、人口減少社会を迎える中、誰もが明るく健やかに暮らし、地域の諸問題を解決していくためには、行政や個人の力だけではなく、地域の力が必要です。
- 市民主体のまちづくりを推進するため、各区役所におけるまちづくり活動団体への助成や、市民団体や企業などの提案に基づき市が協働する協働事業提案制度を引き続き実施するとともに、おおむね小学校区から中学校区の広さの地域ごとに、地域で活動する様々な団体が参加して、住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が持続可能となる体制づくりを進めるため、地域運営委員会の設置を促進します。
- 市民自らまちづくりに参加する仕組みとして設置した、市民シンクタンクのさらなる充実を図るため、第1期及び第2期の活動支援の効果検証の実施及び政策提言後の自主活動の支援を行うとともに、第3期の活動支援を実施します。
- 市民の社会参画や地域貢献意識の醸成、健康の増進等のため、ボランティア活動などの公益的活動や健康維持・増進活動を行った、あるいは行おうとしている市民に対し、ポイントを付与する制度の導入に向けた実証実験を行います。
- より住民に身近な区役所が市民主体のまちづくりを推進することができるよう、区役所の機能強化に向けた検討を行います。
- 東京2020大会の競技会場都市として、大会を成功に導くため、都市ボランティア体制の構築を図るとともに、「チーム千葉ボランティアネットワーク*」による各種取組みや千葉県と共同で実施する外国人おもてなし語学ボランティア育成講座等を通じ、大会終了後もレガシー*としてボランティア文化が定着するよう取組みを推進します。

計画事業

1. まちづくり活動の推進

● 市民シンクタンクの充実 	政策企画課								
市民の知見を活かしたまちづくりを推進するため、市民が研究員となり、政策提言を取りまとめ、その実現に向け自ら参画する市民シンクタンクの充実を図ります。									
<table border="1"><thead><tr><th>取組項目</th><th>29年度末現況</th><th>計画内容</th><th>32年度末目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>市民シンクタンクの実施</td><td>モデル事業（第2期）</td><td>効果検証（第1期・2期） 本格実施（第3期）</td><td>本格実施（第3期）</td></tr></tbody></table>		取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標	市民シンクタンクの実施	モデル事業（第2期）	効果検証（第1期・2期） 本格実施（第3期）	本格実施（第3期）
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標						
市民シンクタンクの実施	モデル事業（第2期）	効果検証（第1期・2期） 本格実施（第3期）	本格実施（第3期）						

■ 緑区オリパラ応援団  【新規】	緑区地域振興課
東京2020大会の機運を盛り上げるとともに、地域の活性化を促進するため、大会を応援・PRする取組みを区独自に実施します。	
取組項目	29年度末現況
「緑区オリパラ応援団」の募集及び活動支援	—
小学生オリパラ応援活動のPR	—
計画内容	32年度末目標
募集、決定、支援	支援
実施	実施

■ 美浜区の魅力創出・発信

美浜区地域振興課

区民が区への愛着を感じられるよう、地域の団体・学生との協働イベントや、若者のまちづくりへの参画を推進するためのワークショップを開催します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
キャンドルライトイベント	実施	継続	実施
イルミネーションイベント	実施	継続	実施
若者まちづくりワークショップ	—	実施	実施

● 次世代ちばレポ*「My City Report」の導入・運用

広報広聴課

市民との協働により地域課題を解決するとともに、業務の高度化を図るため、現在のちばレポをベースに新機能を組み込んだシステムを、東京大学や他自治体等と共同で構築し、運用します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
システム構築支援	基本機能開発支援	独自機能開発	運用

● 地域ポイント制度の導入 【新規】

政策調整課

市民が行う公益活動や健康維持・増進の取組みを促進するため、民間事業者と連携し、利便性の高い地域ポイント制度の導入に向けた実証実験を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
導入に向けた実証実験の実施	検討	実施	実施

● 東京 2020 大会開催に向けたボランティア体制の構築

オリンピック・パラリンピック振興課

東京 2020 大会の競技会場都市として、大会を円滑に進めるため、ボランティアの体制構築を行うとともに、都市ボランティアの育成等を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
外国人おもてなし語学ボランティア育成	500 人	500 人増	1,000 人
チーム千葉ボランティアネットワーク*の運営	設置	運営	運営

■ ボランティアリーダーの育成 【新規・再掲】

高齢福祉課

高齢者が地域で元気に活躍できる社会を実現するため、地域ボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ボランティア育成講座の開講	—	開講	開講

■ 国際交流ボランティアリーダーの育成  【再掲】		国際交流課	
本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを育成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
通訳ボランティアスキルアップ講座の開催	15回/年	5回増	20回/年
通訳ボランティアフォローアップ講座の開催	2回/年	継続	2回/年
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	実施	5回/年	5回/年

2. 地域活動への支援

● 地域運営委員会の設置促進 		市民自治推進課	
住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が持続可能となる体制づくりを進めるため、地域運営委員会の設置を促します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域運営委員会の設置	14地区	12地区増	26地区
地域運営交付金の交付	10地区	6地区増	16地区

■ まちづくり活動団体への支援 		各区地域振興課	
市民主体のまちづくりを推進するため、地域課題の解決などに取り組む団体に対しフォローアップ研修を実施するなど、自立的・継続的な活動を支援します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
中央区フォローアップ研修	1回/年	1回増	2回/年
花見川区フォローアップ研修	—	1回/年	1回/年
稲毛区地域活動団体等の交流促進	1回/年	継続	1回/年
若葉区フォローアップ研修	—	1回/年	1回/年
緑区フォローアップ研修	実施	2回/年	2回/年
美浜区フォローアップ研修	1回/年	継続	1回/年

■ 中央区地域リーダー研修 		中央区地域振興課	
地域のまちづくりを担うリーダーを育成するため、地域リーダー研修を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域リーダー研修の開催	2回/年	継続	2回/年

● 自主防災組織の結成促進及び活動支援  【再掲】			防災対策課
地域の防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、地域に防災アドバイザーを派遣します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
自主防災組織の結成	1,035組織	60組織増	1,095組織
防災アドバイザー派遣	—	20回/年	20回/年

● 避難所運営委員会の活動支援  【再掲】			防災対策課
大規模災害発生時に、避難所を円滑に開設・運営する体制を整備するため、市民が主体となった避難所運営委員会の活動を支援します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
活動支援補助金の助成	127団体	39団体増	166団体

● 応急手当の普及啓発  【再掲】			救急課
救命率の向上を図るため、救命講習会の拡充を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
45分救命講習の導入	—	7,200人	7,200人

施策の展開

- 我が国が平成20年(2008年)から人口減少局面に転じた中、本市においても、総人口が平成32年(2020年)にピークを迎え、減少局面に入る見通しとなっており、これまでの社会モデルの再構築が求められています。
- そこで、全ての人が性別や身体状況等の違いに関わりなく、一人ひとりが個性と能力を発揮することで活躍できるダイバーシティの実現に向けて、ダイバーシティ推進協議会を設置し、今後実施する具体的な取組みに向けた検討を行うとともに、市内企業や団体等に対し、広報活動等を通じて、ダイバーシティの実現に向けた取組みを拡充します。
- 男女共同参画社会の形成に向け、あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画やワーク・ライフ・バランス維持のための取組みを進めるとともに、LGBT*への理解促進や支援の取組みを進めます。

計画事業

● ダイバーシティ推進 

男女共同参画課

誰もがそれぞれの個性と能力を発揮でき、あらゆる人にとって暮らしやすく、活力ある社会を実現するため、市内企業等と連携し、ダイバーシティを推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ダイバーシティ推進	ダイバーシティ推進協議会設置、啓発活動	推進協議会 2回/年 シンポジウム 1回/年	推進協議会 2回/年 シンポジウム 1回/年
「ちばイクボス同盟」加盟事業者との連携	異業種交流会開催	合同研修会 2回/年	合同研修会 2回/年

● 男女共同参画の推進 

男女共同参画課

全ての市民が、性別に関わりなく個人として尊重される男女共同参画社会の実現のため、事業者の自主的な取組みを促進するとともに、LGBT支援を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
事業者における男女共同参画の推進	実施	継続	実施
LGBT特設専門相談の実施	実施	継続	実施
パートナーシップ支援制度*の創設	—	創設	運用開始

■ 性暴力被害者支援センターへの助成

男女共同参画課

性暴力被害者の支援及び性暴力のない社会実現のため、性暴力被害者支援センターの事業経費に助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
運営助成	助成	継続	助成

● 男性保育士の活躍推進【再掲】		幼保支援課、幼保運営課	
公立保育所において、男性保育士等が働きやすい執務環境を整えるとともに、市民の理解を促進するため、男性保育士による育児講座や養成校への出張説明会を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
更衣室整備	5か所	15か所	20か所
トイレ整備	—	10か所	10か所
男性保育士による育児講座	3回/年	15回増	18回/年
男性保育士による養成校への出張説明会	5回/年	継続	5回/年

■ 男性の子育て支援【再掲】		幼保支援課	
男性の子育てを支援するため、男性を対象とした育児休業取得促進奨励金の支給や育児に関する講座・イベントを充実します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
育児休業取得促進奨励金の助成	7件	2件増	9件
子育て拠点施設での男性向け講座・イベントの開催	1回/年	12回増	13回/年
男性の育児に関する講座・イベントの開催	実施	継続	実施



方向性4

ひと・モノ・情報がつながる、
生活基盤の充実した
安全で快適なまちへ

施策体系

4-1 市民の安全・安心を守る

- 4-1-1 防災対策の推進
- 4-1-2 防災体制の充実
- 4-1-3 消防・救急体制の充実
- 4-1-4 交通安全の推進
- 4-1-5 防犯対策の推進
- 4-1-6 消費生活の安定・向上

4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

- 4-2-1 市街地の整備
- 4-2-2 計画的な土地利用の推進
- 4-2-3 良好的な都市景観の形成
- 4-2-4 住宅・住環境の充実
- 4-2-5 生活基盤の充実

4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

- 4-3-1 公共交通ネットワークの形成
- 4-3-2 道路ネットワークの形成
- 4-3-3 人にやさしい移動環境の創出
- 4-3-4 I C T を活かした利便性の向上

4-1 市民の安全・安心を守る

4-1-1 防災対策の推進

施策の展開

- 予期される首都直下地震や、近年の局地的大雨・大型台風による浸水被害に対し、平常時から災害に備えることで被害を最小化する「減災」の視点が重要です。
- 地震に対しては、公共施設の吊天井の補強を進めるとともに、緊急時の避難や復旧活動などの妨げになる交通の寸断を防止するため、緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成や橋梁、下水道施設の耐震化を引き続き進めます。減災への取組みを推進します。
- 雨水対策については、雨水管渠や河川及び排水路の整備に加え、地域の特性に応じ、雨水浸透施設の設置など、早期に効果が得られる取組みを進めます。また、新たな雨水対策重点地区整備基本方針に基づき、浸水リスクや都市機能の集積度が高い地区に対し、65.1mm/h 対応となる雨水施設の整備に着手します。
- 東日本大震災による地盤の液状化により著しい被害を受けた地域について、再度の災害発生を抑制するため、道路・下水道等の公共施設と隣接住宅地等との一体的な液状化対策を推進します。



橋梁耐震化の例

計画事業

1. 地震等に強いまちづくり

●	地震時における下水道機能の確保（下水道施設の耐震化）	下水道整備課 下水道施設建設課
地震発生時に下水道の流下・処理機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を進めます。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
管渠の耐震化	53.3 km	26.7 km
処理場の耐震化	—	1 か所
32年度末目標	80.0 km	1 か所

●	水道施設の耐震化	水道事業事務所
災害発生時の安定給水を確保するため、水道施設の耐震化を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
大野台送水ポンプ場等の設備改良	—	設計・工事
32年度末目標		工事

●	公共施設の吊天井の補強	各所管課
公共施設の安全を確保するため、吊天井の補強工事を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
設計	5 か所	8 か所
改修工事	13 か所	9 か所
32年度末目標		13 か所
		22 か所

● 橋梁の耐震化

土木保全課

緊急時の輸送や避難時の通行の安全を確保するため、橋梁の耐震補強を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
耐震化工事	橋梁 134 橋	5 橋	139 橋

● 市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替

道路建設課

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	1,692 m ²	202 m ²	完了
整備	橋梁下部工一部 取付道路、護岸工、仮橋撤去	橋梁下部工、上部工 取付道路、護岸工、仮橋撤去	供用開始

● 主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替

道路建設課

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	376 m ²	34 m ²	完了
整備	既存橋撤去	橋梁下部工、上部工	橋梁上部工着手

● 緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成

建築指導課

緊急輸送道路の通行を確保するため、沿道建築物の耐震診断や改修費用の一部を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
耐震診断費用の助成	3 件	6 件増	9 件
耐震改修等費用の助成	耐震改修 一 建物除却 1 件	5 件 2 件増	5 件 3 件

2. 水害対策の推進

● 浸水被害の軽減と対策の強化（雨水施設の整備）

雨水対策課

近年の局地的な大雨に対し、浸水被害を軽減するため、対策を強化し、地域の状況に応じた効率的な雨水整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
雨水管渠等の整備 (53.4mm/h 対応)	28 地区	12 地区	40 地区
雨水管渠等の整備 (65.1mm/h 対応)	—	5 地区着手	5 地区着手
雨水浸透施設の整備	浸透樹 [※] 3,768 個 浸透トレンチ [※] 11,744m	280 個 1,480m	4,048 個 13,224m

● 排水施設の整備

都市河川課

浸水被害を軽減するため、排水施設の整備・改修を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
幹線排水施設の整備	65,698m	732m	66,430m
面的排水施設の整備	296,895m	785m	297,680m

● 都市下水路の整備		都市河川課	
浸水被害を軽減するため、東寺山調整池の整備を推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
東寺山調整池の容量拡大	140,900 m ³	9,100 m ³	150,000 m ³

● 河川の改修		都市河川課	
流域内の浸水被害を軽減するため、坂月川や支川都川等を改修するとともに、河川維持管理計画に基づき、管理河川の計画的保全を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
坂月川の改修	一次改修 2,720m	河道整備 206m	一次改修完了
支川都川の改修	暫定改修 3,540m	合流部築造 河道築造 540m	一次改修 540m
勝田川の改修	暫定改修 3,530m	管理施設改修	暫定改修完了
生実川（準用）の改修	暫定改修 1,190m	基本設計	基本設計
河川管理施設の計画的保全	生実川（準用）の点検	生実川（準用）・坂月川の保全改修	生実川（準用）・坂月川の保全改修
河川堤防の減災対策	—	堤防天端保護 2km	堤防天端保護 2km

3. 災害による被害の抑制

● 市街地液状化対策の推進		市街地整備課	
大規模地震による液状化被害を抑制するため、道路等の公共施設と宅地の一体的な液状化対策を推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
モデル地区（磯辺4丁目地区）	液状化対策工事	地下水位低下モニタリング	完了
磯辺3丁目地区	集排水管布設工事	液状化対策工事、地下水位低下モニタリング	完了
家屋等損失補償対応	事前調査完了	調査、損失補償対応	完了

● 無電柱化の推進		土木保全課	
大規模災害に対する都市防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

● 急傾斜地崩壊防止工事の推進		都市河川課	
市民の生命を保護するため、急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所について崩壊防止工事を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

崩壊防止工事（市事業）	1,364m	210m	1,574m
崩壊防止工事（県事業）	3,202m	280m	3,482m

施策の展開

- 東日本大震災や平成28年（2016年）熊本地震における経験から、「公助」だけでは限界があることや、地域コミュニティによる助けあいの重要性が再認識されたため、行政と地域住民とが一体となって防災対策に取り組むことが必要です。
- 総合防災拠点としての役割を担う本庁舎については、現庁舎が抱える防災面、分散化・狭あい化、老朽化などの課題を解決し、効率的に災害に強い新庁舎の整備を推進します。
- また、新庁舎整備の進捗に合わせ、危機管理センターの設置を進めるとともに、防災情報システムの機能強化など円滑な災害対応ができる環境整備に取り組みます。
- 発災時に多くの被災者が生活する避難所の機能を強化するため、防災備蓄品の拡充やマンホールトイレ※の設置を行うとともに、通信環境の整備を行います。
- 地域住民が率先して消火や救助・救出、避難支援等を行う「共助」の取組みを促進するため、地域住民の連帯意識に基づく自主防災組織の結成促進や、避難行動要支援者の支援体制の強化、避難所運営委員会の活動支援を行います。
- 地域における防災訓練などを通して、「共助」だけでなく「自助」の意識が醸成され、市民一人ひとりが、日頃より非常用備蓄品の準備や避難経路の確認など、自分や家族の安全を自ら守ができるよう、取組みを進めます。



新庁舎の整備イメージ

計画事業

1. 防災体制の整備

● 新庁舎の整備		新庁舎整備課	
防災面や老朽化などの課題に対応するため、新庁舎の整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
設計・施工請負業者の選定	PFI導入可能性調査	選定	選定

● 防災備蓄品の整備		防災対策課	
災害時の被災者支援体制を強化するため、帰宅困難者用を含む防災備蓄品を拡充するとともに、避難所に備蓄倉庫を整備します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
防災備蓄品の整備	実施	増強	増強

● マンホールトイレの整備		防災対策課、下水道整備課	
災害時における避難所の衛生環境の向上を図るため、マンホールトイレを整備します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

マンホールトイレの整備 61か所（305基） 60か所（300基） 121か所（605基）

● 避難所における通信環境の整備【新規】

防災対策課

大規模災害発生時に避難者が安否情報や支援情報などを速やかに収集・伝達できるよう、避難所の通信環境を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
避難所におけるWi-Fi環境の整備	—	市立小・中学校避難所に整備	完了
災害時用公衆電話の事前設置	NTT東日本との協定締結、公衆回線設置	550台	550台

● 災害時における応急農業用井戸水の供給【新規】

農政課

災害時における飲料水の確保のため、農業用井戸水を飲料水として提供するための設備を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
給水施設の整備	—	設計・工事(1か所)	供給開始(1か所)

● 大規模盛土造成地の滑動崩落対策の推進

宅地課

防災対策を推進するため、大規模地震時に滑動崩落被害の恐れのある箇所を調査し、「大規模盛土造成地マップ」を作成・公表します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
大規模盛土造成地マップの公表	第1次調査	調査、作成	公表

● 防災行政無線の整備

防災対策課

災害発時における緊急情報の伝達手段を確保するため、防災行政無線のデジタル化を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
屋外受信機及び屋内受信機のデジタル化	設計	親局工事1局 屋外受信機工事80局 屋内受信機工事240局	親局工事1局 屋外受信機工事80局 屋内受信機工事240局
全国瞬時警報システム(Jアラート)の更新	—	更新	完了

● 土木事務所における災害体制の構築【新規】

土木管理課

発災時における災害対応機能を維持するため、土木事務所に災害用通信機器の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
災害用通信機器の整備	—	30台	30台

● 消防署・所の非常用電源設備の整備【新規・再掲】

施設課

発災時における災害対応機能を維持するため、消防活動拠点である消防庁舎の非常用電源設備等の整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
非常用電源設備等の整備	—	12か所	12か所

2. 地域防災活動への支援

● 避難所運営委員会の活動支援			防災対策課
大規模災害発生時に、避難所を円滑に開設・運営する体制を整備するため、市民が主体となった避難所運営委員会の活動を支援します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
活動支援補助金の助成	127団体	39団体増	166団体
■ 避難行動要支援者の支援体制の強化			防災対策課
災害時の避難行動要支援者の支援体制を強化するため、避難行動要支援者名簿を町内自治会や自主防災組織等に提供します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
避難行動要支援者名簿の提供	33%	48%	48%
● 自主防災組織の結成促進及び活動支援			防災対策課
地域の防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、地域に防災アドバイザーを派遣します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
自主防災組織の結成	1,035組織	60組織増	1,095組織
防災アドバイザー派遣	—	20回/年	20回/年
■ 防災リーダーの養成			防災対策課
地域の防災力の向上を図るため、防災ライセンス講座や防災ライセンススキルアップ講座を開催し、防災リーダーの養成を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
防災ライセンス講座	5回/年	継続	5回/年
スキルアップ講座	2回/年	継続	2回/年
■ 地域の防災力の向上（中央区）			中央区地域振興課
地域の防災力の向上を図るため、町内自治会と協働で自主防災マップを作成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
中央区くらし安心・自主防災マップの作成	20団体/年	1団体増	21団体/年
■ 地域の防災力の向上（若葉区）			若葉区地域振興課
地域の防災力の向上を図るため、区内小中学校での防災実技講演会を実施するとともに、自主防災組織未結成の自治会を対象に個別説明会を開催します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
若葉区自主防災組織の結成促進（個別説明会）	10回/年	継続	10回/年
小中学校での実技講演会の開催	—	2校/年	2校/年
■ 地域の防災力の向上（緑区）			緑区地域振興課
地域の防災力の向上を図るため、地域住民・防災関係機関と連携して緑区災害対応合同訓練を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
緑区災害対応合同訓練	1回/年	継続	1回/年

4-1-3 消防・救急体制の充実

施策の展開

- 複雑化・多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防署・所の整備や、地域における防災活動の要となる消防団の器具置場の整備を行うなど、消防力の強化を図ります。
- 過去の大規模災害で発生した火災原因の多くが電気器具に起因するものだったことから、密集住宅市街地を対象として、感震ブレーカー※の設置をモデル的に実施します。
- 救急体制の充実を図るため、高度な救急救命処置を行うことできる救急救命士の育成や、救急情報共有システムなどICTを活用し救急搬送時間の短縮化を図ります。また、近年はAED※等を使用した市民による救命活動を行う機会が増加していることから、市民向けの救命講習会を拡充します。
- 東京2020大会開催時は多くの人が訪れる事から、安全性を確保するため、競技会場等の消防警備体制について整備します。



感震ブレーカー（コンセントタイプ）

計画事業

● 東京2020大会開催に伴う競技会場等の安全対策の推進【新規】

消防局総務課

東京2020大会開催に伴う競技会場等の安全性を確保するため、消防警備体制を整備するとともに、市民向けの救命講習会を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
消防警備体制の構築	—	警備用救急車の確保維持 消防警備計画の策定	警備用救急車の確保維持 消防警備計画の策定
防火安全対策及び避難安全対策の推進	査察計画の作成 違反施設への対応	継続	査察計画の作成 違反施設への対応
市民向け救命講習会の開催	実施	継続	実施

1. 消防活動体制の充実強化

● 消防署・所の整備

施設課

地域における消防防災力の充実強化を図るため、消防活動拠点である消防庁舎の新設・建替え等を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
あすみが丘出張所の新設	実施設計	工事 水槽付消防ポンプ自動車1台 高規格救急自動車1台	供用開始
畠出張所の建替	—	検討	検討

● 消防署・所の非常用電源設備の整備【新規】

施設課

発災時における災害対応機能を維持するため、消防活動拠点である消防庁舎の非常用電源設備等の整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
非常用電源設備等の整備	—	12か所	12か所

● 消防水利の整備

警防課

大規模災害時の消火用水を確保するため、計画的な防火水槽の整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
防火水槽の新設	1,961 基	2 基増	1,963 基

● 花見川消防署訓練施設の整備【新規】

警防課

消防活動体制の充実強化を図るため、花見川消防署に訓練施設を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
訓練施設の整備	—	設置工事	供用開始

● ちば消防共同指令センター機器更新

指令課

消防指令体制を維持し、迅速な通報受付、消防・救急活動を行うため、共同指令センターの機器を一部更新します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
指令管制システムの部分更新	—	部分更新	運用開始
機器の修繕	—	実施	実施

● 防災用無線機器の更新

指令課

災害時における防災関係機関相互の情報伝達を迅速化し、円滑な防災活動を行うため、基地局及び移動局の無線機器を更新します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
基地局及び移動局更新	—	基地局 1 機 移動局 6 機	完了

● 航空消防防災体制の充実

航空課

消防ヘリコプターの安全運航を確保するため、法定点検を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
「おおとり 1 号」 15 年点検	—	実施	完了
「おおとり 2 号」 10 年点検	—	実施	完了

2. 地域消防活動の推進

● 消防団活動体制の充実



消防局総務課

地域における消防防災力の向上を図るため、消防団活動体制の充実を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
消防団器具置場の整備	4 棟	3 棟	7 棟
小型動力ポンプ付積載車の更新	—	3 台	3 台
消防団制服・装備の充実強化	防火帽 114 個	防火衣 174 着 防火帽 174 個 防火靴 174 足	防火衣 174 着 防火帽 288 個 防火靴 174 足

● 可搬式小型動力ポンプ*の消防ホース更新【新規】			警防課
自主消防組織が平常時の訓練だけでなく、大規模災害時においても、支障なく消防ホースを使用できるよう、可搬式小型動力ポンプの消防ホースを更新します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

● 感震ブレーカー*の設置推進【新規】			予防課
大規模地震時の電気火災の発生や延焼を防ぐため、密集住宅市街地を対象として、感震ブレーカーの設置をモデル的に実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

3. 救急活動体制の充実強化

● 救急救命士の養成			救急課
救急体制の充実を図るため、救急救命士の養成とともに、高度な救急救命処置を行うことのできる救急救命士を育成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

● 応急手当の普及啓発 			救急課
救命率の向上を図るため、救命講習会の拡充を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

● 応急救護所用エアーテントの更新			警防課
大規模事故発生時などにおける多数傷病者の対応に備えるため、消防署に配置されている応急救護所用エアーテントを更新します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標

施策の展開

- 近年、本市の交通事故件数は減少傾向にあります。市民が安全・安心に通行できるよう、歩道の整備や交差点の改良、踏切道の安全対策を進めるほか、通学路における路面のカラー化などを引き続き実施します。
- 本市では、「千葉市自転車を活用したまちづくり条例」に基づき、自転車の利用促進や安全利用に向けた取組みを進めています。安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レンタル等の整備を推進するほか、事故被害を軽減するため、ヘルメットの着用を促進します。また、交通ルールの遵守やマナーの向上を図るため、警察等関係機関と連携し、交通安全教育の普及・啓発を進めます。
- 鉄道駅周辺などの放置自転車は、これまでの取組みの結果、平成28年度（2016年度）末には約1,200台まで減少しています。放置自転車の抑制のため、利便性や施設の質の向上により自転車駐車場の利用促進を図るほか、効率的な管理運営に向け、施設の統廃合や利用者が使いやすい料金体系の検討を進めます。

計画事業

1. 歩行者等の安全確保と交通の円滑化

● 歩道の整備

道路計画課、道路建設課

歩行者の安全を確保するため、歩道を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
調査・設計	3路線（29年度事業量）	1路線	1路線
用地取得	3路線（29年度事業量）	3路線	3路線
整備	1路線（29年度事業量）	3路線 (供用開始1路線)	3路線 (供用開始1路線)

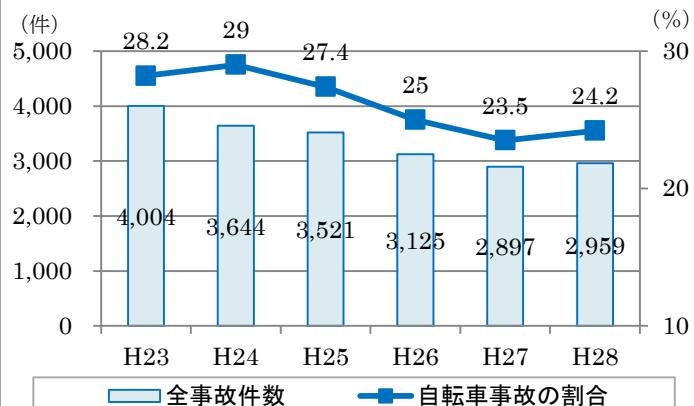
● 交差点の改良

道路計画課、道路建設課

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交差点を改良します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
調査・設計	1か所（29年度事業量）	4か所	4か所
用地取得	1か所（29年度事業量）	5か所	5か所
整備	2か所（29年度事業量）	6か所 (供用開始6か所)	6か所 (供用開始6か所)

図表13 市内の事故件数及び自転車事故の割合



出典：交通白書（千葉県警察本部）

● 交通安全施設の充実

土木保全課

道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、通学路のカラー化や区画線の引き直しなどの交通安全対策を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
通学路の安全対策	通学路カラー化 21km	合同点検 通学路カラー化 39km	合同点検 通学路カラー化 60km
区画線引き直し	—	60km	60km
安全施設の設置	実施	実施	実施

● 踏切道の安全対策

土木保全課

踏切事故防止のため、踏切内に歩道を設置するなどの安全対策を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
西雷踏切	設計	踏切内 歩道設置 踏切前後 歩道改良	踏切内 歩道設置 踏切前後 歩道改良
中広踏切	—	測量・設計	測量・設計
京成幕張第二踏切	—	踏切内カラー化	踏切内カラー化

2. 安全で快適な自転車利用環境の創出

● 自転車走行環境の整備

自転車政策課

安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等の整備を進めるとともに、整備計画の見直しを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
自転車レーン等の整備	31.3 km	18.7km	50.0km
ちばチャリ・すいすいプラン※の更新	—	実施	実施
走りやすさマップ※の更新	—	実施	実施

● 放置自転車対策の推進

自転車政策課

放置自転車の抑制を図るため、電磁ロック式ラックの整備など自転車駐車場設備の充実等による利用促進を図るとともに、自転車駐車場の整備・統廃合を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
自転車駐車場設備の充実	電磁ロック式ラック 3,271台 L E D 照明交換 48灯	電磁ロック式ラック 280台 L E D 照明交換 1,755灯 監視カメラ 12基	電磁ロック式ラック 3,551台 全灯 L E D 照明化完了 監視カメラ 12基
自転車駐車場の整備・統廃合	廃止改修 6か所	設計 1か所 廃止改修 27か所	廃止改修 33か所完了
自転車駐車場の維持管理及び運営の効率化	—	施設点検 修繕計画策定 管理運営効率化検討	修繕計画策定 管理運営効率化検討

● 自転車安全利用の促進

地域安全課

自転車の交通ルールの遵守やマナーの向上を図るため、交通安全教室などを開催するとともに、自転車用ヘルメット着用の促進を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ヘルメット購入助成	—	1,100人	1,100人
スクエアードストレイト※ 教育技法による自転車 交通安全教室の開催	3校/年	2校増	5校/年

● 花見川緑地交通公園の機能拡充【新規】

地域安全課

交通安全教育の充実のため、花見川緑地交通公園の設備更新を行うとともに、サイクリング利用者向けサービス機能の導入を検討、実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
園内工作物等の更新	—	設計・工事	供用開始
交通公園の付加機能導入	—	実施	実施

● 花見川サイクリングコースの充実【再掲】

緑政課

歩行者と自転車利用者が安全に利用できるよう、「花見川サイクリングコース」のルールづくりを進めるとともに、舗装修繕やトイレの更新等を行います。

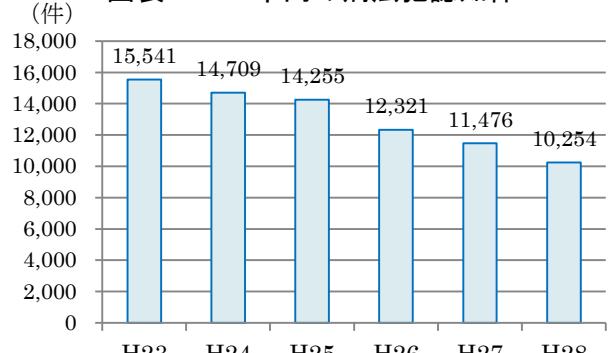
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
施設の改善及び 利用者サービスの向上	舗装の修繕	ホームページの開設、舗装補修 トイレ改修5か所	ホームページの開設、舗装補修 トイレ改修5か所
通行ルールづくり	—	ルール策定、周知	ルール策定、周知
上流部の環境改善	関係団体との調整	舗装 約2.7km	舗装 約2.7km

施策の展開

- 市内の犯罪発生件数は、近年、減少傾向にあります
が、自転車や自動車の盗難、車上ねらいなど市民生活に身近な場所で発生する、いわゆる街頭犯罪が多発しています。
- 市民が治安の良さを実感することができるよう、地域における防犯パトロール隊の支援を強化します。
また、町内自治会が設置する防犯カメラに助成するとともに、市として必要な箇所へ防犯カメラを設置することにより、犯罪の抑止効果を高め、安全で安心なまちづくりを推進します。

計画事業

図表14 市内の刑法犯認知件



出典：千葉県警

地域安全課

● 防犯カメラの設置管理

地域の安全を確保するため、町内自治会が設置する防犯カメラへの助成を行うとともに、JR主要駅周辺等に防犯カメラを設置します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
JR主要駅周辺等への防犯カメラ設置	32台	35台増	67台
自治会に対する防犯カメラ設置助成	30台	240台増	270台

地域安全課

地域の防犯力の向上のため、防犯パトロール隊が継続的に活動できるよう、必要な物品の配付回数等を見直し、支援を強化します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
防犯パトロール隊への物品支援	36団体	750団体増	786団体

中央区地域振興課

安全で安心なまちづくりを推進するため、地域の防犯パトロール隊の防犯活動を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
防犯活動団体への物品支援	29団体	27団体増	56団体

学校施設課

● 学校防犯対策の推進【再掲】

児童生徒の安全を確保するため、小・中学校に防犯カメラシステムを設置します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
学校防犯カメラシステムの設置	70校	30校増	100校

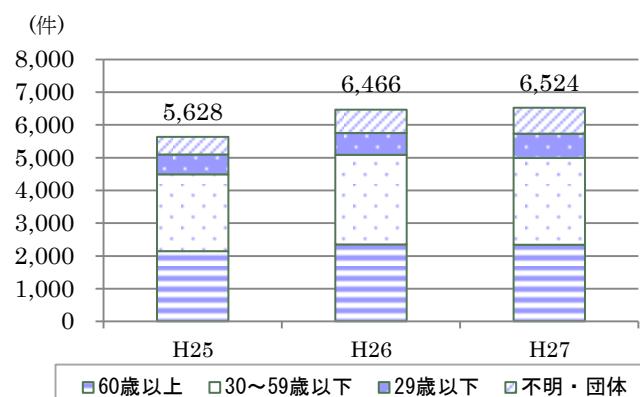
4-1-6 消費生活の安定・向上

施策の展開

- 近年、高齢者を狙う詐欺や悪質商法の手口が巧妙化しています。また、インターネットを利用した際の不当請求などで消費者トラブルに巻き込まれる危険性も増加しています。
- 市民が消費者として安全・安心に生活ができるよう、消費生活講座など普及啓発を行うとともに、悪質商法や詐欺などによる被害の未然防止のため、くらしの巡回講座を実施するほか、消費者教育を行う事業者や団体との協働による取組みを推進します。

計画事業

図表15 消費者生活相談の年度別件数



出典：第3次千葉市消費生活基本計画

■ 消費者教育の推進



消費生活センター

市民が消費者として安全で安心できる暮らしを実現するため、事業者、団体、市民等との協働により、消費者教育を推進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ちばし消費者応援団（団体）	113団体	57団体増	170団体
ちばし消費者応援団（個人会員）	129人	71人増	200人
消費者教育コーディネーターの学校派遣	36校	45校増	81校

4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

4-2-1 市街地の整備

施策の展開

- JR千葉駅西口地区は、千葉都心の一翼を担うとともに、臨海地区への玄関口でもあります。このため、商業・業務機能の集積を図る再開発ビルの建設や道路・駅前広場等の公共施設を整備してきました。引き続き、多世代の人々が集い賑わうまちづくりに向け、土地の高度利用により、商業のほか居住・医療・健康づくり・保育など多機能な用途の建築物や周辺公共施設の整備を推進します。
- JR千葉駅東口の細分化された街区を再編し、施設の機能更新を図り、駅前の活性化、市民の利便性向上、良好な都市環境を形成するため、第一種市街地再開発事業を促進します。
- JR稻毛駅東口周辺について、土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、駅前広場等を含めた一体的な市街地再開発の検討を進めます。また、JT跡地の開発計画と連携し、駅前広場を補完する交通機能の導入について検討します。
- 良好な居住環境の形成を図るため、東幕張地区、検見川・稻毛地区及び寒川第一地区の土地区画整理事業を推進します。



JR千葉駅西口地区 外観イメージパース



JR千葉駅東口地区 再開発ビルのイメージ

計画事業

1. 既成市街地・市街化進行地域の整備

● 千葉駅西口地区第二種市街地再開発(B工区)

都心整備課

臨海地区への玄関口としての賑わいを創出するため、千葉駅西口に商業のほか、居住・医療・健康づくり・保育など多機能な用途の再開発ビルを整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再開発ビルB棟の整備	管理処分計画の変更 特定建築者の選定	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との 協議	ペデストリアンデッキ 下水道、公園整備工事	供用開始

● 千葉駅東口地区第一種市街地再開発			市街地整備課
千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再開発ビル整備助成	自転車駐車場移転 再開発ビル建築	再開発ビル建築	再開発ビル建築

■ JR稻毛駅東口周辺のまちづくり【新規】			市街地整備課
土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、駅前広場等を含めた一体的な市街地再開発の検討を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
関係者の合意形成	勉強会の実施	勉強会の実施	関係者の合意形成

● 検見川・稻毛地区土地区画整理		検見川稻毛地区画整理事務所	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や幹線道路整備等により公共施設の整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市計画道路築造	978m	320m、地区外 30m	1,298m、地区外 30m

● 寒川第一土地区画整理		寒川土地区画整理事務所	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や都市計画道路及び下水道施設等の公共施設の整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市計画道路築造	113m	130m	243m

2. 生活機能拠点の整備

● 東幕張土地区画整理		東幕張土地区画整理事務所	
JR幕張駅利用者の利便性向上、地域全体の活性化及び良好な居住環境の形成を図るため、北口駅前広場を含む幹線道路等の早期完成に向け、建物移転や公共施設の整備を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市計画道路築造	380m	80m	460m

4-2-2 計画的な土地利用の推進

施策の展開

- 本市では、少子高齢化の進展に加え、人口が平成32年（2020年）をピークに減少する見通しです。全市で一律に人口密度が低下した場合、公共交通をはじめ、商業、医療、福祉等の生活サービス機能は、一定程度の利用者を見込めず、機能維持ができなくなることが懸念され、さらに進行すれば都市全体の衰退を招く恐れもあります。そのため、地域の人口密度を維持し、都市全体を持続可能な都市構造にするために、生活利便施設や居住を緩やかに公共交通沿線や生活機能拠点へ誘導する立地適正化計画を策定します。
- 地区計画や建築協定の活用など、地域の将来像を市民が共有し、自主的にまちづくりのルールづくりを行う活動を支援します。

図表16 人口減少と都市の拡張により起こりうる問題



計画事業

● 立地適正化計画の策定

都市総務課

居住や都市機能の誘導と公共交通の連携による「集約型都市構造※」を目指すため、立地適正化計画を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
立地適正化計画の策定	検討	策定	策定

● 都市計画の見直し

都市計画課

都市を取り巻く情勢の変化に対応するため、都市計画基礎調査の分析等を踏まえた都市計画の見直しを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市計画の見直し	—	調査、見直し実施	完了

● 土地区画整理事業未施行地区における整備手法の検討

市街地整備課

長期間にわたり事業化されていない土地区画整理事業未施行地区について、社会情勢や周辺状況等が変化しているため、実情に合わせた整備手法の検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ガイドラインの策定・見直し手法の検討	—	実施	実施
関係者調整	—	実施	実施
都市計画への反映	—	変更図書作成	実施

● 都市基本図の更新【新規】

都市計画課

業務の効率化や市民サービスの向上を図るため、様々な主体が共通的に利用できる都市基本図を更新します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市基本図更新	—	実施	完了

■ 「やってみようよまちづくり」支援

都市計画課

市民参加と協働によるまちづくりを推進するため、地区計画や建築協定などを活用したまちづくりの知識・情報の習得を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
公開講座の開催	9回	6回増	15回
アドバイザー派遣	60回	57回増	117回
活動支援	4団体	3団体増	7団体

4-2-3 良好な都市景観の形成

施策の展開

- 本市の景観は、都市の発展に基づく土地利用などから、国道14号・357号付近に約19kmに及ぶ旧海岸線を境として、埋め立てによる海際の市街地の景観、内陸部の市街地の景観、市街地の後背地に広がる里山や谷津が特徴のある田園景観のイメージに分けられることから、これらを「うみ」、「まち」、「さと」に区分し、本市の景観形成を推進しています。
- 身近な生活環境を大切にしたい、都市にうるおいやゆとりを回復したいといった市民意識の変化や、にぎわいのある都市空間への期待など、社会情勢や市民の景観形成に対するニーズに対応するため、市民や事業者との協働により、魅力ある千葉らしさの感じられる景観づくりを進めます。
- 良好な街並みの景観を形成する街路樹が市民に親しみと誇りを持たれる存在となるよう、モデル的に路線を選定した上で街路樹空間の適正化を図るとともに、本市の街路樹のあり方について検討を進めます。

図表17 本市の景観形成のテーマ

うみ・まち・さとの魅力を活かした
ちばの景観づくり



出典：千葉市景観計画

計画事業

■ 良好な都市景観の形成



都市計画課

地域の特性を活かした魅力的なまちづくりを推進するため、景観形成推進地区の指定等に向けて活動している市民や事業者などの団体を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
景観形成推進地区の指定	1地区	1地区増	2地区
地域の景観形成に向けて活動している団体への支援	2団体	2団体増	4団体
屋外広告物適正化推進員講習会の開催	3回/年	1回増	4回/年

● 街路樹空間の適正化【新規】

公園管理課

良好な街並みの景観形成を進めるため、モデル路線を選定し、大径木化、老木化した街路樹空間の適正化を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
植栽密度の適正化	—	モデル実施	モデル実施
大径木、老木の更新	—	モデル実施	モデル実施

● 谷津田*の保全と活用の推進 【再掲】

環境保全課

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
谷津田保全協定の締結	56.0ha	9ha 拡大	65.0ha
保全団体等への活動支援	4団体	2団体増	6団体
谷津田保全方針の見直し	—	実施	実施

■ 都市緑化の推進 【再掲】

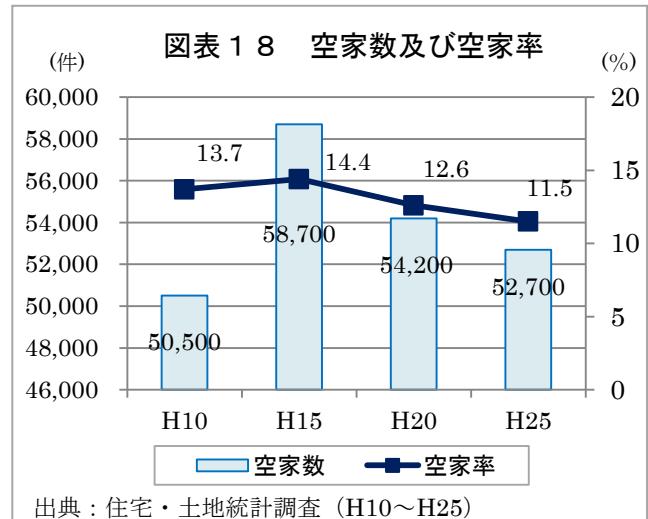
緑政課

緑豊かな環境を創出するため、中心市街地や住宅地の緑化を推進するとともに、市民参加による緑化の普及啓発を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
屋上壁面緑化への助成	3件	3件増	6件
緑のモデルカーテンづくり	—	6件	6件
緑地協定の締結	175件	3件増	178件

施策の展開

- 新耐震基準（昭和56年〔1981年〕）を満たす住宅ストックの比率は緩やかに増加していますが、昭和55年以前に建築された住宅のうち、耐震診断及び耐震改修工事を実施した住宅は未だ少ないとから、引き続き住宅の耐震化に向けた支援を実施します。
- 市営住宅については、老朽化や入居者に占める高齢単独世帯の増加などが生じています。人口動向による需要や市の財政状況を踏まえ、老朽化した住宅の建替えを実施するとともに、建物の長寿命化やバリアフリー対応改修を計画的に進めることで、ライフサイクルコスト*を縮減し、良質な住宅ストックの確保に努めます。
- 日本全体で人口減少時代を迎え、住宅数が世帯数を上回る中、住宅の資産価値の維持や地球環境への負荷軽減の観点から既存ストックを活用するため、市内で5万戸を超える空家の流通促進や利活用について広範な視点で検討を進めます。
- また、少子化対策の一環として、若年層の流入・定住促進及び婚姻に伴う新生活支援のため、新婚世帯に対し住居費及び引越し費用などの一部を助成します。



計画事業

1. 安全で安心な住まいづくりへの支援

● 耐震診断・耐震改修の助成

住宅政策課

地震発生時の住宅の安全性向上のため、木造住宅や分譲マンションの耐震診断及び耐震改修費用の一部を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
耐震診断助成	木造住宅 538戸	55戸増	593戸
	分譲マンション 10管理組合	5管理組合増	15管理組合
耐震改修助成	木造住宅 365戸	85戸増	450戸
	耐震シェルター 1件	3件増	4件
	マンション(設計) 2管理組合	1管理組合増	3管理組合

● 密集住宅市街地の環境整備推進

住宅政策課、予防課

密集住宅市街地において、災害時の円滑な消防活動が可能となる安全な地区を形成するため、基幹道路の整備に向けた調査・検討を実施するとともに、重点密集市街地を対象に感震ブレーカー*の設置を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
基幹道路の整備	現況測量、概略設計	推進	推進
指定地域に対する簡易型感震ブレーカーの設置	—	実施	実施

2. 市営住宅の整備

● 市営住宅の整備（市営住宅の建替）		住宅整備課
老朽化した市営住宅の住宅・住環境の改善を図るため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、建替え等を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
建替え	小倉台団地 工事着手 宮野木町第2団地 建替完了	小倉台団地 建替
用途廃止	—	大宮町第1・第2団地 解体完了
		32年度末目標
		小倉台団地 建替完了
		大宮町第1・第2団地 解体完了

● 市営住宅の整備（市営住宅の改善）		住宅整備課
市営住宅の長寿命化や居住性の向上、高齢者等への対応を図るため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、改善を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
長寿命化型改善	外壁改修 10団地	外壁改修 5団地
	屋上防水 8団地	屋上防水 3団地
	給水設備 5団地	給水設備 2団地
福祉対応型改善	住戸改善 202戸	住戸改善 300戸
	住戸内手すり 702戸	住戸内手すり 225戸
	階段手すり 5団地	階段手すり 14団地
機能更新	エレベーター改修 1団地	エレベーター改修 3団地
	給水ポンプ改修 —	給水ポンプ改修 2団地
		32年度末目標
		外壁改修 15団地
		屋上防水 11団地
		給水設備 7団地
		住戸改善 502戸
		住戸内手すり 927戸
		階段手すり 全19団地完了
		エレベーター改修 4団地
		給水ポンプ改修 2団地

3. 住宅・住環境の充実

● 地域再生支援		住宅政策課
地域の居住環境の向上及び地域コミュニティの再生を図るため、一定の要件を満たす分譲マンションの建替えを行う管理組合等に対し、計画策定に要する費用の一部を助成します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
マンション管理組合等への助成	1件	2件増
		32年度末目標
		3件

● 空家等対策の推進		住宅政策課
空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策計画を策定し、空家の利活用などについて、広範な視点で検討を進めます。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
空家等対策の推進	—	空家等対策計画の策定 空家等データベースの更新
		32年度末目標
		空家等対策計画の策定 空家等データベースの更新

● 結婚新生活支援の推進【新規】		住宅政策課
少子化対策の強化並びに若年層の人口流入及び定住促進を図るため、住居費や引越し費用などの一部を助成します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
住居費等の助成	—	90件
		32年度末目標
		90件

● 省エネルギー住宅及び電気自動車の導入推進【新規・再掲】

環境保全課

環境にやさしいまちづくりを推進するため、太陽光発電設備や高い断熱性能を有するゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）※の導入費用や、電気自動車（EV）の購入費用の一部を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ZEH導入費用助成	—	130件	130件
EV購入費用助成	—	90件	90件

4-2-5 生活基盤の充実

施策の展開

- 生活環境の質の向上を図るため、道路や上下水道等の都市インフラの整備を引き続き進めるとともに、適切な維持管理や老朽化に対する計画的な修繕が必要です。
- 公共施設をはじめとする市有資産について、中長期的な視点から、資産の利用状況を踏まえた複合化や集約化などの効率的な利用を進めるとともに、計画的な施設の保全により、建物の長寿命化や改修費用の縮減を図ります。
- 下水道施設については、道路陥没や下水道の流下阻害、機能停止によるリスクを低減するため、ストックマネジメント※計画に基づき、老朽化した管渠や処理場・ポンプ場設備の改築を計画的に進めます。
- 市民の墓地需要に対応するため、引き続き平和公園の拡張整備を進めるとともに、斎場周辺の環境整備を行います。
- 住民異動手続き等の機能と保健福祉センターの機能とを集約し、市民の利便性の向上を図るため、中央区の区役所機能を「きぼーる」に移転します。
- 市民・事業者が必要とする情報の提供や諸証明の発行などをワンストップで行う建築関連総合窓口について、試行実施の状況を踏まえ、本格稼働します。

計画事業

1. 生活道路等の整備

● 生活道路の整備

道路計画課、道路建設課

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
調査・設計	4か所(29年度事業量)	6か所	6か所
用地取得	—	7か所	7か所
道路整備	1か所(29年度事業量)	5か所 (供用開始2か所)	5か所 (供用開始2か所)

● 補装の新設・改良

土木保全課

生活道路の安全で快適な利用を図るため、舗装を新設・改良します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
舗装の新設	1.0km (29年度事業量)	2.7km	2.7km
舗装の改良	14.4km(29年度事業量)	34.6km	34.6km

● 側溝の新設・改良

土木保全課

生活道路の安全で快適な利用を図るため、側溝を新設・改良します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
側溝の新設	1.4km (29年度事業量)	5.2km	5.2km
側溝の改良	4.8km (29年度事業量)	18.8km	18.8km

● 狹あい道路の拡幅

建築指導課、土木管理課

安全で良好な住環境の形成を図るため、寄付される道路後退用地内の塀の撤去費などの一部を助成するとともに、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
狭あい道路の整備	整備延長 14.9km	1.5km	16.4km

● 私道の整備助成

土木管理課

道路利用者の安全と生活環境の向上を図るため、私道の舗装や排水施設の整備費の一部を助成します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
私道整備の助成	3件 (29年度事業量)	15件	15件

● 都市計画道路美浜長作町線の関連道路整備

街路建設課

都市計画道路美浜長作町線に接続する関連道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	951 m ² (取得率 76%)	150 m ²	1,101 m ² (取得率 88%)

● 都市計画道路新港横戸町線の関連道路整備

街路建設課

地域の連携を支える地域高規格道路※の整備に伴う環境保全を図るため、周辺の生活道路等を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新港横戸町線	供用開始	遮音壁設置 一式	完了
黒砂台 36号線	—	道路整備 80m	完了

2. 上下水道施設の整備

● 下水道未普及地域の解消（汚水管渠の整備）

下水道整備課

衛生的で快適な生活環境を実現するため、未普及地区の汚水管渠の整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
汚水管渠の整備	12,279ha	19ha	12,298ha

● 水道施設の整備

水道事業事務所

未普及区域の解消や安定給水を図るため、配水管の布設などを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
御殿町配水管整備	整備 5,334m	426m	整備完了
下田町配水管整備	—	1,900m	1,900m

● 地震時における下水道機能の確保（下水道施設の耐震化）【再掲】

下水道整備課
下水道施設建設課

地震発生時に下水道の流下・処理機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
管渠の耐震化	53.3km	26.7km	80.0km
処理場の耐震化	—	1か所	1か所

● 浸水被害の軽減と対策の強化（雨水施設の整備）【再掲】

雨水対策課

近年の局地的な大雨に対し、浸水被害を軽減するため、対策を強化し、地域の状況に応じた効率的な雨水整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
雨水管渠等の整備 (53.4mm/h 対応)	28地区	12地区	40地区
雨水管渠等の整備 (65.1mm/h 対応)	—	5地区着手	5地区着手
雨水浸透施設の整備	浸透樹* 3,768個 浸透トレンチ* 11,744m	280個 1,480m	4,048個 13,224m

3. 墓地・斎園環境の整備

● 平和公園の拡張・整備

生活衛生課

墓地を安定的に供給するため、平和公園を拡張整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
墓園の整備	埋蔵文化財調査、伐採	実施設計	実施設計
調整池、地区外排水路の整備	—	工事	工事
付替道路の整備	—	詳細設計	詳細設計

● 斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備

生活衛生課

斎場及び平和公園周辺の良好な環境づくりのため、道路、親水広場及び緑地の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
道路整備	5路線供用	道路整備 2路線	2路線供用開始
親水広場の整備	用地取得	継続	用地取得
緑地の整備	現地調査	用地境界立会測量 基本構想策定 用地取得等	用地境界立会測量 基本構想策定 用地取得等

4. 資産の適切な保全

● 公共施設の計画的保全

各所管課

利用者の安全と利便性を確保し、建物の長寿命化を図るため、公共施設の改修を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
劣化度調査	1か所(29年度事業量)	7か所	7か所
実施設計	9か所(29年度事業量)	16か所	16か所
改修工事	18か所(29年度事業量)	18か所	18か所

● 道路施設の長寿命化		土木保全課	
道路利用者の安全を確保するため、個別施設計画に基づき、道路施設の計画的な点検・補修を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
個別施設計画の策定	4施設	8施設	策定完了
	橋梁 211橋	357橋	全橋点検完了
	歩道橋 28橋	46橋	全橋点検完了
	モノレールインフラ施設 3.2km	8.6km	11.8km
道路施設（橋梁等）の定期点検	道路施設 一式	一式	一式
	橋梁補修 49橋	31橋	80橋
	歩道橋補修 8橋	21橋	29橋
	モノレールインフラ施設 更新等一式	一式	一式
	昇降機更新 一	7基	7基

● ストックマネジメント*の推進（下水道施設の改築）		下水道維持課、下水道整備課 下水道施設建設課	
良好な生活環境を守り、安定的な下水道サービスを提供するため、下水道施設の適正な維持管理及び計画的な改築を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
管路施設のカメラ調査・点検	1,224km(24~29年度)	600km	1,824km
管渠の改築	50.8km	39.4km	90.2km
処理場（機械・電気設備）の改築	2か所/年	継続	2か所/年
ポンプ場（機械・電気設備）の改築	30か所	10か所	40か所
マンホール蓋の更新	835個 (24~29年度)	3,000個	3,835個
草野水のみち護岸改良	578m(24~29年度)	450m	1,028m

● 水道施設の改築・更新		水道事業事務所	
安定給水を図るため、浄水場の電気・機械設備を更新します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
平川浄水場の電気・機械設備更新	2台	14台	16台

■ 動物保護指導センターの再整備【新規】		生活衛生課	
狂犬病予防や、ペットの適正飼養を含む動物愛護の普及啓発のため、拠点施設として動物保護指導センターの再整備の検討を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再整備の検討	一	基本方針策定	基本方針策定

● 市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替【再掲】			道路建設課
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	1,692 m ²	202 m ²	完了
整備	橋梁下部工一部 取付道路、護岸工、仮橋撤去	橋梁下部工、上部工 取付道路、護岸工、仮橋撤去	供用開始

● 主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替【再掲】			道路建設課
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	376 m ²	34 m ²	完了
整備	既存橋撤去	橋梁下部工、上部工	橋梁上部工着手

● 中央区役所の移転（きぼーるの改修）			区政推進課
市民の利便性向上のため、中央区役所を「きぼーる」に移転します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
きぼーるの改修	実施設計	工事	完了
中央区役所の区役所機能移転	方針決定	設計・改修	供用開始

● 住居表示等の整備			区政推進課
住民生活の利便性向上を図るため、住居表示等の整備を推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
住居表示の実施	実施率 37.8%	実施	38.4%
町名町界変更の実施	—	実施	実施

● 特殊車両*通行許可の迅速化【新規】			土木管理課
特殊車両の通行許可申請書の作成時間を短縮させるため、道路情報データベースの整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
道路情報便覧*の更新	—	280 区間	280 区間

4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

4-3-1 公共交通ネットワークの形成

施策の展開

- 本市の公共交通としては、主に広域な移動を担うJR及び京成電鉄各線、地域内の移動を担うモノレール及び複数の民間事業者によるバスが運行されています。一方、郊外部等バス利用者が減少している地域では、減便や撤退が発生しており、公共交通が不便な地域での交通手段の確保が課題となっています。
- 公共交通が不便な地域での公共交通を維持・確保するため、地域主体によるコミュニティバス※の導入を進めるとともに、人口減少や少子超高齢社会を見据えた都市交通のあり方や方向性を定めるため、次期総合交通政策の策定に向けた検討を進めます。
- また、公共交通の利用促進とバス利用者の利便性向上のため、バスロケーションシステム※やバスICカードシステムの導入を促進します。
- 広域的な鉄道ネットワークの形成を図るため、JR京葉線とりんかい線の相互直通運転の実現を促進するとともに、JR内房線・外房線・総武線・京葉線等の快速運転区間の延伸や増発、終電時刻の繰り下げなどの働きかけを鉄道事業者に対し継続して行います。
- モノレールは開業からすでに30年を経過している区間もあり、各施設の老朽化が見受けられるようになっています。モノレールを安全で快適な交通機関として維持していくため、設備更新や車両の更新を進めるとともに、大規模地震に備えた車両基地の耐震補強を行います。

計画事業

● バス活性化システムの整備

交通政策課

公共交通の利用促進とバス利用者の利便性向上のため、バスロケーションシステムの導入を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
バスロケーションシステム導入助成	2社	3社増	5社

● バスICカードシステムの整備

交通政策課

バス利用者の利便性向上のため、市内路線バスのICカードシステム導入を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ICカードシステム導入助成	—	1社	完了

● 地域参画型コミュニティバス導入の推進



交通政策課

公共交通が不便な地域での移動手段を確保するため、地域住民主体によるコミュニティバスの導入を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域参画型コミュニティバス運行	モデル運行検討1地区	モデル運行1地区	モデル運行1地区
公共交通アドバイザーの派遣	—	実施	実施

■ JR京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進

交通政策課

鉄道交通の利便性の向上を図るため、JR京葉線と東京臨海高速鉄道りんかい線の相互直通運転の実現を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
協議会活動	鉄道事業者等との協議・調整	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施
東京2020大会開催期間における臨時列車の運行	—	実施	実施

● 総合交通政策の策定に向けた検討

交通政策課

人口減少や少子超高齢社会を見据えた都市交通のあり方や方向性を定めるため、次期総合交通政策策定に向けた検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
総合交通政策の策定に向けた検討	—	実施	実施

● モノレール施設の設備更新

交通政策課

モノレールの安全な運行及び利便性の向上のため、モノレール施設の設備更新を計画的に進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
インフラ外施設	正電車線 変電設備用直流電源 装置 軌道ループ線 ほか	変電設備（殿台変電所） その他設備	変電設備（殿台変電所） その他設備

● モノレールの車両更新

交通政策課

モノレールの安全・安定運行及び利用者の安全確保のため、老朽化したモノレールの車両の更新を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
車両更新	—	4編成（8両）	4編成（8両）

■ モノレール車両基地の耐震補強

交通政策課

災害時におけるモノレールの安全・安定運行を維持するため、車両基地耐震補強を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
車両基地耐震補強	補強支柱基礎工事	工事	完了

● 高齢者の移動支援 【新規・再掲】

高齢福祉課

買い物・通院時などの高齢者の移動手段を確保するため、高齢者の送迎を行う活動等への支援をモデル的に実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
高齢者の移動を支援する団体への助成	—	モデル実施、効果検証	モデル実施、効果検証

4-3-2 道路ネットワークの形成

施策の展開

- 本市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射・環状道路で構成されていますが、いまだ未整備区間が多いことから、交通渋滞が発生し都市活動に影響を及ぼしています。
- このため、交通の整流化や地域間の連携強化とともに、地域のまちづくりの観点から、広域ネットワーク及び市内ネットワークの形成を図る道路整備を着実に進めます。
- 平成 27 年度に都市計画道路の見直しを実施したことに伴い、周辺道路を含めた市内の幹線道路整備のあり方について検証し、中長期的な道路ネットワークビジョンを策定します。



国道 357 号

計画事業

1. 広域道路ネットワークの整備

● 国道 357 号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）の関連整備

道路計画課

国が実施する国道 357 号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）の整備を進めるため、並行する水路の移設を実施します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
水路移設	基本設計	詳細設計、用地取得、工事	用地取得完了、工事

● 国道の整備（国道直轄事業負担金）

道路計画課

道路の渋滞緩和や安全対策を図るため、国が管理する市内国道の整備（国道 357 号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）など）を促進します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
国道 357 号湾岸千葉地区改良（千葉地区）	歩道拡幅工事	歩道整備	完了
〃（蘇我地区）	測量	設計、用地取得	用地取得
国道 51 号（北千葉拡幅）	用地取得	道路整備	完了
電線共同溝・交通安全施設等の整備	実施	国道 14 号等設計・整備	国道 14 号等設計・整備

● 都市計画道路塩田町菅田町線（菅田町地区）の整備

街路建設課

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	13,885 m ² (取得率 42%)	1,987 m ²	15,872 m ² (取得率 48%)

● 都市計画道路幕張本郷松波線（弥生地区）の整備

街路建設課

快適で利便性の高い道路交通体系を確立するため、道路を整備します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
道路整備	1,680m	427m	供用開始

● 都市計画道路村田町線沿道地区の整備

街路建設課

周辺都市との連絡強化等を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
本線 用地取得	15,223 m ² (取得率 86%)	1,708 m ²	16,931 m ² (取得率 95%)
村田町 19号線	用地取得 95 m ² (取得率 37 %)	160 m ²	供用開始
	道路整備 190m	50m	
村田町 46号線	用地取得 26 m ² (取得率 13%)	170 m ²	供用開始
	道路整備 —	120m	

● 都市計画道路幕張本郷松波線（幕張町地区）の整備【新規】

道路計画課

地域交通の利便性と安全性を確保するため、道路の整備の検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計

2. 環状道路の整備

● 都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町地区）の整備

街路建設課

千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、環状道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	24,607 m ² (取得率 44%)	4,422 m ²	29,029 m ² (取得率 52%)
道路環境影響調査及び 将来交通量推計	—	実施	完了

● 都市計画道路塩田町誉田町線（塩田町地区）の整備

街路建設課

蘇我副都心と千葉東南部とのアクセス強化とともに千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、地域高規格道路※を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	14,214 m ² (取得率 42%)	9,644 m ²	23,858 m ² (取得率 71%)

3. 都市内幹線道路ネットワークの整備

● 都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備

街路建設課

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	10,143 m ² (取得率 99%)	63 m ²	完了
道路整備	250m	350m	供用開始

● 市道誉田町平山町線の整備

道路建設課

大宮インターチェンジへのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
道路整備	580m	420m	供用開始

● 市道横戸町23号線の整備

道路建設課

交通の円滑化と歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	2,648 m ² (取得率 79%)	701 m ²	完了
道路整備	279m	201m	供用開始

4. 拠点アクセス道路の整備

● 都市計画道路美浜長作町線（長作町地区）の整備（県事業負担金）

街路建設課

周辺都市との連携強化及び交通の円滑化を図るため、道路の整備を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	1,540 m ² (取得率 12%)	2,250 m ²	3,790 m ² (取得率 30%)

● 都市計画道路誉田駅前線の整備

街路建設課

J R 誉田駅へのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	3,305 m ² (取得率 33%)	1,643 m ²	4,948 m ² (取得率 49%)

● 市道若松町金親町線（千城台東地区）の整備

道路建設課

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
調査・設計	調査・設計	詳細設計等	完了
用地取得	2,104 m ² (取得率 37%)	275 m ²	2,379 m ² (取得率 42%)

5. ボトルネックの改善

● 県道幕張八千代線（実粁4号踏切）の整備（県事業負担金）

街路建設課

地域交通の利便性と安全性を確保するため、道路の整備を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
道路整備	2車線暫定供用	実施	実施

● 市道中央星久喜町線（亥鼻地区）の整備

道路建設課

交通の円滑化と歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得（千葉大前区間）	—	3,894 m ²	完了
道路整備（千葉大前区間）	—	820m	供用開始

■ 市道幕張 215 号線（花立踏切）の整備

街路建設課

踏切除却事業の方向性を見極め、周辺道路を含めて必要な安全対策を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
安全対策の実施	—	実施	実施

6. 道路ネットワークの再構築

● 道路の計画調査

道路計画課

効率的かつ効果的に道路整備を行うため、幹線道路網の整備計画や渋滞対策プログラムを策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
幹線道路網整備計画の策定	検討	策定	策定
渋滞対策プログラムの策定	調査	策定	策定

施策の展開

- ノーマライゼーション※の理念やユニバーサルデザイン※の考え方のもと、高齢者や障害のある人だけでなく、誰もが安全に安心して、いきいきとした暮らしを享受することのできる都市づくりの実現が必要です。
- 高齢者や障害のある人など、全ての人の移動の円滑化を図るため、鉄道駅から主要施設までの経路など、まちなかの連続的なバリアフリー整備を進めるとともに、様々な主体と連携しながら新たなバリアフリー基本構想を策定します。
- 東京2020大会では外国人も含めた多くの観光客が訪れる事から、競技会場までのルートにおいて、アクセシビリティ※に配慮した動線の整備を行います。
- 環境にやさしく、健康にも良い自転車を楽しく安全に自発的に利用する千葉市らしい生活スタイルの実現に向け、イベントの実施や自転車利用促進のための啓発など、自転車を活用したまちづくりを進めます。



バリアフリー化された歩道

計画事業

1. バリアフリー化の推進

● 新たなバリアフリー基本構想の策定

交通政策課

高齢者や障害のある人など、全ての人の移動の円滑化を図るため、バリアフリー基本構想を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新たなバリアフリー基本構想策定	—	策定	策定
特定事業計画の策定促進	道路特定事業計画策定	実施	実施

● 鉄道駅バリアフリー化の推進

交通政策課

鉄道駅を安全・安心に利用できるバリアフリー環境を整備するため、段差解消や多機能トイレの設置を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
段差解消施設の整備	27駅	1駅増	28駅
多機能トイレの設置	21駅	6駅増	27駅
内方線付点状ブロック※設置	19駅	3駅増	22駅

● モノレール駅トイレの改良

交通政策課

多くの利用者が使いやすい駅とするため、モノレール駅トイレの洋式化を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
トイレの洋式化	7駅	3駅	10駅

● 東京 2020 大会に向けたバリアフリー化の推進			土木保全課
東京 2020 大会の競技会場都市として、多くの来訪者の受入にふさわしい環境を整備するため、駅前広場やアクセスルート等のバリアフリー化を推進します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
J R 海浜幕張駅駅前広場のバリアフリー整備	設計	工事	完了

● 歩道の改良			土木保全課
歩行者等の安全確保を図るため、歩道の段差解消など、歩道のバリアフリー化を行います。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
バリアフリー整備	段差解消 1,169 箇所	62 か所	1,231 か所
	視覚障害者誘導用ブロック 71.2km	8.4km	79.6km
歩道の再整備	実施	継続	実施

● 市道天戸町横戸町線の整備			道路建設課
歩行者等の安全確保及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	3,838 m ² (取得率 95%)	198 m ²	完了
道路整備	—	980m	供用開始

● 主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備			道路建設課
歩行者の安全確保及び慢性的な渋滞緩和を図るため、歩道の整備及び交差点の改良を行います。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	1,288 m ² (取得率 56%)	554 m ²	1,842 m ² (取得率 80%)

2. 自転車を活用したまちづくり

● 自転車を活用したまちづくりの推進			自転車政策課
自転車を活用したまちづくりを推進するため、市民や企業等による自転車利用促進や安全利用に関する自主的な活動を支援するとともに、タンデム自転車※乗車体験などのイベントを実施します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
意識の醸成	イベント 2 回/年	継続	イベント 2 回/年
	自転車リーダー育成講習会 1 回/年	自転車リーダー育成講習会 1 回増	自転車リーダー育成講習会 2 回/年
	—	タンデム自転車乗車体験 1 回/年	タンデム自転車乗車体験 1 回/年
市民活動支援	啓発リーフレット作成	実施	実施
	—	10 件	10 件
	自転車を活用したまちづくり推進計画策定	次期計画策定	次期計画策定

■ シェアサイクル*の促進  【新規】**国家戦略特区推進課、交通政策課、自転車政策課**

移動の利便性と回遊性の向上を図るとともに、公共交通を代替・補完する新たな交通サービスを確立するため、シェアサイクルを促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
シェアサイクルの実用化	実証実験の実施	実証実験の実施 本格実施	本格実施

施策の展開

- 人口減少や少子高齢化など人口動態の変化や、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応し、市民サービスの向上や行政の効率化を図るため、ICTを活用した最先端の行政を目指しています。
- ICTによる市民サービスの向上を図るため、公共基準点*の情報も閲覧できるようシステムの改修や行政データの効果的なオープンデータ*化などを推進します。また、市民からのコンタクトを待つのではなく、市民に合った必要な情報をプッシュ型*で届けるサービスを構築します。
- 日常的に使用する庁内システムについては、運用の効率化や行政コストの縮減を図るため、システムの更新に併せ、クラウドサービスの活用や個別に管理されている情報インフラの統合を進めます。



公共基準点の情報公開イメージ

計画事業

1. ICT活用による市民サービスの向上

● 千葉市認定道路網図システムの高度化

路政課

市民サービスの向上を図るため、インターネット上において道路情報を閲覧できるシステムの改修を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
システム更新	道路工事情報公開に向けたシステムの改修	実施	公共基準点の情報公開

■ オープンデータの推進・ビッグデータ*の活用



業務改革推進課

市民サービスの向上及び新たなサービス創出を図るため、民間企業等と連携したオープンデータ活用事例の創出や行政サービスの向上に資するビッグデータ分析を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
オープンデータ活用事例の創出	16件	3件増	19件
行政サービスの向上に資するビッグデータ分析	6件	3件増	9件

● 「あなたにお知らせサービス」の導入

業務改革推進課

様々な行政情報やサービスについて、市民自らが市に確認・問合せ等しなくてすむよう、市民に合った必要な情報を個別にお知らせするサービスを開始します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
「あなたにお知らせサービス」の導入	仕様検討 総務省実証事業参加	市民向けポータル構築	運用開始

2. 業務の効率化とコスト縮減

● 建設工事の生産性向上【新規】			技術管理課
電子納品やICT活用工事に対応するため、検査機器を導入します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
電子納品、ICT活用工事に対応する検査機器の導入	—	導入	完了
● 戸籍情報システム等の更新			区政推進課
システム運用の効率化やコスト削減を図るため、戸籍情報システム、住民基本台帳ネットワークシステム等の機器更新を行うとともに、集約化を図ります。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
戸籍情報システム	—	機器更新 データセンターの利用	運用開始
住民基本台帳ネットワークシステム	—	機器更新 データセンターの利用	運用開始
法務省連携システム	—	機器更新	運用開始
● 庁内ネットワークシステム等の更新			情報システム課
ICTを活用した行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るため、庁内の情報通信基盤を更新します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
庁内ネットワークシステムの更新	整備計画策定	更新	運用開始
サーバ集約に伴う工事	—	実施	完了
● 次世代ちばレポ [※] 「My City Report」の導入・運用 【再掲】			広報広聴課
市民との協働により地域課題を解決するとともに、業務の高度化を図るため、現在のちばレポをベースに新機能を組み込んだシステムを、東京大学や他自治体等と共同で構築し、運用します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
システム構築支援	基本機能開発支援	独自機能開発	運用



方向性 5

ひとが集い働く、 魅力と活力にあふれるまちへ

施策体系

5-1 都市の魅力を高める

- 5-1-1 3都心などの魅力向上
- 5-1-2 都市の国際性の向上
- 5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

5-2 地域経済を活性化する

- 5-2-1 産業の振興
- 5-2-2 新事業の創出
- 5-2-3 商業・サービス産業の振興
- 5-2-4 物流・港湾機能の強化
- 5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

5-3 都市農林業を振興する

- 5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給
- 5-3-2 安定した農業経営体の育成
- 5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

5-1 都市の魅力を高める

5-1-1 3都心などの魅力向上

施策の展開

- 千葉都心では、JR千葉駅の駅舎・駅ビルの建替え、千葉駅西口地区及び東口地区で進めている再開発事業など、駅周辺でのリニューアルの動きが活発化しています。
- このことを好機として捉え、西銀座周辺の再開発に向けた検討の促進や、中央公園周辺の活性化など、まち全体のリニューアルへとつなげ、千葉都心の魅力を高めます。
- 幕張新都心では、幕張メッセをはじめ、業務研究ビルや教育・研究施設、ホテル・商業施設及び住宅整備の促進などにより、「職・住・学・遊」の複合機能の集積が進み、就業者・居住者・就学者及び新都心への来訪者を合わせると現在日々約23万人の人々が活動しています。
- 幕張新都心のさらなる魅力向上に向け、国家戦略特区※制度を活用したローンや自動運転モビリティ※などの近未来技術実証の推進やエリアマネジメント※の民間開放を促進するとともに、幕張新都心拡大地区における新駅整備や海浜幕張駅北口駅前広場周辺の再編整備の検討を行うほか、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。
- 蘇我副都心については、交通結節点※としての機能を高めるため、蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めるとともに、ジェフユナイテッド市原・千葉のホームタウンであることを活かし、地域と連携したまちづくりを推進します。

計画事業

1. 千葉都心の育成・整備

● 中央公園・通町公園の連結強化

都心整備課

歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園や通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間の整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	—	実施	実施
公園整備	整備内容の検討	段階整備	段階整備

● 西銀座周辺の再開発

都心整備課

千葉駅から中心市街地に賑わいを誘引するため、西銀座周辺区域における実態調査や課題検討などにより、再開発事業に向けた検討を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
課題検討等調査	導入機能等検討調査	実施	実施
関係者の合意形成	—	勉強会実施	勉強会実施

■ 配電用地上用機器への広告物等の掲出

都心整備課

千葉駅周辺の回遊性向上や活性化を図るため、道路上に設置されている配電用地上用機器に歩行者案内地図等を掲出します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ラッピングの実施	—	18基	18基

● 千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）【再掲】

都心整備課

臨海地区への玄関口としての賑わいを創出するため、千葉駅西口に商業のほか、居住・医療・健康づくり・保育など多機能な用途の再開発ビルを整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再開発ビルB棟の整備	管理処分計画の変更 特定建築者の選定	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との 協議	ペデストリアンデッキ 下水道、公園整備工事	供用開始

■ 千葉駅西口エリアの魅力・価値向上

都心整備課

千葉駅西口エリアの魅力・価値向上のため、再開発ビルのテナント誘致強化や駅前広場等の有効活用を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
テナント候補者調査	—	実施	実施
魅力あるテナントの誘致	—	実施	実施
駅前広場やB工区公園での イベント開催	40日/年	10日増	50日/年

● 千葉駅東口地区第一種市街地再開発【再掲】

市街地整備課

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再開発ビル整備助成	自転車駐車場移転 再開発ビル建築	再開発ビル建築	再開発ビル建築

● 中央区役所の移転（きぼーるの改修）【再掲】

区政推進課

市民の利便性向上のため、中央区役所を「きぼーる」に移転します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
きぼーるの改修	実施設計	工事	完了
中央区役所の区役所機能移転	方針決定	設計・改修	供用開始

● 千葉市美術館の拡張【再掲】

文化振興課

文化面から千葉都心への集客を図るため、中央区役所移転後の跡スペースを活用し、新たな展示スペースや体験・交流ゾーンを整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
展示スペースの再整備	基本設計	工事	供用開始

2. 幕張新都心の整備

■ 幕張新都心拡大地区の新駅整備		交通政策課	
幕張新都心における都市機能の強化や交通機能の分散化を図るため、新駅整備の実現を目指します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新駅整備	協議会設立	概略、詳細設計	概略、詳細設計
駅前広場の整備	—	概略設計	概略設計
■ 海浜幕張駅北口駅前広場周辺の再編整備【新規】			市街地整備課
JR海浜幕張駅の交通結節機能の強化と利便性の向上を図るため、北口駅前広場周辺の再編整備に向けた検討を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
北口駅前広場・自転車駐車場等の再編	検討	基本計画、設計	実施
■ 若葉住宅地区における住宅整備促進			幕張新都心課
新たな社会的ニーズや多様化するライフスタイルに対応した居住環境の実現のため、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
住宅整備の促進	—	638戸	638戸
周辺環境の整備の促進	—	実施	実施
● ZOZOマリンスタジアムの充実			公園管理課
ZOZOマリンスタジアムの来場者の安全性や快適性向上のため、座席等を改修します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
4階スタンド、外野スタンドの座席改修	—	工事	工事
ラバーフェンス交換工事	—	工事	完了
● 海辺の活性化  【再掲】			海辺活性化推進課
海辺の活性化を推進するため、関係機関・団体等と連携して県立幕張海浜公園における集客施設等の導入を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
県立幕張海浜公園における集客施設等の導入検討	官民連携事業化調査実施	関係団体等との協議・調整	関係団体等との協議・調整

● 東京 2020 大会開催に向けた機運の醸成  【再掲】		オリンピック・パラリンピック振興課	
東京 2020 大会の機運醸成や大会・競技への理解促進を図るため、競技体験イベントなど効果的なプロモーションを実施します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
機運醸成イベントの実施	1 回/年	継続	1 回/年
競技の普及促進イベント等の実施	イベント実施 2 回/年	イベント実施 2 回/年 パブリックビューイング等の実施	イベント実施 2 回/年 パブリックビューイング等の実施

● 東京 2020 大会に向けたバリアフリー化の推進 【再掲】		土木保全課	
東京 2020 大会の競技会場都市として、多くの来訪者の受入にふさわしい環境を整備するため、駅前広場やアクセスルート等のバリアフリー化を推進します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
JR 海浜幕張駅前広場のバリアフリー整備	設計	工事	完了
アクセスルート等のバリアフリー整備	歩道の段差解消 2 か所 視覚障害者誘導用ブロック 0.8km	8 か所 1.8km	10 か所 2.6km

● ドローン宅配等の実用化の推進  【再掲】		国家戦略特区推進課	
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、民間事業者によるドローン宅配の実用化を支援します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
ドローン宅配等の実用化に向けた検討	実施	継続	モデル実施
ドローンのデモ飛行の実施	2 回	3 回増	5 回
ドローンフィールド※の提供	3 か所	継続	3 か所

● 自動運転モビリティ※等を活用した新たなビジネスモデルの創出  【再掲】		国家戦略特区推進課	
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、自動運転モビリティ等の実用化を支援します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
パーソナルモビリティ※等を活用した新たなビジネスモデルの創出	実証実験実施	実証実験・モデル実施	モデル実施

3. 蘇我副都心の整備

● JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり		市街地整備課	
蘇我副都心の交通結節点※としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
都市計画手続き	—	実施	都市計画決定
基本計画策定	予備調査	策定	策定
関係者の合意形成	関係者ヒアリングの実施	勉強会実施	関係者の合意形成
● フクダ電子アリーナの充実		公園管理課	
フクダ電子アリーナの来場者の快適性向上のため、大型映像装置等を改修します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
大型映像装置改修	—	施設名称LED看板改修 大型映像装置改修	完了
● ジェフを感じるまちづくり 		市街地整備課	
ジェフユナイテッド市原・千葉のホームタウンとして、市民がジェフをより身近に感じることができるよう、地域や企業とジェフが連携したまちづくりを推進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ジェフいろいろ化推進	実施	バスシェルターラッピング 地元との連携による取組み	バスシェルターラッピング 地元との連携による取組み
● 蘇我スポーツ公園の整備【再掲】		公園建設課	
スポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
第2・第3多目的グラウンド等の施設整備	34.0ha 供用	5.8ha 供用 日除け施設6基	39.8ha 供用
用地取得	27.3ha	4.5ha	31.8ha

4. その他の拠点の整備

■ JR稻毛駅東口周辺のまちづくり【新規・再掲】		市街地整備課	
土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、駅前広場等を含めた一体的な市街地再開発の検討を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
関係者の合意形成	勉強会の実施	勉強会の実施	関係者の合意形成

施策の展開

- 本市は、成田・羽田の両国際空港に近い立地特性や、幕張メッセという国内有数のコンベンション※機能を有しています。加えて、産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動拠点の形成を図るために国家戦略特区※の指定を受けたことなどを踏まえ、ビジネスや生活の場として海外からも選ばれる都市を目指した取組みを進めています。
- また、東京 2020 大会競技会場都市として、国外からも多くの大変な大会関係者・観光客が訪れ、本市の魅力を広く発信する重要な機会となります。
- こうした地域特性や機会を最大限に活用し、グローバル MICE都市※としての魅力の向上や国際的な誘致競争力を強化するため、主催者のニーズに合わせたアフターコンベンション※などの充実に向けた支援を行うとともに、新たなMICE※誘致制度の創設を行います。



計画事業

市内で開催された国際会議の様子
(日本地球惑星科学連合大会)

● MICEの推進

観光MICE企画課

MICE誘致を推進するため、国際会議やコンベンション開催に助成するとともに、東京 2020 大会後に向けた、新たなMICE誘致制度を創設します。また、地域経済の活性化や幕張新都心の賑わい創出のため、主催者のニーズに合わせたアフターコンベンションなどの充実に向けた支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
国際会議への助成	7件	4件増	11件
大規模コンベンションへの助成	—	3件	3件
レセプション・アフターコンベンションツアーオンライン開催支援	実施	4件/年	4件/年
新制度によるMICEの誘致	ヒアリング実施	5件	5件

■ 統合型リゾート（IR）※導入可能性の検討

幕張新都心課

幕張新都心におけるMICE強化の選択肢の一つとして、統合型リゾート（IR）導入の可能性について、国の動向を注視しながら検討を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
IR導入可能性の検討	ギャンブル等依存症に対する基礎調査	検討	検討

● 東京 2020 大会開催に向けたボランティア体制の構築  【再掲】

オリンピック・パラリンピック振興課

東京 2020 大会の競技会場都市として、大会を円滑に進めるため、ボランティアの体制構築を行うとともに、都市ボランティアの育成等を実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
外国人おもてなし語学ボランティア育成	500人	500人増	1,000人
チーム千葉ボランティアネットワーク※の運営	設置	運営	運営

■ 国際交流ボランティアリーダーの育成  【再掲】		国際交流課	
本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを育成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
通訳ボランティア スキルアップ講座の開催	15回/年	5回増	20回/年
通訳ボランティア フォローアップ講座の開催	2回/年	継続	2回/年
国際交流ボランティア リーダー会議の開催	実施	5回/年	5回/年

● 姉妹・友好都市との交流推進  【再掲】		国際交流課	
姉妹・友好都市と経済・文化・スポーツなどの各分野において、より発展的な関係を築くため、交流事業を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
姉妹・友好都市交流	2市	派遣 1市、受入 1市 国際会議出席 2回	派遣 1市、受入 1市 国際会議出席 2回
青少年交流	3市	継続	3市

● 規制改革メニューの活用促進  【再掲】		国家戦略特区推進課	
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、国家戦略特区※の制度を活用した規制改革による取組みを支援します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
規制改革メニューの活用	5件	6件増	11件
新規規制改革提案による 事業実施	—	6件	6件
民間事業者への活用促進	P R活動 特区通信発行 1回/年	P R活動 1回増	P R活動 2回/年

● ドローン宅配等の実用化の推進  【再掲】		国家戦略特区推進課	
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、民間事業者によるドローン宅配の実用化を支援します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ドローン宅配等の実用化に 向けた検討	実施	継続	モデル実施
ドローンのデモ飛行の実施	2回	3回増	5回
ドローンフィールド※の提供	3か所	継続	3か所

● **自動運転モビリティ*等を活用した新たなビジネスモデルの創出  【再掲】**

国家戦略特区推進課

市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、自動運転モビリティ等の実用化を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
パーソナルモビリティ*等を活用した新たなビジネスモデルの創出	実証実験実施	実証実験・モデル実施	モデル実施

● **インバウンド*の推進【再掲】**

観光プロモーション課

訪日外国人客を誘致するため、海外に向けたプロモーションや訪日外国人客を受け入れるための環境整備を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
海外プロモーションの推進	—	ファムトリップ*招聘 プロモーションツール作成 展示会等参加	ファムトリップ招聘 プロモーションツール作成 展示会等参加
訪日外国人客受入環境の整備	ムスリム受入環境整備 多言語情報サイト運営 外国人向け観光ボランティアガイド養成	継続	ムスリム受入環境整備 多言語情報サイト運営 外国人向け観光ボランティアガイド養成
インバウンド観光戦略の策定	—	動向調査、策定	策定

5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

施策の展開

- 市民が本市に愛着と誇りを持ち、これからも「住み続けたい」と思ってもらえるような、また市外の人々から「訪れてみたい」「住んでみたい」と思われるような魅力ある都市であり続けるため、「加曽利貝塚*」「オオガハス*」「千葉氏*」「海辺」を起点・基準点として多彩な地域資源を活用し、千葉市らしい都市アイデンティティの確立に向けた取組みを進めています。
- 今後は千葉開府900年にあたる平成38年(2026年)に向け、千葉常胤生誕900年を記念したイベントや、「オオガハス」に留まらない「ハス全体」の活用も視野に入れたプロモーション活動を行います。
- 集客・観光の推進については、観光体験プランの創出など、市民や民間の活力をまきこむ取組みを行ってきたほか、再整備に着手した稻毛海浜公園や特別史跡*に指定された加曽利貝塚など、観光資源も充実しつつあります。今後は、市原市をはじめとする周辺自治体との広域連携の視点も組み入れながら、東京にない独自の資源を活用し、国内外に向け、積極的にプロモーション活動を行います。



本市固有の4つの地域資源

計画事業

1. 都市アイデンティティの確立と魅力づくり

● 都市アイデンティティの確立

都市アイデンティティ推進課、文化財課

市民が自らのまちの歴史や環境を知り、誇りを持てるような都市となることを目指し、「オオガハス」や「千葉氏」など本市固有の地域資源の魅力向上を図るとともに、これらを活用したプロモーションを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
戦略プラン中間評価	—	実施	実施
プロモーション活動	映像作成	千葉常胤生誕900年記念行事の開催、PR活動	千葉常胤生誕900年記念行事の開催、PR活動
都市間連携	親子三代夏祭り 千葉氏ブース出展	千葉氏サミット開催	千葉氏サミット開催
千葉開府900年に向けた取組み	—	行動計画策定 取組団体の運営支援	行動計画策定 取組団体の運営支援
千葉氏関連調査	—	調査	調査成果の公表

● 縄文文化調査研究の推進【再掲】

文化財課

縄文文化と貝塚を究明するため、発掘調査・研究を進めていくとともに、その成果を広く発信していきます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
特別史跡※加曽利貝塚※の 究明に向けた発掘調査	発掘調査計画策定 発掘調査の実施	発掘調査の実施 調査概報の刊行	発掘調査の実施 調査概報の刊行
大学等と連携した調査研究	連携事業の実施	調査研究計画策定 連携事業の実施	調査研究計画策定 連携事業の実施

● 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上【再掲】

文化財課

特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、史跡内の整備とプロモーション活動を進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
集客力の向上	縄文体験プログラムの提供 集客イベントの実施	継続	縄文体験プログラムの提供 集客イベントの実施
史跡等の整備	短期的整備基本計画 グランドデザイン検討	推進	推進

■ オオガハス※を身边に感じるまちづくり



【新規】

花見川区地域振興課

「オオガハス」に愛着を感じられるよう、小学校と協力した壁画の作成など、区民がオオガハスに接する機会を増やします。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
区役所ロビーガラスの装飾	—	1か所	1か所
小学校と協力した壁画作成	—	1か所	1か所
子ども向け紙芝居作成	—	2種類	2種類

● オオガハスの魅力発信【再掲】

緑政課

「オオガハス」の魅力を市民に幅広く伝えるため、イベントや情報発信の充実を図るとともに、ハスを鑑賞できる環境を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
イベントの充実	大賀ハスまつりの開催	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充
情報発信の強化	—	アクションプラン策定 学校分根 常設展示	アクションプラン策定 学校分根 常設展示
鑑賞環境の整備	—	系統保存プロランナーの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)	系統保存プロランナーの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)

●  **【再掲】**

海辺活性化推進課

海辺の活性化を推進するため、関係機関・団体等と連携して県立幕張海浜公園における集客施設等の導入を進めます。また、稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成を進めるとともに、地域主体の取組みを支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
県立幕張海浜公園における集客施設等の導入検討	官民連携事業化調査実施	関係団体等との協議・調整	関係団体等との協議・調整
稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成	関係団体との協議・調整	基本方針策定 景観施設等整備	基本方針策定 景観施設等整備完了
地域主体による海辺の活性化の取組み促進	地域主体による取組み検討	地域主体の取組み支援 プロモーション実施	地域主体の取組み支援 プロモーション実施

●  **【再掲】**

緑政課

海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
民間事業者による施設リニューアル	事業者の選定	施設整備、既存施設の改修	事業者による管理・運営
長寿命化計画の策定	—	策定	策定

●  **【再掲】**

海辺活性化推進課

賑わいや憩いのある港づくりのため、緑地を整備するとともに、イベントの開催や旅客船運航情報の充実を図ります。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
公園緑地の整備・管理	一部供用開始	整備	整備完了
海上交通の促進	千葉港を拠点とする旅客船の運航開始	旅客船の誘致	旅客船の誘致
イベント開催及び情報発信による賑わいづくり	イベント開催	イベント開催 旅客船運航情報の提供	イベント開催 旅客船運航情報の提供

■  **【再掲】**

中央区地域振興課

中心市街地をはじめとした区の地域活性化を図るため、まち歩きツアーを実施し、区の魅力・地域資源の再発見や発信を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
まち歩きツアー	1回/年	1回増	2回/年

■  **【再掲】**

花見川区地域振興課

区民に対し、区の魅力を再確認・再発見する機会を提供するため、花見川区魅力発見ウォーキングを実施します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
花見川区魅力発見ウォーキング	2回/年	継続	2回/年

2. 観光プロモーションの推進

● グリーンツーリズム※の推進		観光プロモーション課	
市原市と連携し、エリアの魅力向上を図るため、両市に共通する地域資源である「緑」「里」「農」を活かした観光プロモーション活動を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
プロモーション活動	「千葉あそび」へのプラン掲出、広報冊子の作成・配布	Web・冊子による情報発信 データ収集・分析等	Web・冊子による情報発信 データ収集・分析等
民泊施設設備等助成	—	5件	5件
サイクルツーリズム※の推進	市原市・四街道市とのロングライドコース※検討	レンタサイクル事業開始 案内看板設置 コースマップの作製・更新 レンタサイクル利活用調査	レンタサイクル事業開始 案内看板設置 コースマップの作製・更新
● 国内向け観光プロモーションの推進		観光プロモーション課	
市内や周辺エリアの集客観光を推進するため、企業・団体・周辺自治体と連携し、多様なニーズに対応した国内向け観光プロモーション活動を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
工場夜景観光※の推進	全国工場夜景サミット加盟 プロモーション活動 官民連携組織構築	全国工場夜景サミット開催	全国工場夜景サミット開催
現地発着体験観光プランの品質向上	「千葉あそび」に関するアンケート実施	継続	「千葉あそび」に関するアンケート実施
バリアフリーおもてなし 受入環境整備	—	受入調査 Web・冊子の製作	受入調査 Web・冊子の製作
● インバウンド※の推進		観光プロモーション課	
訪日外国人客を誘致するため、海外に向けたプロモーションや訪日外国人客を受け入れるための環境整備を進めます。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
海外プロモーションの推進	—	ファムトリップ※招聘 プロモーションツール作成 展示会等参加	ファムトリップ招聘 プロモーションツール作成 展示会等参加
訪日外国人客受入環境の整備	ムスリム受入環境整備 多言語情報サイト運営 外国人向け観光ボランティアガイド養成	継続	ムスリム受入環境整備 多言語情報サイト運営 外国人向け観光ボランティアガイド養成
インバウンド観光戦略の策定	—	動向調査、策定	策定

● 夜間の経済・文化活動の振興【新規】		観光MICE企画課	
夜間の経済活動・文化活動の振興を図るため、集客イベントなどのコンテンツづくりを支援するとともに、安定的な運用ができる体制づくりを行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
集客・観光のためのコンテンツづくり	—	実証実験・調査 支援制度施行	支援制度施行
プロモーション活動	—	実施	実施
安定的な運用のための体制整備	—	体制整備	整備完了

● MICE*の推進【再掲】		観光MICE企画課	
MICE誘致を推進するため、国際会議やコンベンション*開催に助成するとともに、東京2020大会後に向けた、新たなMICE誘致制度を創設します。また、地域経済の活性化や幕張新都心の賑わい創出のため、主催者のニーズに合わせたアフターコンベンション*などの充実に向けた支援を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
国際会議への助成	7件	4件増	11件
大規模コンベンションへの助成	—	3件	3件
レセプション・アフターコンベンションツアーオン開催支援	実施	4件/年	4件/年
新制度によるMICEの誘致	ヒアリング実施	5件	5件

3. 東京2020大会開催に向けた取組み

● 東京2020大会開催に向けたボランティア体制の構築  【再掲】		オリンピック・パラリンピック振興課	
東京2020大会の競技会場都市として、大会を円滑に進めるため、ボランティアの体制構築を行うとともに、都市ボランティアの育成等を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
外国人おもてなし語学ボランティア育成	500人	500人増	1,000人
チーム千葉ボランティアネットワーク*の運営	設置	運営	運営

■ 国際交流ボランティアリーダーの育成  【再掲】		国際交流課	
本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを育成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
通訳ボランティアスキルアップ講座の開催	15回/年	5回増	20回/年
通訳ボランティアフォローアップ講座の開催	2回/年	継続	2回/年
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	実施	5回/年	5回/年

5-2 地域経済を活性化する

5-2-1 産業の振興

施策の展開

- 本市では、これまでの企業誘致により、一定の雇用創出・税収効果をあげてきました。幅広い業種への支援という現制度における考え方を維持しつつ、今後は、成長産業及び業務機能の集積を実現するため、市長によるトップセールスを積極的に行うなど、引き続き企業立地を促進します。
- また、市民生活に直結する商業・サービス業をはじめとした中小企業・小規模事業者の安定経営のため、事業継続計画※の策定、事業承継※の促進や販路拡大に向けた支援を拡充するほか、経営革新・新事業創出や技術開発等の支援などにより、成長期にある企業の育成を図ります。
- 国では、産業の国際競争力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、国家戦略特別区域を定め、対象区域において規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進しています。
- 本市においても、平成28年（2016年）1月に国家戦略特区※に指定されたことを受け、国家戦略特区制度を最大限活かし、ドローンや自動運転モビリティ※などの近未来技術について民間主導による実用化に向けた実証実験の実施を支援するとともに、規制改革メニューの積極的な活用により、市民の利便性の向上や都市の競争力向上に向けた取組みを進めます。



ドローン宅配実証実験の様子

計画事業

1. 企業立地の促進

● 企業立地の促進	企業立地課
地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、企業の新規立地などに対して助成を行います。	
取組項目	29年度末現況
企業立地促進事業支援 (補助制度、融資制度)	163件
ネクストコア千葉誉田※等 における企業誘致の促進	造成開始
幕張新都心地区等における 産業・企業集積の促進	地元金融機関とコラボ した企業立地セミナー
コア産業業界団体等立地 促進支援	—
計画内容	32年度末目標
	57件増
	220件
	バスツアー 4回
	バスツアー 4回
	オフィス合同内覧会 1回
	オフィス合同内覧会 1回
	実施
	実施

● 企業立地の促進（市道東寺山町山王町線〔若松町地区〕の整備）			道路建設課
企業立地の促進や企業の追加設備投資を促進するため、道路整備を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
用地取得	658 m ² (取得率 15%)	2,720 m ²	3,378 m ² (取得率 75%)
道路整備	—	300m	300m

● 産業用地の整備			企業立地課
地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、ネクストコア千葉誉田 [*] における産業用地の周辺道路の交通調査を進めるとともに、新たな産業用地の確保に向けた検討を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
ネクストコア千葉誉田における産業用地整備	造成開始	緑地の維持管理	緑地の維持管理
ネクストコア千葉誉田周辺道路の交通調査	—	交通調査・シミュレーション	交通調査・シミュレーション
新たな産業用地の確保	—	基礎調査 候補用地の選定	候補用地の選定

2. 企業支援の充実

● 成長期にある企業の育成支援			産業支援課
企業の経営革新や新事業の創出を図るため、デザイン分野のコーディネーターを市産業振興財団に配置するとともに、ICT・IoT [*] ・先端技術分野など産学連携による技術開発や商品開発を促進します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
経営相談コーディネーターの拡充	6人	1人増（デザイン分野）	7人
ベンチャーカップ [*] での賞新設	3賞	2賞増	5賞
産学共同研究助成	5件/年	2件増	7件/年

● 中小企業・小規模事業者の課題解決支援			産業支援課
中小企業の安定した経営を確保するため、事業継続（承継）支援の拡充や、トライアル発注 [*] 認定による販路拡大の支援を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
事業承継 [*] 支援	助成 5件/年	助成 2件増 講習会 1回/年 保証つき融資への助成 6件	助成 7件/年 講習会 1回/年 保証つき融資への助成 6件
トライアル発注認定企業の販路拡大支援	5件/年	5件増	10件/年

● 市内産品の競争力強化		産業支援課
市内産品の付加価値を高め、競争力強化を図るため、農産物や加工品等の販路拡大やプロモーションを実施します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
販路拡大促進	関連事業者へのヒアリング	商社等への直接商談 催事出店補助 10件
ギフトセレクションの実施	ギフトセレクション実施 パンフレット作成	実施 (32年度) 実施

● スタートアップ支援の強化【再掲】		産業支援課
スタートアップ期にある事業者を支援するため、レンタルオフィスと連携した創業支援や、クラウドを活用した資金調達等への支援を行います。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
レンタルオフィス賃料助成	—	5件/年
クラウドを活用した資金調達等への支援	—	6件

3. 国家戦略特区※の推進

● 規制改革メニューの活用促進 		国家戦略特区推進課
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、国家戦略特区の制度を活用した規制改革による取組みを支援します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
規制改革メニューの活用	5件	6件増
新規規制改革提案による事業実施	—	6件
民間事業者への活用促進	P R活動 特区通信発行 1回/年	P R活動 1回増

● ドローン宅配等の実用化の推進 		国家戦略特区推進課
市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、民間事業者によるドローン宅配の実用化を支援します。		
取組項目	29年度末現況	計画内容
ドローン宅配等の実用化に向けた検討	実施	継続
ドローンのデモ飛行の実施	2回	3回増
ドローンフィールド※の提供	3か所	継続

● **自動運転モビリティ*等を活用した新たなビジネスモデルの創出** 

国家戦略特区推進課

市民の利便性向上や、先端技術産業の集積を促進するため、自動運転モビリティ等の実用化を支援します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
パーソナルモビリティ*等を活用した新たなビジネスモデルの創出	実証実験実施	実証実験・モデル実施	モデル実施

5-2-2 新事業の創出

施策の展開

- 都市間競争の激化など社会経済環境の変化に的確に対応し、本市以東・以南を含む広域経済圏域の中心都市として、ビジネスの場としての魅力を高めるためには、市内産業の成長を促進するとともに、チャレンジ精神に富む人材や企業の輩出、シェアリングエコノミー※などの新しいビジネスや次世代をリードする新事業・新産業の創出を促進する必要があります。
- 創業等を促進するため、引き続き、創業者に対する研修や、コーディネーターによる相談などの支援を行うとともに、スタートアップ期にある事業者の成長を促すため、民間企業と連携したレンタルオフィス賃料助成や、クラウドを活用した資金調達等に対する支援を行います。



市産業振興財団のコーディネーターによる支援の様子

計画事業

● スタートアップ支援の強化

産業支援課

スタートアップ期にある事業者を支援するため、レンタルオフィスと連携した創業支援や、クラウドを活用した資金調達等への支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
レンタルオフィス賃料助成	—	5件/年	5件/年
クラウドを活用した 資金調達等への支援	—	6件	6件

● 成長期にある企業の育成支援【再掲】

産業支援課

企業の経営革新や新事業の創出を図るため、デザイン分野のコーディネーターを市産業振興財団に配置するとともに、ICT・IoT※・先端技術分野など産学連携による技術開発や商品開発を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
経営相談コーディネーターの拡充	6人	1人増 (デザイン分野)	7人
ベンチャーカップ※での賞新設	3賞	2賞増	5賞
産学共同研究助成	5件/年	2件増	7件/年

5-2-3 商業・サービス産業の振興

施策の展開

- 本市は、JR千葉駅周辺をはじめとする商業集積や、交通の結節点である立地の優位性を背景に、県内で最大の商圏人口を有していますが、市内店舗数は減少傾向にあり、商業環境は厳しさを増しています。
- このような中、地域経済の活性化にあたっては、個々の事業者や商店街が直面するさまざまな課題を解決につなげていくことが重要であることから、販路開拓や商品開発、創業時や事業承継^{*}の段階に応じた補助制度や相談体制を整備するなど、中小企業や商業者等への支援を行います。

計画事業

● 地域商業者の魅力向上支援		産業支援課	
地域経済の活性化を図るため、魅力ある商店街エリアの環境整備や、大学等と連携した商品開発の費用を助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
共同施設の整備助成	3件（29年度事業量）	11件	11件
商学連携による商品開発助成	—	3商品	3商品

● 中小企業・小規模事業者の課題解決支援【再掲】		産業支援課	
中小企業の安定した経営を確保するため、事業継続（承継）支援の拡充や、トライアル発注 [*] 認定による販路拡大の支援を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
事業承継支援	助成 5件/年	助成 2件増 講習会 1回/年 保証つき融資への助成 6件	助成 7件/年 講習会 1回/年 保証つき融資への助成 6件
トライアル発注認定企業の販路拡大支援	5件/年	5件増	10件/年

5-2-4 物流・港湾機能の強化

施策の展開

- 近年、流通経路の多元化に伴う市場経由率の低下などにより、卸売市場における取扱高が減少傾向にあります。市場間競争が激しさを増す中で、場内事業者の経営革新の取組みを支援するとともに、老朽化した市場機能の維持保全を進めるため、施設の改修を行うなど、市場機能の強化を図ります。
- 千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇り、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元に立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。また、首都圏経済の発展等を支える重要な役割を担っているため、老朽化した岸壁など港湾施設の適切な維持・強化を促進します。

計画事業

● 市場機能の強化	地方卸売市場
市場における健全で安定したサービス提供のため、経営戦略を策定するとともに、場内事業者の経営基盤強化に向け、支援を行います。また、老朽化している施設の改修を進めます。	
取組項目	29年度末現況
場内事業者の経営基盤強化	—

● 魅力ある千葉港づくりの推進（県事業負担金）	海辺活性化推進課
魅力ある港湾空間の形成や港湾物流機能の充実を図るため、小型さん橋や緑地の整備、岸壁の改良等を行います。	
取組項目	29年度末現況
千葉みなと駅前港湾整備	波除堤 1基整備 小型さん橋 1基整備 港湾緑地整備 1.1ha
千葉港整備	岸壁・物揚場改修等

5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

施策の展開

- 本市は、千葉県内における通勤先として高い拠点性を有していますが、市内中小企業における人手不足は深刻で、事業に支障が生じることへの懸念が高まっています。その背景として、事務的な職業を志向する求職者が多い一方で技術系や福祉系など求人倍率が高い業種には人が集まらない雇用のミスマッチが発生しているほか、事業者側に人材を確保するためのノウハウが不足している傾向があります。
- このような雇用のミスマッチを解消し、市内企業の人材採用力の向上と人材の定着を支援するため、雇用に関するニーズ調査を行うとともに、市内企業を対象とした人材育成や働き方改革に関するコンサルティングの実証事業を行います。
- 技術系業種への理解促進を図るため、ものづくり企業の魅力に触れる機会の創出や、職業訓練校等と連携した技能訓練等の職業能力開発の機会を拡充するとともに、キャリア教育*を推進するため、関係機関と連携・協働します。

計画事業

● 企業の人材採用力の向上支援【新規】	雇用推進課		
雇用のミスマッチを解消するため、雇用に関する企業・市民向けニーズ調査を行うとともに、キャリアアップアドバイザー*を配置し、市内企業を対象とした人材育成や働き方改革に関するコンサルティング実証事業を行います。			
取組項目	29年度末現況		
企業・市民向けのニーズ調査	—	計画内容	32年度末目標
キャリアアップアドバイザーによるコンサルティング実証事業	—	アドバイザー配置 1人 セミナー実施	アドバイザー配置 1人 セミナー実施

● 産業人材の育成	雇用推進課		
技術系業種への人材供給を図るため、学生とその保護者等がものづくり企業の魅力に触れる機会の創出や、技能訓練等の職業能力開発の機会拡充などを行います。			
取組項目	29年度末現況		
技術系職種への理解促進	—	計画内容	32年度末目標
技能訓練等の機会拡充	実施	啓発冊子の作成 企業見学バスツアー	啓発冊子の作成 企業見学バスツアー
共催事業の実施	実施	継続	実施
		継続	実施

● キャリア教育の推進【再掲】	教育指導課		
児童生徒が自分自身の将来を見据えて進路選択できる力を育成するため、キャリア教育に関する講演会を実施するとともに副読本を作成します。			
取組項目	29年度末現況		
キャリア教育主任研修会	実施	計画内容	32年度末目標
企業関係者等による講演会	中学校 3校実施	継続	実施
副読本の作成	—	中学校 全校実施	中学校 全校実施
		実施	実施

● 介護人材の確保・定着の支援【再掲】

介護保険管理課

介護人材の確保・定着を促進するため、合同就職説明会を実施するとともに、外国人人材の雇用に対し、支援を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
合同就職説明会の充実	1回/年	1回増	2回/年
EPA [※] 等に基づく外国人人材受入に対する支援	—	実施	実施

5-3 都市農林業を振興する

5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

施策の展開

- 本市は、温暖な気候のもと、野菜や畜産など多様な農業経営を展開し、首都圏等に新鮮で安全・安心な農畜産物を提供しています。しかし、従事者の高齢化・担い手不足、耕作放棄地の増大などにより、農業をめぐる環境は厳しい状況となっており、農業の担い手を確保するためには、他産業と遜色ない所得を農家が得られるような環境整備が必要です。
- 本市の特色を活かした農林業を総合的に推進するため、新たな農業基本計画を策定します。
- 農業者の生産性向上を図るため、品種改良や普及指導、ＩＣＴを活用したスマート農業※の実現に向けた検討を行います。
- 市内産農産物を市民に供給し、生産者が消費者からより身近に、信頼される存在となるため、農産物の域内流通の拡大を図るとともに、情報発信により市内産農産物の認知度を高め、地産地消を推進します。

図表19 地産地消を推進する取組みのイメージ（千葉市つくたべプロジェクト）



計画事業

● 農業基本計画の策定		農政課	
本市の特色を活かした農林業を総合的かつ計画的に推進するため、次期農業基本計画を策定します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農業基本計画の策定	—	策定	策定
● 農業者の生産性の向上		農業生産振興課	
農業者の生産性向上を図るため、近隣市・大学との連携や技術専門人材を活用し、栽培試験や新規優良種苗の供給を行うとともに、農業者への普及指導等を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スマート農業※の実現に向けた検討	—	実施	実施
専門技術者の配置・栽培試験の実施	—	1人 栽培試験実施	1人 栽培試験実施
● 地産地消の推進		農政課	
市内産農産物の認知度向上や利用拡大を図るため、買える場所・食べられる場所の情報の見える化を図るとともに、農家レストランの開設支援などを行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市内農産物の見える化(販促物作成支援)	—	実施	実施
千葉市つくたべプロジェクトの推進	協議会の設立準備	協議会設立・運営支援	協議会設立・運営支援
農家レストラン開設助成	—	実施	実施
● 市内産品の競争力強化【再掲】		産業支援課	
市内産品の付加価値を高め、競争力強化を図るため、農産物や加工品等の販路拡大やプロモーションを実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
販路拡大促進	関連事業者へのヒアリング	商社等への直接商談 催事出店助成 10件	商社等への直接商談 催事出店助成 10件
ギフトセレクションの実施	ギフトセレクション実施 パンフレット作成	実施 (32年度)	実施

5-3-2 安定した農業経営体の育成

施策の展開

- 近年、従業者の高齢化・担い手不足や、原油や穀物価格の高騰による燃料や飼料・肥料などの生産資材価格の上昇が、農業経営に深刻な影響を与えています。このような状況で、今後の農業振興を図るには、土地利用型の大規模経営農家や生産性の高い集約型・複合型農家を育成し、農業経営の安定化を図ることが必要です。
- 優良な農地を確保・活用するため、農業振興地域整備計画の見直しや生産基盤の整備を行うとともに、農地集積・集約による農業経営の効率化を図るために、農地の流動化を推進します。
- また、意欲ある担い手を確保・育成するため、新規就農者向け支援を実施するほか、経営能力向上・販路拡大に向けた支援などにより生産者の「経営者」としての意識づくりを推進します。



先輩農家の指導を受ける新規就農者
としての意識づくりを推進します。

計画事業

1. 優良農地の確保と有効利用

● 農業振興地域整備計画の見直し

農政課

農業振興の基盤となる優良農地の確保を図るため、農業振興地域整備計画を変更し、農業上の利用を図るべき農用地区域を定めます。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農業振興地域整備計画の策定	基礎調査	策定	策定

● 農地の流動化の推進

農政課

農地の有効活用と農業経営の安定化を図るため、農地中間管理事業※により、農地の貸借を促進します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農地中間管理事業における貸し手及び地域への支援	10ha	30ha	40ha

● 緑農住区開発土地基盤整備の推進

農政課

都市近郊農業の生産基盤と良好な住宅用地等の一体的な創出を図るため、区画道路の整備を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
道路整備	590m	180m	770m

● 北総中央用水の利活用推進

農業生産振興課

北総中央用水の利活用による安定的な農業生産基盤を確保するため、農業用水設備を整備します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農業用水設備の整備	—	設計	設計

● 農業基本計画の策定【再掲】			農政課
本市の特色を活かした農林業を総合的かつ計画的に推進するため、次期農業基本計画を策定します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農業基本計画の策定	—	策定	策定

2. 意欲ある担い手の確保・育成

● 多様な農業の担い手の確保・育成			農業経営支援課
多様な農業の担い手の確保・育成のため、新規就農者向けの支援や、経営能力向上・販路拡大のための講座を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
新規就農者向け就農地再生支援	—	5人	5人
経営能力・販路拡大講座	1回/年	1回増	2回/年
就農相談ブース出展	—	1回/年	1回/年

● 農業経営体の育成			農業生産振興課
農業経営体の生産性を高めるため、経営規模拡大に向けて必要な農業用機械施設の導入・整備に助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
農業用機械施設の整備助成	実施	実施	実施

● 農業者の生産性の向上【再掲】			農業生産振興課
農業者の生産性向上を図るため、近隣市・大学との連携や技術専門人材を活用し、栽培試験や新規優良種苗の供給を行うとともに、農業者への普及指導等を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
スマート農業※の実現に向けた検討	—	実施	実施
専門技術者の配置・栽培試験の実施	—	1人 栽培試験実施	1人 栽培試験実施

5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

施策の展開

- 農業や農村は、市民に対し安定的に食料を供給する役割のみならず、生産活動を通じ、「やすらぎ」や「うるおい」をもたらすなど、多面的な機能を有しています。
- いづみ地区に整備した富田、中田、下田の3つの拠点施設では、それぞれの施設の特色を活かしながら、収穫体験や地元野菜を使ったレストランなど、収穫の喜びや土に触れる楽しみ、新鮮で安全・安心な野菜を食べられる機会を提供しています。今後も施設の環境整備を進めるとともに、大学生との連携などにより、里山と農を活かした地域の活性化を図ります。



下田農業ふれあい館でのお米づくり体験



学生が地域を訪れ、見て、体験して、作成した3拠点のロゴマーク



- 農業に親しむ機会を提供するため、農家の適切な指導のもとで農業を体験できる市民農園などの整備を促進するとともに、その体験をより多くの市民に広めるためのサポーター制度を創設します。
- 里山については、これまで里山ボランティアや森林組合、所有者等と連携しながら保全管理を進めてきました。観光資源としての潜在的な魅力を活かし、集客観光の視点からも活性化を図るため、今後は、里山エリアの魅力を発信する戦略的なプロモーションに取り組むとともに、観光客が長期滞在により自然や歴史などの地域の魅力を実感できるよう、若葉区と緑区の一部で国家戦略特区*制度を活用した民泊の導入準備を進めるなど、里山エリアのさらなる価値の向上を図ります。

計画事業

1. 都市と農村の交流

● いづみグリーンビレッジ3拠点*の充実		農業経営支援課	
農とふれあう機会の拡大や、いづみ地区の活性化を図るため、3拠点の利用環境を整備するとともに、大学生との連携によりイベント等を実施します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
3拠点の環境整備	—	いづみまるごとマップ改訂 案内標識設置、ベンチ設置 キッチンカー配置場所 舗装工事	いづみまるごとマップ改訂 案内標識設置、ベンチ設置 キッチンカー配置場所 舗装工事
大学との連携	—	PR活動 イベント実施 1回/年	PR活動 イベント実施 1回/年

● 農とふれあう機会の拡大		農政課	
市民が農とふれあう機会の拡大を図るため、市民農園や収穫体験農園の開設を支援するとともに、新たに農業体験サポーター制度を創設します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
市民農園等の整備	35か所	3か所増	38か所
収穫体験農園整備	2か所	2か所増	4か所
農業体験サポーター制度の創設	—	創設（会員数20人）	創設（会員数20人）

● グリーンツーリズム*の推進【再掲】		観光プロモーション課	
市原市と連携し、エリアの魅力向上を図るため、両市に共通する地域資源である「緑」「里」「農」を活かした観光プロモーション活動を行います。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
プロモーション活動	「千葉あそび」へのプラン掲出、広報冊子の作成・配布	Web・冊子による情報発信 データ収集・分析等	Web・冊子による情報発信 データ収集・分析等
民泊施設設備等助成	—	5件	5件
サイクルツーリズム*の推進	市原市・四街道市とのロングライドコース*検討	レンタサイクル事業開始 案内看板設置 コースマップの作製・更新 レンタサイクル利活用調査	レンタサイクル事業開始 案内看板設置 コースマップの作製・更新

2. 農村環境の整備と保全

● 農業集落排水施設の再編		下水道整備課	
農業集落排水施設の老朽化への対応や維持管理費の縮減を効果的に行っていくため、再編計画を策定します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
再編基本構想の策定	—	策定	策定

● 農業集落排水施設の改修		下水道整備課	
農村の生活環境を保全するため、農業集落排水施設の老朽化した設備を改修します。また、施設の長寿命化や再編にあたり、一部地区の機能診断を行い、最適整備構想を策定します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
施設改修	1地区 工事完了	最適整備構想策定 6地区 事業計画作成 1地区 実施設計 3地区 工事 2地区	2地区 工事完了
膜分離装置修繕	2地区	3地区	3地区 完了

● 有害鳥獣対策の推進		農業生産振興課	
効果的な有害鳥獣対策を実施するため、地域に対して専門家によるアドバイスを行うとともに、地域協議会の設置支援や資材購入の費用を助成します。			
取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
地域協議会の設置支援	—	3か所	3か所
箱わな購入補助	—	6台	6台

参考資料

1. 策定の過程

月 日	項 目
平成 29 年 (2017 年)	
2 月 2 日	・第 3 次実施計画策定方針 (案) 決定
2 月 15 日	・市民意見募集 (第 3 次実施計画策定方針 (案) について)
3 月	・第 3 次実施計画策定方針決定
4 月	・計画事業調査
8 月	・計画事業 (案) 選定
10 月 20 日	・計画事業 (案) 決定
11 月 15 日	・市民意見募集 (第 3 次実施計画事業 (案) について)
平成 30 年 (2018 年)	
2 月 6 日	・計画 (案) 決定
2 月 17 日	・パブリックコメント手続 (第 3 次実施計画 (案) について)
3 月 30 日	・第 3 次実施計画策定

2. 市民意見

(1) 第 3 次実施計画事業 (案) に対する意見

①実施概要

- 期間：平成 29 年 11 月 15 日 (土) から 11 月 29 日 (水) まで
- 提出方法：電子メール、郵便、ファクシミリ、持参
- 意見提出者数及び提出意見数：意見提出者 11 名、提出意見数 56 件

②主な意見

- ・総花的で、どの事業が目玉事業なのかわかりにくい。また、どの事業が新規事業かわかりにくい。
- ・生物多様性※地域戦略を策定してほしい。
- ・千葉港桟橋を母港とする事業者への助成制度の創設を検討してほしい。
- ・千葉氏※にちなんだ桜を植樹するなど、亥鼻公園をサクラの名所にしてほしい。
- ・地域医療人材支援団体の設置促進について、概要がわかるようにしてほしい。
- ・保育所の建替えを契機に保育所の運営を民間に委託することはやめてほしい。
- ・千葉公園の再整備にあたって、オオガハス※の展示スペースを確保してほしい。
- ・市民シンクタンクについて、大いに賛成・賛同する。
- ・区の地域活性化支援事業は、3 年を限度としているが、市も必要性を認める公益的な市民活動について 4 年目以降の支援を検討してほしい。また、市域を活動エリアとする団体への支援も検討してほしい。
- ・第 2 次実施計画に計上されていた「市道幕張 215 号線 (花立踏切) の整備」について、事業継続を住民に発信する観点からも、第 3 次実施計画にも位置付けて欲しい。
- ・統合型リゾート (I R) ※導入可能性の検討について、税金でギャンブル依存症の人を生む施策であり、導入可能性の検討そのものをやめ、誘致しない決断を求める。
- ・西銀座周辺の再開発について、一部を歩行者専用道路とするなど、安全とぎわいの創出を検討して欲しい。
- ・スタートアップ支援の強化について、家事の合間にアウトソーシングで収入を得ることもできるため、そのような支援があっても良いのではないか。

(2) 第3次実施計画（案）に対するパブリックコメント手続

①実施概要

- 期間：平成30年2月17日（土）から3月16日（金）まで
- 提出方法：電子メール、郵便、ファクシミリ、持参
- 意見提出者数及び提出意見数：意見提出者 3名、提出意見数 14件

②意見

- ・財政健全化プランに基づく健全化がはかられ、平成29年（2017年）9月に「脱・財政危機」宣言が解除されたことを評価したい。第3次実施計画は、第2次実施計画に比べ事業計画費が増額されているため、子どもたちの教育に少しでも多く配分されることを望む。
- ・「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」の中などでも、再生可能エネルギー等の導入を推進していることから、「1-3-1 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る」の施策の展開の文中にある「再生可能エネルギー」を「再生可能エネルギー等」とし、「住宅用太陽光発電設備等」を「再生可能エネルギー等設備」に変更してほしい。
- ・「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」の中などでも、再生可能エネルギー等の導入を推進していることから、計画事業である「省エネルギー住宅及び電気自動車の導入推進」の説明文中の「太陽光発電設備」を「再生可能エネルギー等設備」に変更してほしい。
- ・全学校が学校図書館図書標準を達成するよう、学校図書館の蔵書数を増やしてほしい。
- ・学校図書館の資料のデータベース化、市図書館とのネットワーク化を進めてほしい。
- ・学校図書館において、古く傷んでいる本、統計が古い資料等を更新してほしい。
- ・図書館の活性化のため、学校図書館司書（現学校図書館指導員）の1人1校選任の全校配置を進めるこことを実施計画に加えてほしい。
- ・公立図書館のあり方や方向性を検討する際は、経済的格差や日本語が母語でない人たちへの支援についても視野に入れてほしい。また、地域の実情に応じた特長のある図書館づくりを推進する際には、アンケートの実施等により、市民意見を聞いてほしい。
- ・新たな図書館計画の策定には、市民や、窓口で利用者と接している現場の職員も参加できるようにして欲しい。また、意識調査の実施については、広く市民にわかるような形で実施してほしい。
- ・地域情報のデジタル化の推進について、電子上で閲覧できるようにすることは良いことだが、誰もがいつでも利用できるようにしてもらいたい。
- ・三省堂書店そごう千葉店に設置されている図書返却ポストは良く利用されている。図書館利用者の利便性向上のためにサービスポイントを増設するのは良いことだと思うが、サービスポイントの利用だけに留まることなく、図書館の利用に結びつくようにしてほしい。
- ・「子ども図書活動推進計画（第4次）」の策定に際しては、市民意見を尊重してほしい。
- ・平成30年（2018年）3月の策定に向けて検討中である「千葉市国土強靭化計画」の以下の施策についても、第3次実施計画に反映してもらいたい。
「1.重要施設への自立・分散型エネルギーの導入」「2.災害時の石油燃料の確保」「3.電力供給停止の情報通信機能の確保」「4.災害情報の共有化」「5.輸送手段（燃料）の多様化」「6.自立・分散エネルギーの導入」「7.インフラ設備の耐震化とライフライン事業者との連携」「8.火災予防策の推進」
- ・市道幕張215号線（花立踏切）の整備について、第2次実施計画にあった「踏切を除却するための」という文言を、第3次実施計画でも残してほしい。

3. 個別部門計画

- 「個別部門計画」とは、法令などによって策定が義務付け、または策定努力が求められている計画や、分野別の行政課題に対するために各部局が策定する計画です。
- 「策定年度」は、計画期間中の見直しがあっても計画期間を変更していない場合は当初策定年度、また見直しにより計画期間を変更した場合は、見直し年度を記載しています。
- 策定年度が平成30年度以降の計画は、本計画書策定時点での予定（見込み）で記載しています。
- 「計画期間」欄の計画終期の記載のない計画は、終期設定がない計画です。

(平成30年〔2018年〕4月時点)

局	計画名	担当課名	策定年度	計画期間
総務局	千葉市国民保護計画	危機管理課	H18 (2006)	H18～ (2006～)
	千葉市国土強靭化地域計画	危機管理課	H29 (2017)	H30～H32 (2018～2020)
	千葉市災害時要配慮者支援計画	危機管理課	H26 (2014)	H26～ (2014～)
	千葉市災害時受援計画	危機管理課	H27 (2015)	H27～ (2015～)
	千葉市危機事案対応計画	危機管理課	H17 (2005)	H17～ (2005～)
	千葉市業務継続計画＜新型インフルエンザ編＞	危機管理課	H22 (2010)	H22～ (2010～)
	千葉市業務継続計画＜地震対策編＞	危機管理課	H26 (2014)	H26～ (2014～)
	千葉市地域防災計画	防災対策課	S38 (1963)	S38～ (1963～)
	千葉市水防計画	防災対策課	S63 (1988)	S63～ (1988～)
	定員適正化計画	人事課	H26 (2014)	H26～H30 (2014～2018)
総合政策局	千葉市職員の子育て支援計画	給与課	H27 (2015)	H27～H31 (2015～2019)
	庁内情報システム最適化計画	業務改革推進課	H23 (2011)	H24～H33 (2012～2021)
財政局	千葉市都市アイデンティティ戦略プラン	都市アイデンティティ推進課	H28 (2016)	H28～H38 (2016～2026)
	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉市行動計画	オリンピック・パラリンピック調整課	H26 (2014)	H26～H32 (2014～2020)
財政局	第3期千葉市財政健全化プラン	資金課	H29 (2017)	H30～H33 (2018～2021)
	千葉市公債費負担適正化計画	資金課	H28 (2016)	H28～H32 (2016～2020)
	千葉市公共施設等総合管理計画	資産経営課	H27 (2015)	H27～H36 (2015～2024)

局	計画名	担当課名	策定期間
市民局	第10次千葉市交通安全計画	地域安全課	H28 (2016) H28～H32 (2016～2020)
	第4次千葉市地域防犯計画	地域安全課	H29 (2017) H30～H32 (2018～2020)
	千葉市文化振興マスターplan	文化振興課	H10 (1998) H11～ (1999～)
	第2次千葉市文化芸術振興計画	文化振興課	H27 (2015) H28～H34 (2016～2022)
	千葉市スポーツ推進計画	スポーツ振興課	H27 (2015) H28～H37 (2016～2025)
	ちば男女共同参画基本計画・第4次ハーモニープラン	男女共同参画課	H27 (2015) H28～H33 (2016～2021)
	第3次千葉市消費生活基本計画	消費生活センター	H28 (2016) H29～H33 (2017～2021)
保健福祉局	支え合いのまち千葉 推進計画 (第4期千葉市地域福祉計画)	地域福祉課	H29 (2017) H30～H32 (2018～2020)
	千葉市自殺対策計画	地域福祉課	H20 (2008) H21～H30 (2009～2018)
	千葉市ホームレスの自立の支援等に関する 第2次実施計画	保護課	H28 (2016) H28～H32 (2016～2020)
	健やか未来都市ちばプラン	健康企画課	H25 (2013) H25～H34 (2013～2022)
	第2次千葉市食育推進計画	健康支援課	H26 (2014) H26～H30 (2014～2018)
	第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けた アクションプラン	健康保険課	H29 (2017) H30～H33 (2018～2021)
	第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画	健康保険課	H29 (2017) H30～H35 (2018～2023)
	千葉市中長期的な高齢者施策の指針	高齢福祉課	H27 (2015) H28～H37 (2016～2025)
	千葉市高齢者保健福祉推進計画・第7期介護保険事業計画	高齢福祉課	H29 (2017) H30～H32 (2018～2020)
	千葉市における障害福祉施策に係る中長期指針	障害者自立支援課	H29 (2017) H29～H38 (2017～2026)
	第4次千葉市障害者計画・第5期千葉市障害福祉計画・ 第1期千葉市障害児福祉計画	障害者自立支援課	H29 (2017) H30～H32 (2018～2020)

局	計画名	担当課名	策定期間
こども未来局	千葉市こどもプラン	こども企画課	H26(2014) H27~H31(2015~2019)
	第2次千葉市DV防止・被害者支援基本計画	こども家庭支援課	H27(2015) H28~H33(2016~2021)
	千葉市こども未来応援プラン —子どもの貧困対策推進計画—	こども家庭支援課	H28(2016) H29~H33(2017~2021)
環境局	千葉市環境基本計画	環境総務課	H22(2010) H23~H33(2011~2021)
	千葉市地球温暖化対策実行計画 改定版	環境保全課	H28(2016) H28~H42(2016~2030)
	千葉市水環境保全計画 改定版	環境保全課	H29(2017) H29~H33(2017~2021)
	千葉市再生可能エネルギー等導入計画	環境保全課	H24(2012) H25~H32(2013~2020)
	千葉市自動車公害防止計画	環境保全課	H23(2011) H23~H33(2011~2021)
	千葉市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	廃棄物対策課	H28(2016) H29~H43(2017~2031)
	千葉市生活排水処理基本計画	収集業務課	H27(2015) H28~H37(2016~2025)
	千葉市分別収集計画(容器包装廃棄物)	収集業務課	H28(2016) H29~H33(2017~2021)
	千葉市一般廃棄物処理施設基本計画	廃棄物施設整備課	H27(2015) H27~H43(2015~2031)
	千葉市産業廃棄物処理指導方針	廃棄物指導課	H23(2011) H23~(2011~)
経済農政局	千葉市地域経済活性化戦略	経済企画課	H23(2011) H24~H33(2012~2021)
	千葉市経済成長アクションプラン	経済企画課	H29(2017) H30~H32(2018~2020)
	地域未来投資促進法に基づく千葉県千葉市基本計画	経済企画課	H29(2017) H30~H34(2018~2022)
	千葉市雇用促進マスターplan	雇用推進課	H24(2012) H24~H33(2012~2021)
	千葉市農業基本計画	農政課	H22(2010) H23~H32(2011~2020)
	第3次千葉市農業推進行動計画	農政課	H29(2017) H30~H32(2018~2020)
	千葉市農業経営基盤の強化の促進に関する 基本的な構想	農政課	H26(2014) H26~(2014~)
	千葉市農業振興地域整備計画	農政課	H14(2002) H14~(2002~)
	千葉市森林整備計画	農業経営支援課	H29(2017) H30~H39(2018~2027)

局	計画名	担当課名	策定期間	策定期間
都市局	千葉市都市計画マスターplan	都市総務課	H27 (2015)	H28~H37 (2016~2025)
	海辺のグランドデザイン	海辺活性化推進課	H27 (2015)	H27~ (2015~)
	千葉市景観計画	都市計画課	H22 (2010)	H22~ (2010~)
	千葉市総合交通政策	交通政策課	H24 (2012)	H24~H33 (2012~2021)
	千葉市総合交通政策 第3次施策の推進計画	交通政策課	H29 (2017)	H30~H32 (2018~2020)
	千葉市バリアフリー基本構想(変更)	交通政策課	H24 (2012)	H24~H32 (2012~2020)
	千葉駅周辺の活性化グランドデザイン	都心整備課	H27 (2015)	H27~ (2015~)
	千葉都市計画都市再開発の方針	市街地整備課	H27 (2015)	H27~ (2015~)
	千葉市住生活基本計画	住宅政策課	H29 (2017)	H29~H37 (2017~2025)
	千葉市高齢者居住安定確保計画	住宅政策課	H30 (2018)	H30~H37 (2018~2025)
	千葉市営住宅長寿命化・再整備計画	住宅整備課	H23 (2011)	H24~H33 (2012~2021)
	第2次千葉市耐震改修促進計画	建築指導課	H27 (2015)	H28~H32 (2016~2020)
	千葉市緑と水辺のまちづくりプラン	緑政課	H23 (2011)	H24~H33 (2012~2021)
	千葉市公園施設長寿命化計画 (遊具、バッケンネット、テニスコート、防球フェンス)	公園管理課	H21~H24 (2009~ 2012)	H22~H34 (2010~2022)
建設局	千葉市公園施設長寿命化計画(泉自然公園)	若葉公園緑地事務所	H27 (2015)	H28~H37 (2016~2025)
	千葉市公園施設長寿命化計画(昭和の森)	緑公園緑地事務所	H27 (2015)	H28~H37 (2016~2025)
	千葉市橋梁長寿命化修繕計画	土木保全課	H22 (2010)	H23~ (2011~)
	千葉市橋梁長寿命化修繕計画(歩道橋編)	土木保全課	H24 (2012)	H25~ (2013~)
	千葉市橋梁長寿命化修繕計画 (千葉都市モノレールインフラ施設編)	土木保全課	H24 (2012)	H25~ (2013~)
	千葉市道路舗装維持管理計画	土木保全課	H27 (2015)	H28~ (2016~)
	千葉市バリアフリー基本構想に基づく 道路特定事業計画	土木保全課	H23 (2011)	H23~H32 (2012~2020)
	千葉市道路のり面・擁壁維持管理計画	土木保全課	H29 (2017)	H30~ (2018~)

局	計画名	担当課名	策定期間
建設局	千葉市自転車を活用したまちづくり推進計画	自転車政策課	H30～H32 (2018～2020)
	第2次千葉市自転車等の駐車対策に関する総合計画	自転車政策課	H28～H33 (2016～2021)
	ちばチャリ・すいすいプラン※	自転車政策課	H26～ (2014～)
	千葉市広域道路整備基本計画	道路計画課	H10～ (1998～)
	千葉市下水道事業中長期経営計画	下水道経営課	H22～H32 (2010～2020)
	千葉市全市域汚水適正処理基本構想	下水道計画課	H28～H46 (2016～2034)
	千葉市下水道ストックマネジメント※計画	下水道計画課	H30～H34 (2018～2022)
	下水道における地球温暖化防止推進計画	下水道計画課	H28～H32 (2016～2020)
	千葉市雨水対策重点地区整備方針	雨水対策課	H30～H49 (2018～2037)
	千葉市水辺再生基本プラン	雨水対策課	H15～ (2003～)
消防局	千葉市消防局中長期計画	総務課	H24～H43 (2012～2031)
水道局	千葉市水道事業中期経営計画	水道事業事務所	H28～H32 (2016～2020)
病院局	千葉市立病院改革プラン（第4期）	経営企画課	H30～H32 (2018～2020)
教育委員会事務局	第2次千葉市学校教育推進計画	企画課	H28～H33 (2016～2021)
	第5次千葉市生涯学習推進計画	生涯学習振興課	H28～H33 (2016～2021)
	千葉市科学都市戦略事業方針	生涯学習振興課	H23～ (2011～)
	千葉市図書館サービスプラン2010	中央図書館管理課	H22～ (2010～)
	千葉市子ども読書活動推進計画（第3次）	中央図書館管理課	H28～H32 (2016～2020)
	千葉市読書環境整備計画	中央図書館管理課	H26～H30 (2014～2018)

4. 市民参加・連携に関する事業

市民や団体、企業などの参加・協働や連携により実施する事業及び、市民参加・協働のために取り組む事業です。詳しくは、「各論」の各ページをご覧ください。

NO.	事業名	ページ
1	谷津田※の保全と活用の推進	14
2	市民緑地の推進	15
3	生物多様性※の理解促進	15
4	海辺の活性化	16
5	泉自然公園の魅力向上	19
6	身近な公園の整備	20
7	市民協働による公園管理	21
8	花のあふれるまちづくり	23
9	COOL CHOICEの推進	24
10	生ごみの発生抑制の推進	26
11	3R※教育・学習の推進	27
12	環境学習・環境教育の推進	30
13	運動イベントによる健康づくりの促進	32
14	花見川糖尿病ゼロプロジェクト	33
15	稻毛区健康づくりウォーキング	33
16	若葉区ラジオ体操で健康づくりとまちづくり	33
17	緑区健康フェアの開催	33
18	地域医療人材支援団体の設置促進	34
19	家庭養育等の推進	40
20	高齢者福祉施設の地域福祉拠点としての利用促進	41
21	シニアリーダー※活動の推進	42
22	ボランティアリーダーの育成	42
23	認知症の人や家族への支援	44
24	高齢者の移動支援	45
25	介護ロボットの普及促進	46
26	障害者への理解の促進	50
27	学校と地域の連携・協働体制の整備	59
28	放課後子ども教室の推進	59
29	子どもの参画の推進	60
30	美浜区高校生連携会議の推進	60
31	東京2020大会開催に向けた機運の醸成	63
32	パラスポーツ※の推進	63

NO.	事 業 名	ページ
33	パラスポーツ交流を通した地域活性化	64
34	トップスポーツとの連携の推進	64
35	スポーツとしての自転車競技の普及を通した賑わいの創出	64
36	芸術文化交流による緑区の魅力発見	67
37	ランチタイムコンサートの実施	67
38	姉妹・友好都市との交流推進	70
39	国際交流ボランティアリーダーの育成	70
40	市民シンクタンクの充実	73
41	緑区オリパラ応援団	73
42	美浜区の魅力創出・発信	74
43	次世代ちばレボ [※] 「My City Report」の導入・運用	74
44	地域ポイント制度の導入	74
45	東京2020大会開催に向けたボランティア体制の構築	74
46	地域運営委員会の設置促進	75
47	まちづくり活動団体への支援	75
48	中央区地域リーダー研修	75
49	ダイバーシティ推進	77
50	男女共同参画の推進	77
51	避難所運営委員会の活動支援	85
52	避難行動要支援者の支援体制の強化	85
53	自主防災組織の結成促進及び活動支援	85
54	防災リーダーの養成	85
55	地域の防災力の向上（中央区）	85
56	地域の防災力の向上（若葉区）	85
57	地域の防災力の向上（緑区）	85
58	消防団活動体制の充実	87
59	応急手当の普及啓発	88
60	防犯パトロール隊の支援推進	92
61	中央区ご近所防犯	92
62	消費者教育の推進	93
63	「やってみようよまちづくり」支援	97
64	良好な都市景観の形成	98
65	地域参画型コミュニティバス [※] 導入の推進	108
66	自転車を活用したまちづくりの推進	115
67	シェアサイクル [※] の促進	116

NO.	事 業 名	ページ
68	オープンデータ※の推進・ビッグデータ※の活用	117
69	ジェフを感じるまちづくり	124
70	オオガハス※を身近に感じるまちづくり	129
71	中央区魅力再発見・発信	130
72	花見川区魅力発見ウォーキング	130
73	規制改革メニューの活用促進	135
74	ドローン宅配等の実用化の推進	135
75	自動運転モビリティ※等を活用した新たなビジネスモデルの創出	135
76	いづみグリーンビレッジ3拠点※の充実	146
77	有害鳥獣対策の推進	147

5. 計画期間中に計画的保全を行う公共施設

(1) 公共施設の吊天井の補強

NO.	施設の種類	施設名	設計	改修工事
1	公園・スポーツ・レクリエーション施設	青葉看護専門学校アリーナ		●
2		ポートアリーナ	●	
3		アクアリンク	●	●
4		こてはし温水プール	●	
5		宮野木スポーツセンター	●	
6		みつわ台体育館		●
7		古市場体育館相撲場		●
8		三陽メディアフラワーミュージアム	●	●
9		動物科学館（動物公園内）	●	●
10	文化施設	若葉文化ホール		●
11		美浜文化ホール	●	●
12	高齢・障害・社会福祉施設	こころの健康センター	●	●

(2) 公共施設の計画的保全

NO.	施設の種類	施設名	劣化度調査	実施設計	改修工事
1	公園・スポーツ・レクリエーション施設	ZOZOマリンスタジアム		●	●
2		フクダ電子アリーナ		●	●
3	行政施設	花見川区役所	●		
4		稻毛区役所	●		
5		若葉区役所	●	●	
6		緑区役所	●		
7		美浜区役所	●	●	
8		総合保健医療センター	●	●	●
9	文化施設	穴川コミュニティセンター	●	●	
10		土気あすみが丘プラザ			●
11	社会教育施設	生浜公民館			●
12		幕張公民館		●	●
13		花園公民館		●	●
14		検見川公民館			●
15		幕張本郷公民館		●	●
16		小中台公民館		●	●
17		若松公民館			●
18		桜木公民館		●	●
19		誉田公民館		●	●
20		土気公民館		●	●
21		稲浜公民館		●	●
22		高浜公民館			●
23		生涯学習センター		●	●
24	児童福祉・子育て支援施設	児童相談所		●	●

6. 用語解説

あ行

I o T (134、137 ページ)

Internet of Things の略で、「モノのインターネット」のこと。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるものがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化に基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。

アクセシビリティ (114 ページ)

年齢や身体障害の有無に関係なく、誰でもが必要とする情報、サービス、場所に簡単にたどり着け、利用できること。

アフターコンベンション (125、132 ページ)

国際会議等の日程終了後、または会議時間終了後に引き続いて計画されている各種の行事。周辺地域のショッピング、娯楽などの活動も含める。

アプローチカリキュラム (37 ページ)

幼児期の育ちや学びを小学校での生活や学習に円滑に接続するためのカリキュラム。

いづみグリーンビレッジ 3 拠点 (72、146、158 ページ)

都市部と農村部との交流を図り、農業の振興と地域の活性化を目指すため、若葉区東部の鹿島川流域を中心とする「いづみ地区」を対象とした「いづみグリーンビレッジ構想」に基づき、富田町・下田町・中田町の各地区に整備された拠点施設。富田さとにわ耕園、下田農業ふれあい館、中田やつ耕園のこと。

EPA (経済連携協定) (46、141 ページ)

特定の国や地域の間で、物品の関税やサービス貿易の障壁等を削減・撤廃する「貿易の自由化」に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定。

インバウンド (70、127、131 ページ)

訪日外国人客のこと。

AED (自動体外式除細動器) (86 ページ)

コンピューターを利用した医療機器であり、心室細動などによる心停止者に電気ショックを与え、正常な心臓の動きを取り戻させる機器。

AEDトレーナー (55 ページ)

実際のAEDと同様の操作ができるシミュレーター。

エリアマネジメント（120 ページ）

地域の良好な環境や、地域の価値を維持・向上させるための、住民・企業・地権者等による主体的な取組み。

LGBT（77 ページ）

Lesbian（レズビアン：女性同性愛者）、Gay（ゲイ：男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル：両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー：性同一性障害などで、心と体の性が一致しない人等）の頭文字をとった単語であり、性的少数者の総称のひとつ。

LD（学習障害）（53、58 ページ）

Learning Disabilities の略で、基本的には、全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

オオガハス（23、68、128、129、149、158 ページ）

昭和 26 年（1951 年）に検見川の遺跡から発掘された 2000 年以上も前のハスの実から発芽・開花したハス。発掘・発芽・開花を成功させた大賀一郎博士にちなみ「オオガハス」と呼ばれている。「検見川の大賀蓮」として県の天然記念物に指定されているほか、「市の花」にも制定され、本市の象徴となっている。

オープンデータ（71、117、157 ページ）

行政が保有するデータを、機械可読形式で、かつ、誰もが二次利用可能である旨の著作権意思表示を行い、公開したデータ。

か行

加曾利貝塚（68、69、128、129 ページ）

直径 140m でドーナツ形をした縄文時代中期の北貝塚と、長径 190m で馬のひづめの形をした後期の南貝塚が連結し、8 字形をした日本最大級の集落・貝塚。平成 29 年（2017 年）10 月に国から特別史跡に指定された。

可搬式小型動力ポンプ（88 ページ）

消防車が入り込めない場所などで使用される、持ち運びできる動力付きの消防用ポンプ。

神谷伝兵衛（68 ページ）

東京・浅草で「電気プラン」などの洋酒を普及させるとともに、本格的なフランスワインの醸造技術を導入したことで知られる、明治から大正時代の実業家。

感震ブレーカー（86、88、100 ページ）

地震時に設定以上の揺れを感じた場合に電気を自動的に止める機器。

キャビネット（千葉市教育情報ネットワーク）（54 ページ）

千葉市立小・中・特別支援学校と教育委員会を結ぶ学習システムと教職員向けの校務システムのネットワークの総称。

キャリアアップアドバイザー（140 ページ）

企業に対し従業員の効果的な人材育成や待遇・職場環境の改善など働き方改革の取組みに対する助言を行うアドバイザー。

キャリア教育（9、53、55、140 ページ）

自立した社会人・職業人となるための、より良い生き方を支援する教育。

グリーンツーリズム（131、147 ページ）

緑豊かなエリアで自然的・歴史的・文化的観光資源を地域の魅力として活用する、滞在型の余暇活動。

車椅子アートプロジェクト（51、66 ページ）

東京 2020 大会に向けた新たな文化芸術の取り組みとして、障害者も健常者も一緒になって表現するファンションショーとダンスパフォーマンスのイベント。

グローバル MICE 都市（125 ページ）

観光庁が我が国の MICE 誘致競争力をグローバルレベルに引き上げ、さらにはその上を目指す都市として選定した 12 都市を、平成 29 年度より、統一的に称したもの。

公共基準点（117 ページ）

地球上の位置を定めた点で、各種測量の基礎となるもの。測点の水平位置や高さを求めるためには、近傍に一定の測量精度を有する基準となる点が必要であり、この点のことを基準点と言う。その基準点のうち、公共団体が設置したもの。

工場夜景観光（131 ページ）

工場やコンビナートなどの夜景を観賞する観光。本市臨海部には、千葉港に沿って工場や食品コンビナートなどの集積があり、夜になると、京葉工業地帯の工場夜景を観賞することができる。

交通結節点（120、124 ページ）

鉄道駅やバスターミナル、駅前広場など、異なる移動手段（場合によっては同じ移動手段）を乗り換え・乗り継ぎするための施設。

コールドチェーン（35 ページ）

生鮮食品や冷凍食品などを、生産から消費まで一貫して所定の低温に保ちながら流通させる仕組み。

国家戦略特区（7、70、120、125、126、133、135、146 ページ）

産業の国際競争力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進するため国が指定する区域。

こども・若者サミット（60 ページ）

こども・若者の社会参画に積極的に取り組む自治体の首長が集い、意見交換や子どもとの座談会を行うイベント。

こども・若者市役所（60 ページ）

高校生や大学生が中心となって千葉市の取り組みに参画したり、千葉市のPRを行ったりしながら、地域の課題解決やまちづくりを考える取組み。

子どもナビゲーター（39 ページ）

中学生以下を対象に、直接家庭に出向き、貧困などを理由に基本的な生活習慣が身についていない子どもを支援するナビゲーター。

子どものまちC B T（60 ページ）

子どもたちがお店や会社などを運営するといった疑似的な社会体験を通して、社会へ参加することを学ぶプログラム。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）（59 ページ）

教育委員会から任命された保護者や地域住民が、一定の権限を持って学校運営に参画する「地域とともにある学校」の仕組み。

コミュニティバス（108、157 ページ）

公共交通の維持が困難な地域において、地域住民の交通の利便性向上を目的として、地方公共団体等が運営主体となって運行するバス。

コンベンション（125、132 ページ）

国際機関、団体、学会等が行う国際会議やシンポジウム。

さ行

サイクルツーリズム（131、147 ページ）

自転車に乗って地形・自然・景色を楽しむ自転車による観光。

サバティカル研修（37 ページ）

研究のため、対象者に一定期間の休暇を与えて行う研修。

シェアサイクル（116、157 ページ）

スマートフォン等を利用し自転車を共同利用する交通サービス。日本では、所定のステーション（駐輪場）で自転車を借り、別のステーションで自由に乗り捨てできる仕組みが主流。

シェアリングエコノミー（137 ページ）

一般的に、個人等が持っている遊休資産（スキルや時間等の無形のものを含む）などを、インターネット上のプラットフォームを介して他の個人等が利用できるようにする経済活動をいう。

事業継続計画（133 ページ）

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に、資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続または早期復旧を可能とするために、平常時に行っておくべき活動や緊急時に事業を継続するための方法、手段などを取り決めておく計画。

事業承継（133、134、138 ページ）

企業において、経営者が後継者に経営や資産を引き継ぐこと。

実質公債費比率（4 ページ）

地方公共団体が借金返済に充てている額が、標準的な収入に対してどの位の割合を占めているのかを示すもの。

自動運転モビリティ（120、123、127、133、136、158 ページ）

自動運転車などの自動運転が可能な乗り物。

シニアリーダー（33、42 ページ）

市が行う「シニアリーダー講座」を修了し、「介護予防のための体操（シニアリーダー体操）」の知識を学んだボランティアのこと。

市民に時間を返す取組み（6 ページ）

ICTなどを活用して、市民が窓口等における行政手続きに要する時間を大幅に削減する市の取組み。

集約型都市構造（1、9、96 ページ）

都市機能を集約した複数の拠点が公共交通と連携した多心型の都市構造のこと。住宅や商業・業務など、市民生活に必要な諸機能を、駅などを中心とした徒歩圏内に集約することで、利便性の高い生活の拠点を形成し、その拠点同士を公共交通ネットワークで結び、連携の強化を図る。

主要債務総額（4 ページ）

本市の財政運営や財政健全化に向けて大きな影響を与える、建設事業債等残高、基金借入金残高、債務負担行為支出予定額、国民健康保険事業累積赤字額の総額。

将来負担比率（4 ページ）

公社や第三セクターなども加えた連結ベースで、地方公共団体が将来的に負担する可能性のある借金が、1年間の標準的な収入に対してどの位の割合を占めているかを示すもの。

浸透トレンチ（81、105 ページ）

建物の屋根などに降った雨を地中へ浸透させるための管。

浸透枠（81、105 ページ）

建物の屋根などに降った雨を地中へ浸透させるための、底や側面に穴の開いた「ます」。

スクールソーシャルワーカー (53、58 ページ)

児童生徒の問題行動等へ対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、関係機関等とのネットワークを活用するなど、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけて支援を行う専門家。

スケアードストレイト教育技法 (91 ページ)

スタントマンによる歩行者・自転車と自動車による事故を再現し、交通事故の恐怖を直視できるようにした体験型教育手法。

ストックマネジメント (103、106、155 ページ)

ライフサイクルコストの最小化や予算の最適化など、計画的・効率的な維持管理及び改築の推進を目的とした計画。

スマート農業 (72、142、143、145 ページ)

ロボット技術や I C T を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業。

スベクトルシーティー SPECT-CCT (34 ページ)

臓器の血流や機能の状態の検査と、病変部分や大きさの検査を行い、2種類の検査画像を同時に撮影する医療機器。病変部分の正確な位置などがわかるため、画像診断の制度が高くなる。

スリーアール 3R (26、27、156 ページ)

ごみを減らすための環境行動を表すキーワードで、Reduce (リデュース：廃棄物の発生抑制)、Reuse (リユース：再使用)、Recycle (リサイクル：再資源化) の頭文字をとったもの。

生活支援コーディネーター (9、41、43、45 ページ)

生活支援サービスの充実及び高齢者の社会参加に向けて、ボランティアなどの生活支援・介護予防の担い手の養成・発掘など地域資源の開発や地域のニーズと地域支援のマッチングなどを行う人。

生物多様性 (15、149、156 ページ)

多様な生き物がそれぞれ個性を持ち、かかわり合っている状態。

ゼロ・エネルギー・ハウス (ゼロ・エヌ・エス) (24、102 ページ)

住まいの断熱性・省エネ性能を高め、さらに太陽光発電など再生可能エネルギーを導入することにより、年間で消費する住宅のエネルギー量がおおむねゼロ以下になる住宅。

全会計市債残高 (4 ページ)

市の全ての会計における市債残高の合計。

全国瞬時警報システム (Jアラート) (84 ページ)

緊急地震速報等の自然災害情報や、弾道ミサイル情報等の国民を保護するための情報など、対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を、市区町村の防災行政無線等から住民に瞬時に伝達するシステム。

た行

タンデム自転車（115 ページ）

複数のサドルとペダルを装備し、複数人が前後に並んで乗り同時に駆動することができる自転車。

地域高規格道路（104、111 ページ）

自動車専用道路もしくはこれと同等の規格を有し、概ね 60km/h 以上の走行サービスを提供できる道路。

地域包括ケアシステム（6、9、41、43、44 ページ）

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、「介護予防サービス」を適切に確保し、できる限り要介護状態にならないようにするとともに、要介護状態になっても高齢者のニーズや状態に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される体制づくり。

千葉氏（68、128、149 ページ）

桓武天皇の血を引く関東の名族。平安時代後期の大治元年（1126 年）に、千葉常重が大椎（現在の緑区大椎町）から現在の中央区亥鼻付近に本拠を移したことにより、本市の都市としての歴史が始まったと言われている。また、常重の子であり、千葉氏中興の祖とされる常胤は、石橋山の戦いに敗れた源頼朝に以降一貫して味方し、鎌倉幕府の成立に大きく貢献した。

“ちば”共創都市圏（7 ページ）

千葉市と周辺都市が有する様々な資源を結び付けつつ、市の機能集積や拠点性を最大限生かすことで「東京」でも「地方」でも得られない、魅力的なライフスタイル、新たな価値観などを周辺都市と「共」に「創」りあげる考え方。

ちばチャリ・すいすいプラン（90、155 ページ）

安全かつ快適な自転車走行環境の創出に向けた整備手法などの検討を行い、自転車走行環境の整備を効果的に進めるための市の計画。

ちばレポ（74、118、157 ページ）

千葉市内で起きている様々な課題を ICT を使って市民がレポートし、インターネット上で市民と市役所または市民間で共有し、合理的、効率的に解決することを目指す仕組み。

チーム千葉ボランティアネットワーク（73、74、125、132 ページ）

東京 2020 大会に向けたボランティア体制構築のみならず、大会後もボランティア活動が継続するよう、企業・大学等と連携し設置した組織。活動分野等問わず幅広くメンバーを募り、メンバーに対しては都市ボランティアのほか、様々なボランティアに係る情報提供等を行う。

統合型リゾート（IR）（125、149 ページ）

地方公共団体の申請に基づき国の認定を受けた区域において、カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの。

道路情報便覧（107 ページ）

道路の幅員や橋の重量制限、トンネルの高さ制限等、特殊車両の通行に関する情報を収録したデータベース。道路管理者が、特殊な車両が通行すると見込まれる道路の調査を実施し、その情報を収録することで更新する。

特殊車両（107 ページ）

幅 2.5m、長さ 12m、高さ 3.8m、重量 20t 以上等、寸法や重量が車両制限令の定めを超える大型トラックやトラッククレーン等の車両。道路を通行するには道路管理者の許可が必要となる。

特別史跡（68、69、128、129 ページ）

貝塚や古墳、城跡などの遺跡で、歴史的・学術的に価値が高いとされる「史跡」のうち、特に価値が高く、我が国文化の象徴として国から指定されたもの。仏像や建造物などの「国宝」に相当する。

特別緑地（14 ページ）

都市緑地法に基づき、都市における良好な自然環境を建築行為の制限などにより現状凍結的に保全された緑地。

トライアル発注（134、138 ページ）

市内中小企業の新規性や独自性の高い優れた新商品等を、市が認定してPRを行うとともに、その一部を自ら試験的に購入することで、企業及び新商品等の信頼性の向上による販路拡大を後押しする取組み。

ドローンフィールド（123、126、135 ページ）

本市が開設したドローンの飛行場所。

な行

内方線付点状ブロック（114 ページ）

鉄道駅ホームに設置された、点状の突起に加え、ホームの内側を表示する棒状の突起（内方線）がある点字ブロック。

250競輪（64 ページ）

自転車競技の国際規格に則った周長 250m の競走路（バンク）を使用し、競技ルールも自転車競技と同様のもので実施される競輪。

ネクストコア千葉誉田（133、134 ページ）

緑区にある明治大学誉田農場跡地を、民間活力を導入して整備した産業用地。

農地中間管理事業（144 ページ）

担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地の中間的な受け皿となる「農地中間管理機構」が農地の所有者と農業経営者の間に立ち貸借を行い、農地の集団化や農業経営規模の拡大、新規参入を進める取組み。

ノーマライゼーション（114 ページ）

高齢者、障害者等、社会的に不利を受やすい人々も社会の一員として、お互いに尊重し、支えあいながら、地域の中で共に生活する社会こそが当たり前の社会である、という考え方。

は行

ハザード（35 ページ）

食品等の事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品出荷までの全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保する衛生管理の手法。

パーソナルモビリティ（123、127、136 ページ）

セグウェイ、電動車いす、マイクロEV（超小型電気自動車）などの、一人乗りのコンパクトな移動支援機器。

パートナーシップ支援制度（77 ページ）

パートナーシップを形成していることを確認し証明する、あるいは、その宣誓に対し、受領証等を交付する制度。

走りやすさマップ（自転車走りやすさマップ）（90 ページ）

市民ボランティアとの実走調査で、市内の自転車での走りやすさについて、路肩の広さや自転車走行上の要注意ポイントを示したマップ。

バスロケーションシステム（108 ページ）

GPS等を利用してバスの位置情報を取集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンなどに情報提供するシステム。

パラスポーツ（50、53、55、63、64、156 ページ）

本市において、パラリンピック競技だけでなく、広く障害者スポーツを表す言葉。

ビッグデータ（71、117、157 ページ）

行政や民間企業等が保有する多種多量なデータのことで、収集・分析をすることにより、新たな知見を発見しようとするもの。

ビデオ喉頭鏡（ビデオ硬性挿管喉頭鏡）（88 ページ）

自力で呼吸することが困難な人の呼吸を確保するため、カメラで喉頭を確認しながら、気道確保用のチューブを挿入することができる医療器具。

ファムトリップ（招聘視察旅行）（127、131 ページ）

旅行商品の開発や情報発信を通じた観光客拡大を目的に、海外の旅行業者やメディア関係者を招聘し、観光スポットや資源を視察するツアーのこと。

不育症（36、38 ページ）

妊娠はしても、流産や死産などを繰り返し、赤ちゃんを得られない状態のこと。

普通会計（4、5 ページ）

地方公共団体間の財政指標を比較するために設けられた統一的な会計区分。本市では、一般会計に都市計画土地区画整理事業特別会計、市街地再開発事業特別会計などを加えたもの。

普通会計外（5 ページ）

普通会計に属さない企業会計（病院事業、下水道事業、水道事業）や介護保険事業特別会計など。

プッシュ型（プッシュ型サービス）（117 ページ）

一人ひとりに合った行政機関などからのお知らせを表示する機能。自治体が行う行政サービスについて、サービスを受けられる可能性のある住民に、効率的にサービス情報を提供することができる。

ベンチャーカップ（ベンチャー・カップ C H I B A）（134、137 ページ）

千葉市発の将来性ある新たなビジネスの創出を目指して、（公財）千葉市産業振興財団が、平成14年度（2002年度）から中小企業者・創業者支援の一環として実施しているビジネスプランコンテスト。

ボッチャ（50、64 ページ）

ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツ。ボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、「ジャックボール（目標球）」と呼ばれるボールにいかに近づけることができたかを競う競技。パラリンピックの正式競技となっている。

ポップカルチャー（51、66 ページ）

漫画、アニメ、映画、ゲーム、ライトノベル、ポピュラー音楽、テレビなどの訴求力が高く、等身大の現代日本を伝える文化。

ま行

ミィCE（9、70、125、132 ページ）

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

マンホールトイレ（83 ページ）

災害時に断水等で水洗トイレが使用できなくなった場合に、井戸水等を活用して排泄物を下水道本管に直接流す仕組みの仮設トイレ。

や行

谷津田（14、99、156 ページ）

台地が川や海によって浸食されてできた谷状の土地にある水田。本市の原風景。

ユニバーサルデザイン (114 ページ)

年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、はじめからできるだけ多くの人が利用できるように、利用者本位、人間本位の考えに立って快適な環境をデザインすること。

ら行

ライフサイクルコスト (100 ページ)

建物や機器などの計画、設計から建設・製作、維持・管理、解体や撤去、廃棄までにかかる費用。

緑被率 (14 ページ)

ある地域または地区における緑地（被）面積の占める割合。

レガシー (7、63、70、73 ページ)

オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催に向けた取組みの成果による、将来に向けた千葉市の財産。

ロングライドコース (131、147 ページ)

自転車向けの長距離コース。

7. 索引

あ

- ICT環境の整備・充実 54
空家等対策の推進 101
「あなたにお知らせサービス」の導入 117
新たな図書館計画の策定 62
新たなバリアフリー基本構想の策定 114
あんしんケアセンターの機能強化 44

い

- いずみグリーンビレッジ3拠点の充実 72, 146
泉自然公園の魅力向上 19
依存症患者への支援の推進 49
市立高校の特色ある学校づくりの推進 54
市立病院の医療機器更新 34
稻毛海浜公園のリニューアル 17, 130
稻毛区健康づくりウォーキング 33
いのちを守る教育の推進 55
亥鼻公園のサクラの再生 21
医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備 37
インバウンドの推進 127, 131

う

- 海辺の活性化 16, 122, 130
海辺の水質保全 29
運動イベントによる健康づくりの促進 32

え

- LD等通級指導教室における体制整備の推進 58

お

- 応急救護所用エアーテントの更新 88
応急手当の普及啓発 76, 88
オオガハスの魅力発信 23, 129
オオガハスを身近に感じるまちづくり 129
オープンデータの推進・ビッグデータの活用 71, 117
オリパラ教育の推進 55
オリンピック・パラリンピックに向けた芸術文化振興 51, 66

か

- 介護人材の確保・定着の支援 46, 141
介護認定調査の指定事務受託法人への委託 46

- 介護ロボットの普及促進 46, 72
海浜幕張駅北口駅前広場周辺の再編整備 122
街路樹空間の適正化 99
河川の改修 82
学校施設の環境整備 56
学校適正配置に伴う施設改修 56
学校図書館の充実 55
学校と地域の連携・協働体制の整備 59
学校における食育の推進 56
学校の適正規模・適正配置の推進 57
学校防犯対策の推進 56, 92
学校訪問相談員の拡充 57
家庭養育等の推進 40
可搬式小型動力ポンプの消防ホース更新 88
環境学習・環境教育の推進 30
感震ブレーカーの設置推進 88

き

- 企業の人材採用力の向上支援 140
企業立地の促進 133
企業立地の促進（市道東寺山町山王町線〔若松町地区〕の整備） 134
帰国・外国人児童生徒教育の充実 58
規制改革メニューの活用促進 126, 135
キャリア教育の推進 55, 140
救急救命士の養成 88
急傾斜地崩壊防止工事の推進 82
狭あい道路の拡幅 104
教育・保育人材の確保及び質の向上 37
強度行動障害者への支援の推進 48
橋梁の耐震化 81
禁煙の支援及び受動喫煙防止の推進 32
緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成 81

く

- COOL CHOICEの推進 24
グリーンツーリズムの推進 131, 147

け

- 芸術文化交流による緑区の魅力発見 67
下水道における資源・エネルギー循環の形成 25, 27
下水道未普及地域の解消 104

結婚新生活支援の推進	101
検見川・稻毛地区土地区画整理	95
建設工事の生産性向上	118
県道幕張八千代線（実測4号踏切）の整備	112

こ

公共施設の計画的保全	105
公共施設の吊天井の補強	80
航空機騒音問題への対応	28
航空消防防災体制の充実	87
交差点の改良	89
交通安全施設の充実	90
公民館の機能拡充	61
公立保育所の建替え	37
高齢者の移動支援	45, 109
高齢者福祉施設の地域福祉拠点としての利用促進	41
高齢者を対象としたペットによる生きがいづくり	42
国際交流プラザの機能充実	70
国際交流ボランティアリーダーの育成	70, 75, 126, 132
国道357号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）の関連整備	110
国道の整備	110
国内向け観光プロモーションの推進	131
戸籍情報システム等の更新	118
子ども・子育て支援新制度給付対象施設の整備	36
子ども読書活動推進計画（第4次）の策定	62
子どもの参画の推進	60
子どもの貧困対策総合コーディネート	39
子どもルームの拡充	37, 39

さ

斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備	105
災害時における応急農業用井戸水の供給	84
在宅医療・介護連携の推進	44
寒川第一土地区画整理	95
産業人材の育成	140
産業用地の整備	134

し

シェアサイクルの促進	116
JR稻毛駅東口周辺のまちづくり	95, 124
JR京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進	109
JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり	124
市営住宅の整備（市営住宅の改善）	101

市営住宅の整備（市営住宅の建替）	101
ジェフを感じるまちづくり	64, 124
市街地液状化対策の推進	82
次期環境基本計画の策定	30
次期「緑の基本計画」の策定	14
事業系ごみの減量・再資源化の促進	27
自主防災組織の結成促進及び活動支援	76, 85
市場機能の強化	35, 139
地震時における下水道機能の確保	80, 104
市制施行100周年記念誌の制作	68
次世代ちばレボ「My City Report」の導入・運用	74, 118
自転車安全利用の促進	91
自転車走行環境の整備	90
自転車を活用したまちづくりの推進	115
市道天戸町横戸町線の整備	115
自動運転モビリティ等を活用した新たなビジネスモデルの創出	123, 127, 136
市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替	81, 107
児童相談所の充実強化	40
市道中央星久喜町線（亥鼻地区）の整備	113
私道の整備助成	104
市道誉田町平山町線の整備	112
市道幕張215号線（花立踏切）の整備	113
市道横戸町23号線の整備	112
市道若松町金親町線（千城台東地区）の整備	112
市内産品の競争力強化	135, 143
シニアリーダー活動の推進	33, 42
姉妹・友好都市との交流推進	70, 126
市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稻毛別荘の改修	68
市民協働による公園管理	21
市民シンクタンクの充実	73
市民緑地の推進	15
住居表示等の整備	107
主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替	81, 107
主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備	115
手話等によるコミュニケーション支援の推進	48
省エネルギー住宅及び電気自動車の導入推進	24, 102
生涯現役応援センターの拡充	42
障害者グループホームの整備	49
障害者への理解の促進	50
小学校英語教育の充実	54
上水道配水管布設等の推進	29
小中連携・一貫教育の推進	57

消費者教育の推進	93
消防署・所の整備	86
消防署・所の非常用電源設備の整備	84, 86
消防水利の整備	87
消防団活動体制の充実	87
縄文文化調査研究の推進	69, 129
昭和の森の魅力向上	19
浸水被害の軽減と対策の強化	81, 105
新庁舎の整備	83

す

水道施設の改築・更新	106
水道施設の整備	104
水道施設の耐震化	80
スクールカウンセラーの拡充	58
スクール・サポート・スタッフの配置	57
スクールソーシャルワーカーの拡充	58
スタートアップ支援の強化	135, 137
ストックマネジメントの推進	106
スポーツ大会・イベント誘致の推進	64
スポーツとしての自転車競技の普及を通じた賑わいの創出	64
スポーツ広場の充実	65
3R教育・学習の推進	27

せ

生活困窮家庭等の子どもへの学習支援の拡充	40, 41
生活支援体制整備の推進	41, 45
生活道路の整備	103
精神障害による措置入院者等の退院後支援	49
成長期にある企業の育成支援	134, 137
生物多様性の理解促進	15
性暴力被害者支援センターへの助成	77
剪定枝等の再資源化の推進	27

そ

総合交通政策の策定に向けた検討	109
蘇我スポーツ公園の整備	20, 124
Z O Z O マリンスタジアムの充実	65, 122
側溝の新設・改良	103

た

大気環境測定の推進	28
大気・水質監視テレメータシステムの再整備	28

大規模盛土造成地の滑動崩落対策の推進	84
第5期地域福祉計画の策定	41
耐震診断・耐震改修の助成	100
ダイバーシティ推進	77
多様な農業の担い手の確保・育成	145
多様な保育需要への対応	36
男女共同参画の推進	77
男性の子育て支援	38, 78
男性保育士の活躍推進	38, 78

ち

地域医療人材支援団体の設置促進	34
地域運営委員会の設置促進	75
地域再生支援	101
地域参画型コミュニティバス導入の推進	108
地域商業者の魅力向上支援	72, 138
地域情報のデジタル化の推進	62
地域生活支援拠点の整備	48
地域の防災力の向上（中央区）	85
地域の防災力の向上（緑区）	85
地域の防災力の向上（若葉区）	85
地域ポイント制度の導入	74
地域密着型サービス事業所の整備	44
地産地消の推進	35, 143
千葉駅西口エリアの魅力・価値向上	121
千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）	94, 121
千葉駅東口地区第一種市街地再開発	95, 121
千葉公園体育館の再整備	65
千葉公園の再整備	20, 65
千葉市科学館リニューアル	61
「千葉市史史料編近現代」の刊行	68
千葉市認定道路網図システムの高度化	117
千葉市美術館の拡張	66, 121
ちば消防共同指令センター機器更新	87
千葉中央港地区まちづくりの推進	17, 130
中央区ご近所防犯	92
中央区地域リーダー研修	75
中央区魅力再発見・発信	130
中央区役所の移転	107, 121
中央公園・通町公園の連結強化	120
中小企業・小規模事業者の課題解決支援	134, 138
庁内ネットワークシステム等の更新	118

て

鉄道駅バリアフリー化の推進 114

と

東京 2020 大会開催に伴う競技会場等の安全対策の推進 86

東京 2020 大会開催に向けた機運の醸成 63, 71, 123

東京 2020 大会開催に向けたボランティア体制の構築 71, 74, 125, 132

東京 2020 大会に向けたバリアフリー化の推進 115, 123

統合型リゾート（IR）導入可能性の検討 125

動物公園の施設改修 20

動物公園リスタート構想の推進 21

動物保護指導センターの再整備 106

道路施設の長寿命化 106

道路の計画調査 113

特殊車両通行許可の迅速化 107

特別支援教育介助員の拡充 57

特別支援教育指導員の拡充 57

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上 69, 129

特別養護老人ホームの整備 46

特別緑地保全地区の推進 14

都市アイデンティティの確立 128

都市基本図の更新 97

都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町地区）の整備 111

都市計画道路塩田町誉田町線（塩田町地区）の整備 111

都市計画道路塩田町誉田町線（誉田町地区）の整備 110

都市計画道路新港横戸町線の関連道路整備 104

都市計画道路誉田駅前線の整備 112

都市計画道路幕張本郷松波線（幕張町地区）の整備 111

都市計画道路幕張本郷松波線（弥生地区）の整備 110

都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備 111

都市計画道路美浜長作町線（長作町地区）の整備 112

都市計画道路美浜長作町線の関連道路整備 104

都市計画道路村田町線沿道地区の整備 111

都市計画の見直し 96

都市下水路の整備 82

図書館サービスポイントの設置 62

都市緑化の推進 22, 99

土地区画整理事業未施行地区における整備手法の検討 97

トップスポーツとの連携の推進 64

土木事務所における災害体制の構築 84

ドローン宅配等の実用化の推進 123, 126, 135

な

生ごみの発生抑制の推進 26

に

西銀座周辺の再開発 120

認知症の人や家族への支援 44

の

農業基本計画の策定 143, 145

農業経営体の育成 145

農業者の生産性の向上 72, 143, 145

農業集落排水施設の改修 147

農業集落排水施設の再編 147

農業振興地域整備計画の見直し 144

農地の流動化の推進 144

農とふれあう機会の拡大 147

は

廃棄物処理施設の整備推進 26

排水施設の整備 81

配電用地上用機器への広告物等の掲出 121

バス IC カードシステムの整備 108

バス活性化システムの整備 108

発達障害者への支援の推進 47

花島公園の充実 19

花のあふれるまちづくり 23

花見川区魅力発見ウォーキング 130

花見川サイクリングコースの充実 21, 91

花見川消防署訓練施設の整備 87

花見川糖尿病ゼロプロジェクト 33

花見川緑地交通公園の機能拡充 91

パラスポーツ交流を通した地域活性化 50, 64

パラスポーツの推進 50, 63

ひ

東幕張土地区画整理 95

避難行動要支援者の支援体制の強化 85

避難所運営委員会の活動支援 76, 85

避難所における通信環境の整備 84

100 年を生きる健やか未来都市の実現 32

ふ

不育症・不妊症対策の強化 38

部活動の充実	56
フクダ電子アリーナの充実	65, 124
踏切道の安全対策	90
文化センターの改修	67

へ

平和公園の拡張・整備	105
弁護士による養育費相談	39

ほ

放課後子ども教室の推進	59
防災行政無線の整備	84
防災備蓄品の整備	83
防災用無線機器の更新	87
防災リーダーの養成	85
放置自転車対策の推進	90
防犯カメラの設置管理	92
防犯パトロール隊の支援推進	92
ボール遊びができる公園づくり	21
北総中央用水の利活用推進	144
舗装の新設・改良	103
歩道の改良	115
歩道の整備	89
ボランティアリーダーの育成	42, 74

ま

M I C E の推進	125, 132
幕張新都心拡大地区の新駅整備	122
まちづくり活動団体への支援	75
マンホールトイレの整備	83

み

身近な公園の整備	20
身近な公園のリフレッシュ推進	18
密集住宅市街地の環境整備推進	100
緑区オリパラ応援団	73
緑区健康フェアの開催	33
美浜区高校生連携会議の推進	60
美浜区の魅力創出・発信	74

都川水の里公園の整備	15, 20
未来の科学者育成プログラムの推進	62
魅力ある千葉港づくりの推進	139

む

無電柱化の推進	82
---------	----

も

モノレール駅トイレの改良	114
モノレール施設の設備更新	109
モノレール車両基地の耐震補強	109
モノレールの車両更新	109

や

夜間の経済・文化活動の振興	132
薬剤師の業務拡大	34
谷津田の保全と活用の推進	14, 99
「やってみようよまちづくり」支援	97

ゆ

有害鳥獣対策の推進	147
有料公園施設の改修	19

よ

養護・軽費老人ホームの大規模修繕への助成	46
幼児教育の推進体制構築	37

ら

ランチタイムコンサートの実施	67
----------------	----

り

理数教育の充実	54
立地適正化計画の策定	96
良好な都市景観の形成	98
緑農住区開発土地基盤整備の推進	144

わ

若葉区ラジオ体操で健康づくりとまちづくり	33
若葉住宅地区における住宅整備促進	122

千葉市新基本計画 第3次実施計画

発行 平成30年3月

企画・編集 千葉市 総合政策局 総合政策部 政策企画課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

電話 043-245-5046

FAX 043-245-5534

E-mail kikaku.POC@city.chiba.lg.jp

